



Ver24

# 写真管理

写真管理の基本操作、アルバム編集などの操作手順が習得できます。

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

---

---

# 目次

---

---

1. インデックス	1
1-1 インデックスを起動する	1
1-2 自社情報の入力	2
1-3 インデックスの画面構成	3
1-4 新規に工事を作成する	4
1-5 工事データを開く/閉じる	6
1-6 工事データのバックアップ/リストア	8
1-7 各種設定のバックアップ/リストア	14
2. 写真管理の起動	18
2-1 写真管理の起動	18
2-2 データの保存	20
3. 分類の作成	21
3-1 分類を追加する	22
3-2 分類名を訂正する	27
3-3 分類を並べ替える	28
3-4 分類を削除する	33
3-5 分類を複写する	34
4. 写真の取り込み/仕分け	36
4-1 写真を取り込む	36
4-2 写真を仕分けする	39
4-3 写真を並べ替える	43
4-4 写真を削除する	46

5. 写真情報の入力	48
5-1 写真情報の入力画面について	48
5-2 写真情報を入力する	50
5-3 写真情報を一括入力する	54
5-4 施工管理値を入力する	59
5-5 施工管理値を入力する（出来形管理プログラム連動）	63
5-6 参考図を設定する	74
6. アルバム作成	80
6-1 アルバムの作成イメージを確認する	80
6-2 作成条件を設定する	82
6-3 アルバムを作成する	85
6-4 アルバムを印刷する	86
6-5 アルバムの作成を終了する	87
7. アルバムを編集する	88
7-1 作成済みのアルバムを開く	88
7-2 アルバム編集の画面構成	90
7-3 写真の順番を入れ替える	92
7-4 不要な写真を削除する	95
7-5 情報表を訂正する	96
7-6 写真に線を入力する	98
7-7 写真に引出文字を配置する	100
7-8 アルバム編集/写真管理を終了する	102
8. アルバムフォームを作成する	103
8-1 「簡易作成する」からフォームを作成する	103
参考. 入力専用ライセンス	入力専用-1
1-1 入力専用ライセンスの使用方法	入力専用-1
1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する	入力専用-3
1-3 入力専用ライセンスの終了	入力専用-4

# 1

## インデックス

EX-TREND武蔵のデータは「EX-TREND武蔵 インデックス」で工事ごとに管理します。  
ここでは、インデックスの起動、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などを説明します。

### 1-1 インデックスを起動する

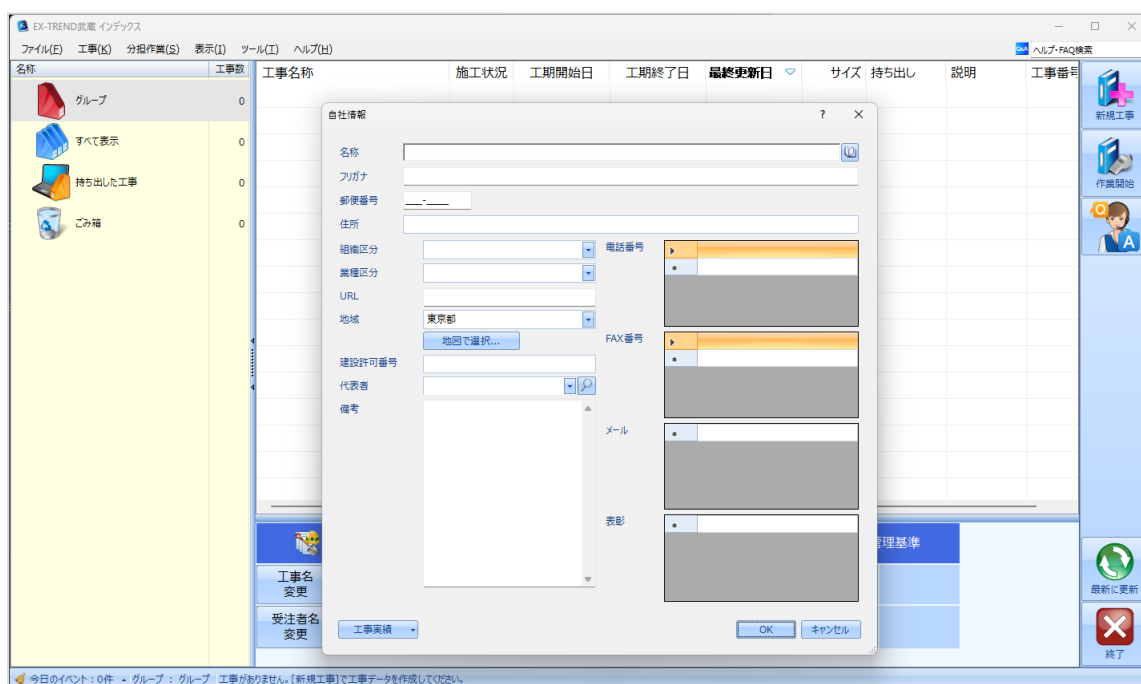
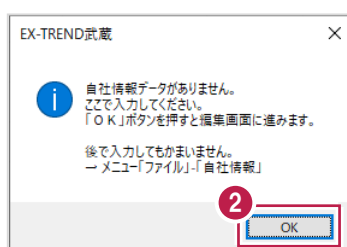
「EX-TREND武蔵 インデックス」を起動します。

- 1 「EX-TREND 武蔵 インデックス」をダブルクリックします。



- 2 確認メッセージが表示された場合は、「OK」をクリックします。

EX-TREND 武蔵 インデックスが起動します。



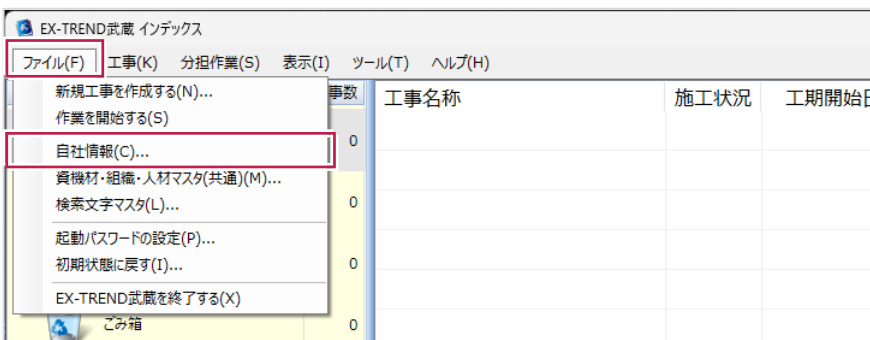
## 1-2 自社情報の入力

インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

- 1 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。
- 2 [OK] をクリックします。

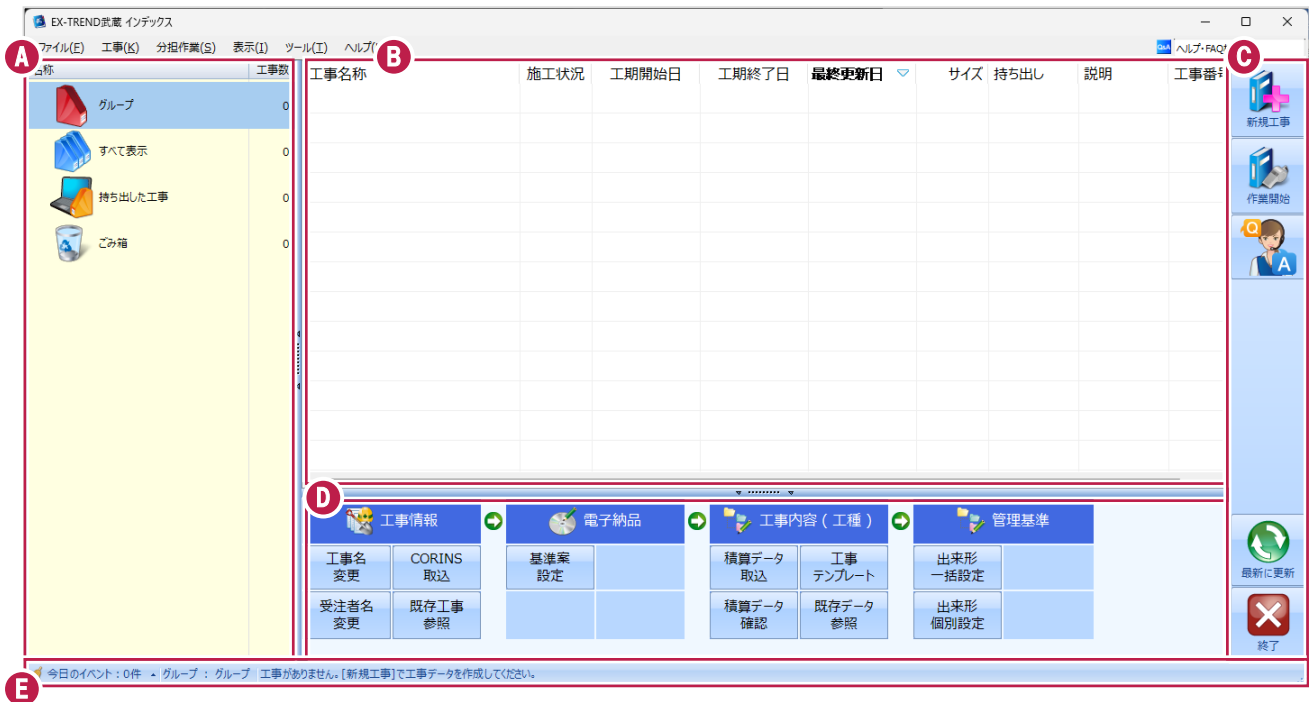
[キャンセル] をクリックすると、次回インデックス起動時に自社情報ダイアログが再表示されます。

- ・ 自社情報に入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。  
例えば、[地域] は電子納品の要領・基準案などに初期設定として反映されます。
- ・ 自社情報はメニューバーの [ファイル] - [自社情報] で編集できます。



## 1-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面周りを説明します。



<p><b>A</b> グループ一覧</p>	<p>工事をグループごとに管理できます。</p> <p>グループを選択すると、所属する工事が <b>B</b>（工事一覧）に表示されます。</p> <p>右クリックして表示されるポップアップメニューでグループを追加・編集・削除できます。</p> <p>グループは 5 階層まで作成可能です。</p>
<p><b>B</b> 工事一覧</p>	<p><b>A</b>（グループ一覧）で選択中のグループの工事が一覧表示されます。</p> <p>[表示] - [工事の表示方法] で、表示方法の切り替えが可能です。</p>
<p><b>C</b> アイコンバー</p>	<p>[新規工事] : 新しい工事を作成します。</p> <p>[作業開始] : 選択した工事の作業を開始します。</p> <p>[QA] : よくある質問への回答を閲覧できます。</p> <p>[最新に更新] : 一覧を最新に更新します。</p> <p>[終了] : アプリケーションを終了します。</p>
<p><b>D</b> 工事編集パネル</p>	<p>[工事情報] [電子納品] [工事内容（工種）] [管理基準] を編集するコマンドを実行できます。</p>
<p><b>E</b> ステータスバー</p>	<p>スケジュールに入力したイベントや工事データの保存先などが表示されます。</p>

## 1-4 新規に工事を作成する

新しい工事を作成します。

- 1 [新規工事] をクリックします。

グループごとに工事を管理する場合は、所属するグループを選択して [新規工事] をクリックしてください。  
※工事作成後にグループを移動することもできます。

名称	工事数	工事名称
グループ	0	
2018年度	0	
2019年度	0	



- 2 [新しく工事を作成する] をクリックします。

その他の作成方法は以下の通りです。

### 【既存工事から作成する】

既存の工事データを再利用して工事を作成する場合に選択します。

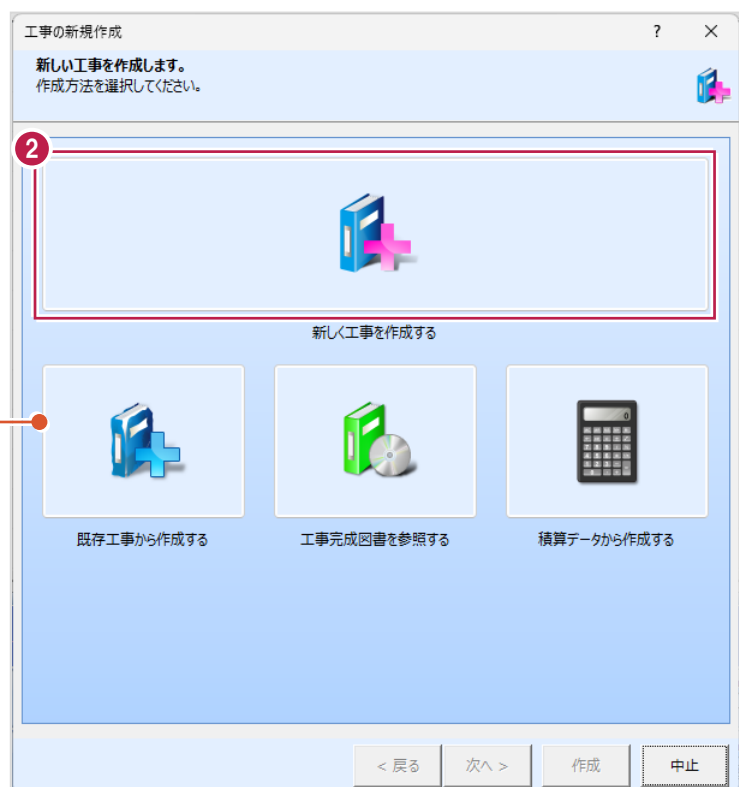
### 【工事完成図書を参照する】

発注者からのデータや以前の納品データを参照して工事を作成する場合に選択します。

### 【積算データから作成する】

積算ソフトのデータを元に工事を作成する場合に選択します。

※工事作成後に積算データを読み込むこともできます。



- ③ [工事名称] を入力します。  
 ここでは、「サンプル工事」と入力します。  
 必要に応じて、他の項目も入力してください。

- ④ [電子納品を行う] をオフにします。

電子納品を行う場合は、[電子納品を行う] をオンにし、[要領・基準案の選択] をクリックして設定してください。

- ⑤ [作成] をクリックします。  
 工事が作成されます。

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。  
 工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

③ 工事名称 サンプル工事

発注年度 (西暦) 2023

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 2023年10月 2日 ~ 2023年10月 2日

請負金額 0 円

工事内容

④  電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定

出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

アイコン

工事カラー  
 ここをクリックします

⑤ < 戻る 次へ > 作成 中止

名称	工事数	工事名称	施工状況
グループ	1	サンプル工事	着工前
すべて表示	1		
持ち出した工事	0		
ごみ箱	0		

工事名称などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックして [工事情報] をクリックしてください。

名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新
グループ	1	サンプル工事	着工前	2023/10/02	2023/10/02	2023/

右クリック

- 作業開始
- 工事情報...
- 工事内容...
- 電子納品要領・基準案の選択...
- 分担作業の選択...



## 1-5 工事データを開く/閉じる

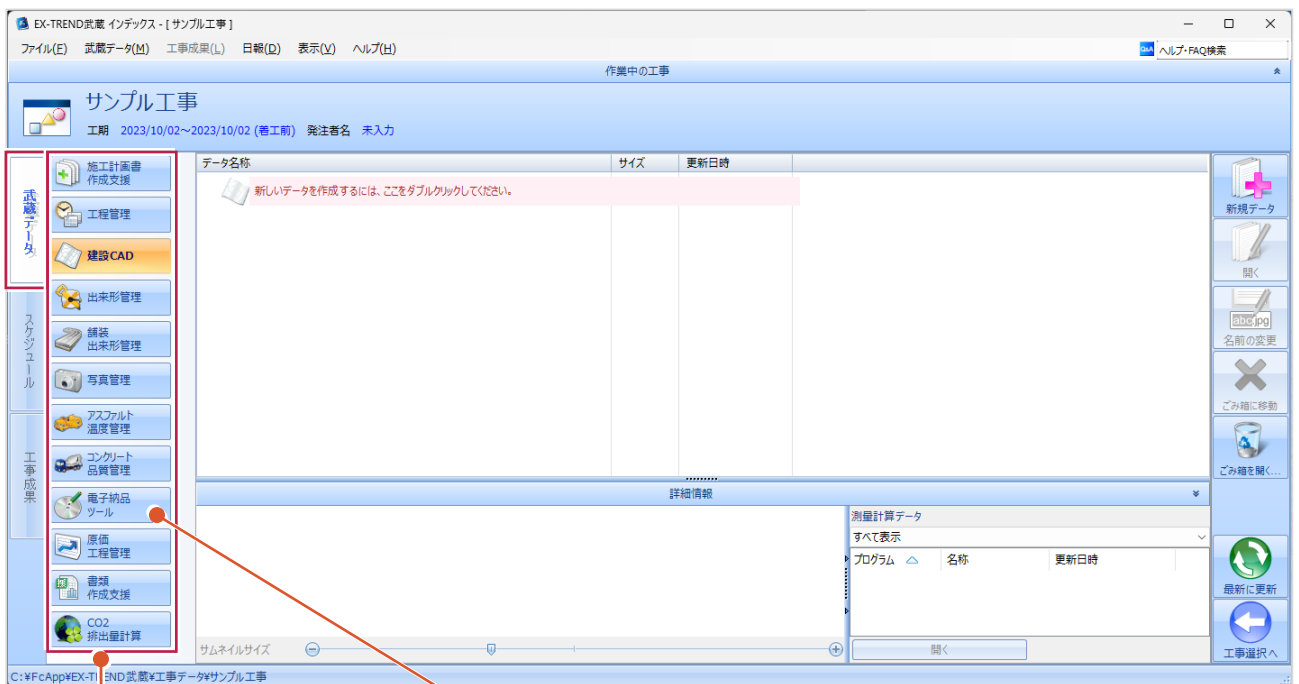
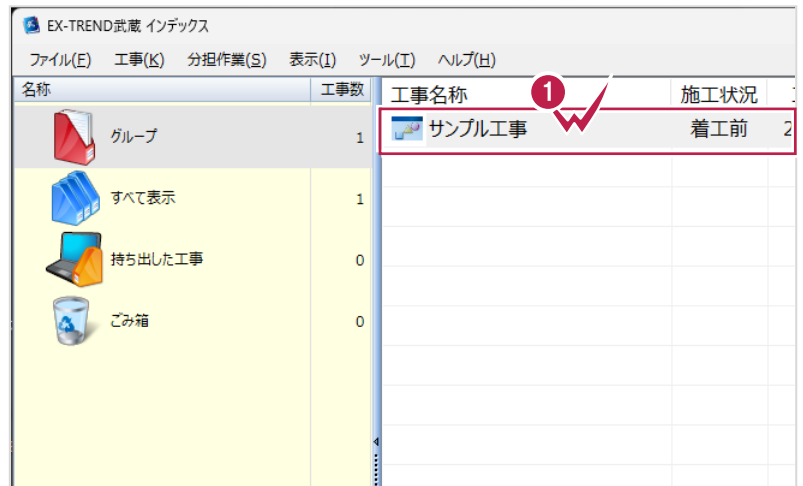
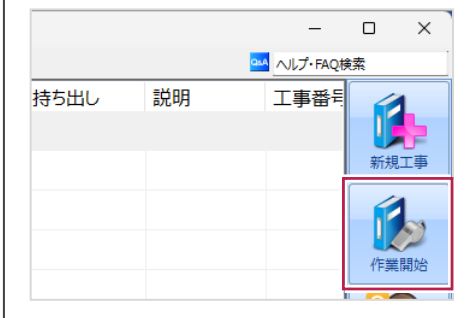
工事データを開く/閉じる操作を説明します。

### ■ 工事データを開く

工事データを開き、武蔵データ画面を表示します。

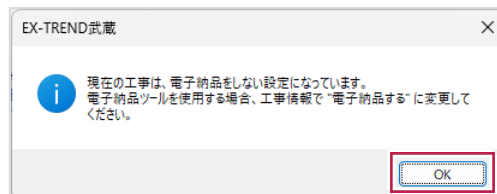
- 1 工事データをダブルクリックします。  
武蔵データ画面が表示されます。

工事データを選択し、[作業開始] をクリックして開くこともできます。



画面左側に武蔵データのアプリケーション一覧が表示されます。購入していないアプリケーションには進入禁止マーク🚫が表示されます。

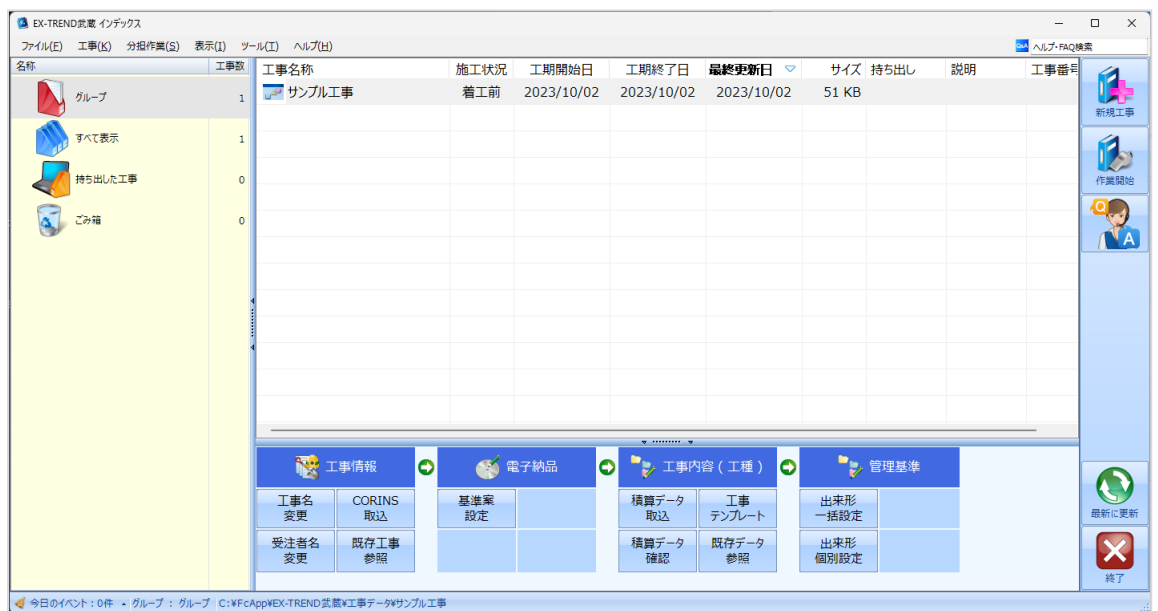
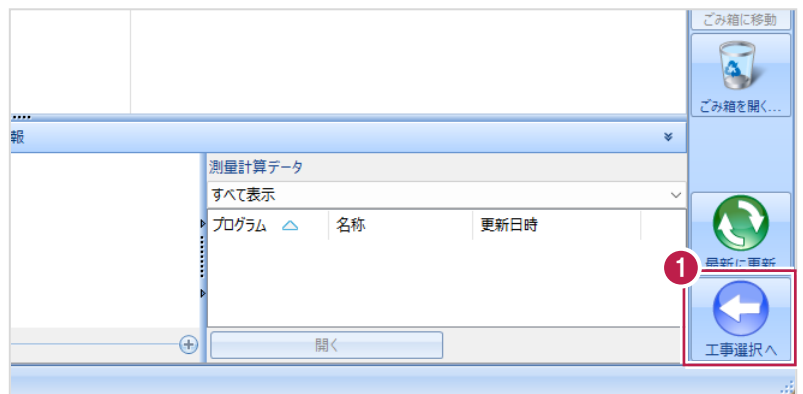
電子納品を行わない設定にした場合、[電子納品ツール] をクリックすると確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてメッセージを閉じてください。



## ■ 工事データを閉じる

工事データを閉じて、工事選択画面に戻ります。

- ① 画面右下の「工事選択へ」をクリックします。  
工事選択画面に戻ります。



## 1-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピューターも他の電化製品と同じように故障する場合があります。

また、些細なミスでデータを削除してしまうことも考えられます。

バックアップとは、工事データや設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することです。

使用中のコンピューターのHDDなどにバックアップすることは、本来の意味のバックアップとは言えません。

※CDやDVDには直接バックアップできません。HDDの別の領域にバックアップ後、ライティングソフトなどでコピーしてください。

お客様が作成したデータは、お客様にとって大切な財産です。

万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2ヶ所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。

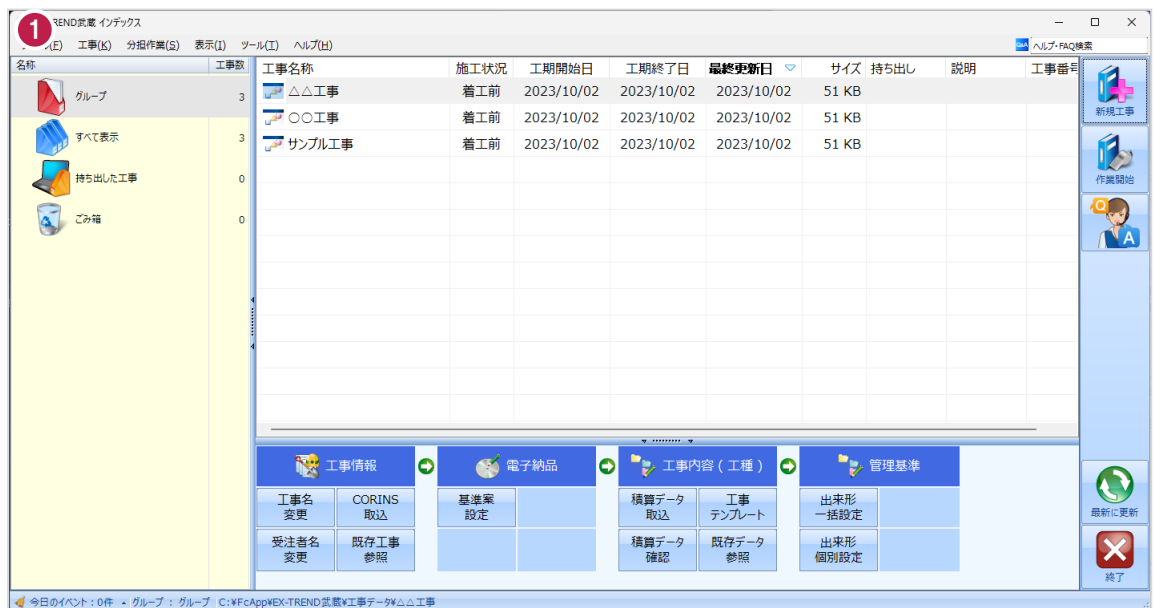
※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

ここでは、インデックスで管理している複数の工事データを一括バックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

### ■ 工事データをバックアップする

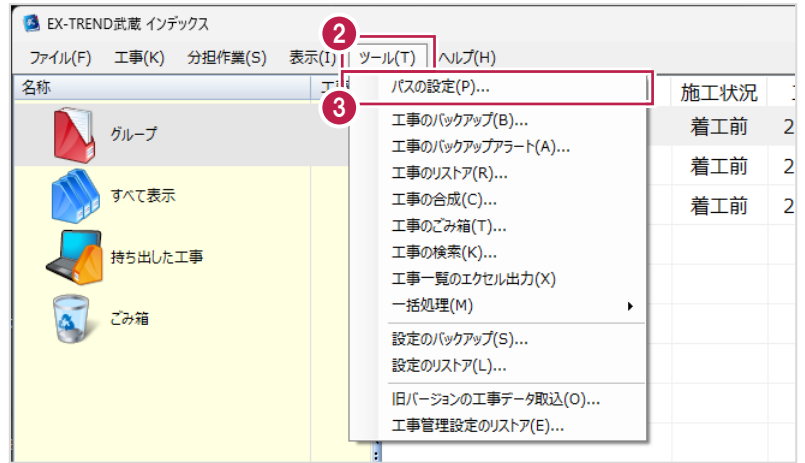
バックアップデータの保存先を確認して、工事データを一括バックアップします。

- 1 EX-TREND 武蔵の関連プログラムを全て終了し、インデックスを起動します。



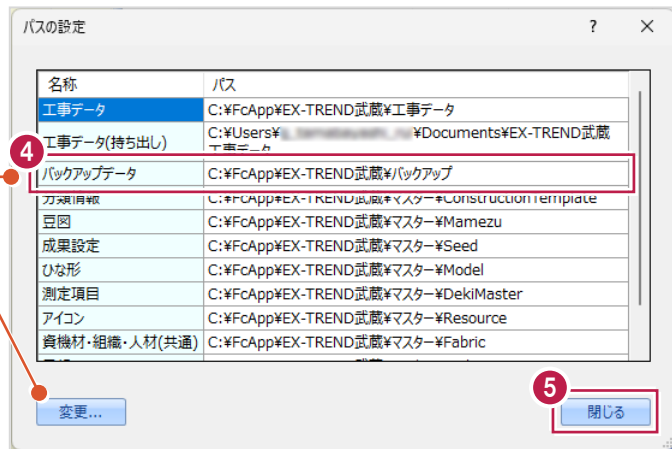
2 メニューバーの [ツール] をクリックします。

3 [パスの設定] をクリックします。



4 バックアップデータの保存先を確認します。

保存先を変更する場合は、  
[バックアップデータ] を選択し  
[変更] をクリックして  
フォルダーを指定してください。

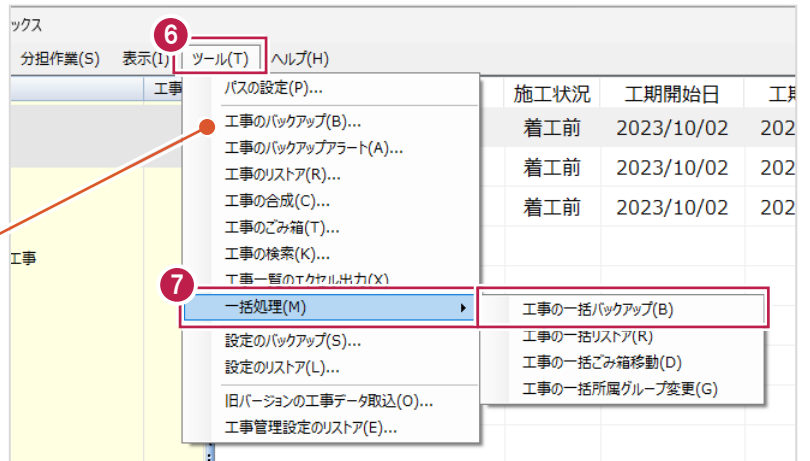


5 [閉じる] をクリックします。

6 メニューバーの [ツール] をクリックします。

7 [一括処理] - [工事の一括バックアップ] を  
クリックします。

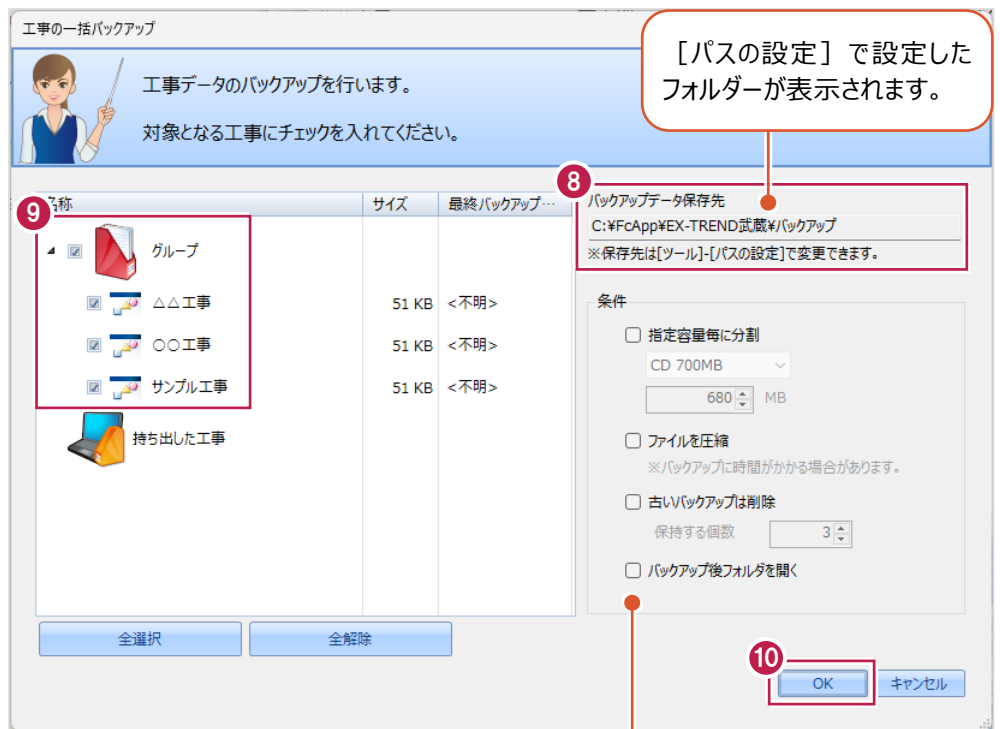
個別にバックアップする場合は、  
工事一覧で工事を選択し、  
[ツール] - [工事のバックアップ] を  
行ってください。



8 [バックアップデータ保存先] を確認します。

9 バックアップする工事をオンにします。

10 [OK] をクリックします。



#### 【指定容量毎に分割】

CDなどのメディアの容量に合わせて、分割保存する場合に使用します。

#### 【ファイルを圧縮】

圧縮してバックアップサイズ（容量）を小さくする場合に使用します。

※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。

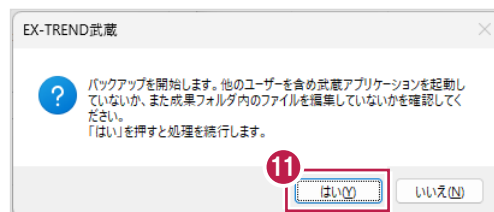
#### 【古いバックアップは削除】

同一フォルダへ保管しておくバックアップ数を指定します。

#### 【バックアップ後フォルダを開く】

バックアップ完了後に保存先のフォルダを開く場合はオンにします。

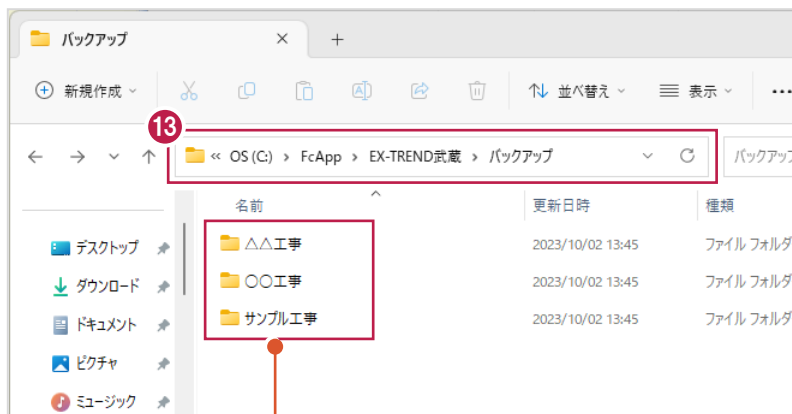
11 [はい] をクリックします。



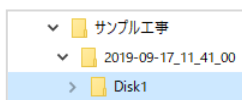
12 [OK] をクリックします。



- 13 バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。



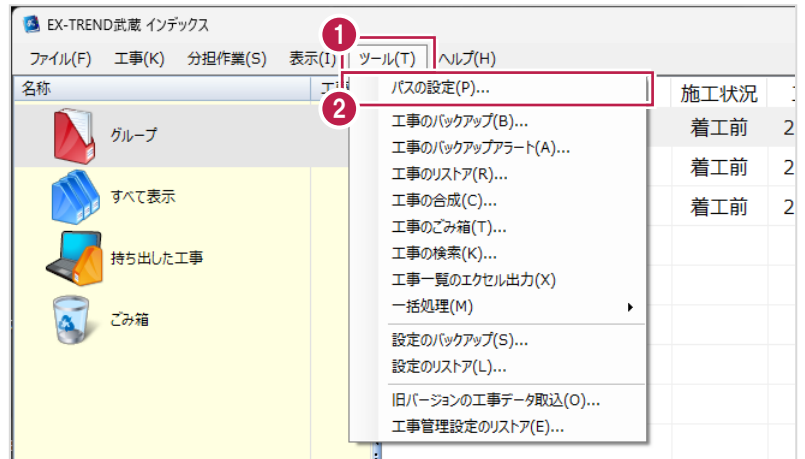
工事のバックアップデータは、[工事名称] - [年月日時分秒] - [Disk1] フォルダに保存されます。



## ■ 工事データをリストア（復元）する

リストアするバックアップデータの保存先を確認して、工事データを一括リストアします。

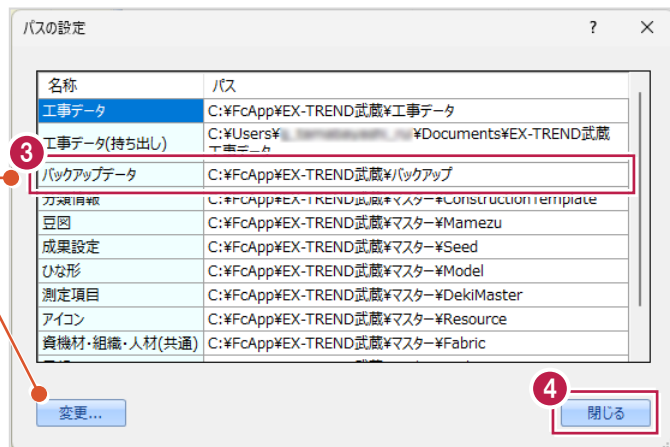
① メニューバーの [ツール] をクリックします。



② [パスの設定] をクリックします。

③ [バックアップデータ] のパスを確認します。

バックアップデータが外付けHDDなどに保存されている場合は、  
[バックアップデータ] を選択し  
[変更] をクリックしてリストア対象の  
フォルダーを選択してください。

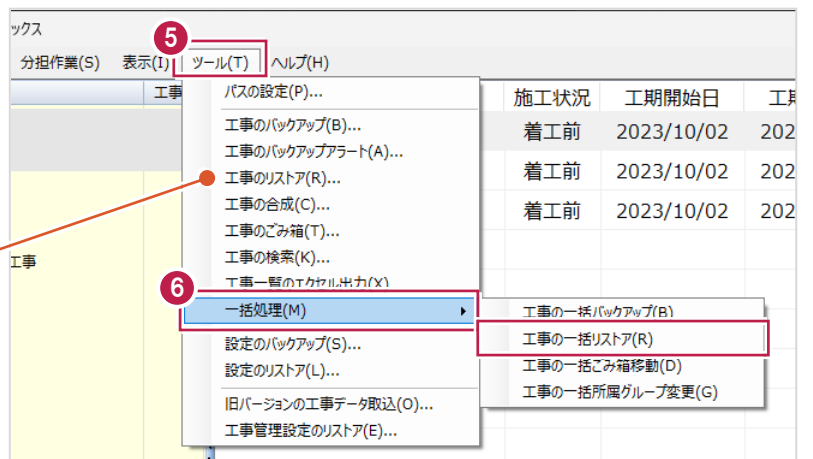


④ [閉じる] をクリックします。

⑤ メニューバーの [ツール] をクリックします。

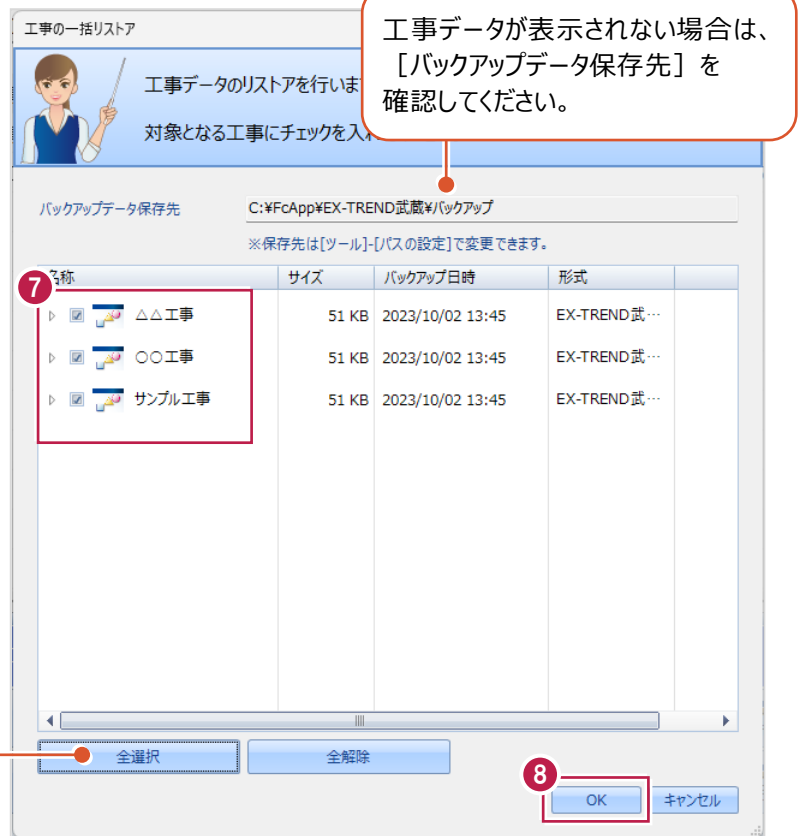
⑥ [一括処理] - [工事の一括リストア] をクリックします。

個別にリストアする場合は、  
[ツール] - [工事のリストア] で  
対象データの「Disk1」フォルダーを  
指定してください。



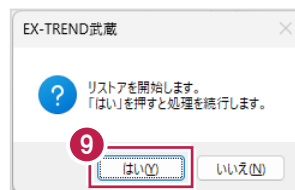
7 取り込む工事データをオンにします。

8 [OK] をクリックします。



全てオンにする場合は、  
[全選択] をクリックしてください。

9 [はい] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。  
工事データが復元されます。





## 1-7 各種設定のバックアップ/リストア

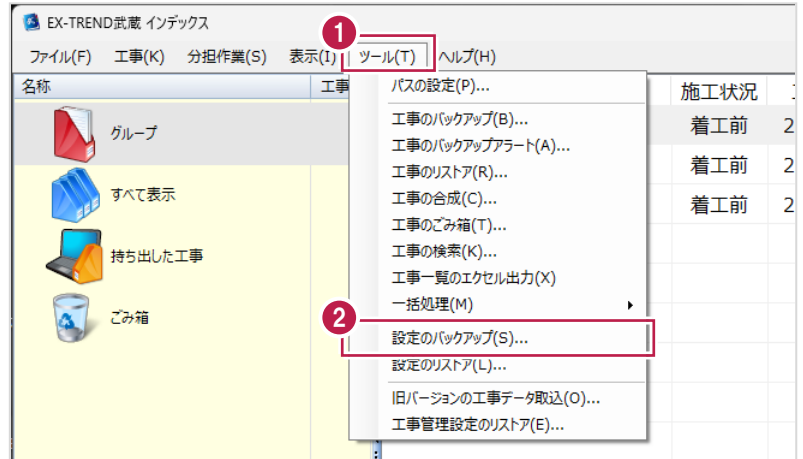
EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定や辞書などをバックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

### ■ 設定データをバックアップする

設定データをバックアップします。

① メニューバーの [ツール] をクリックします。

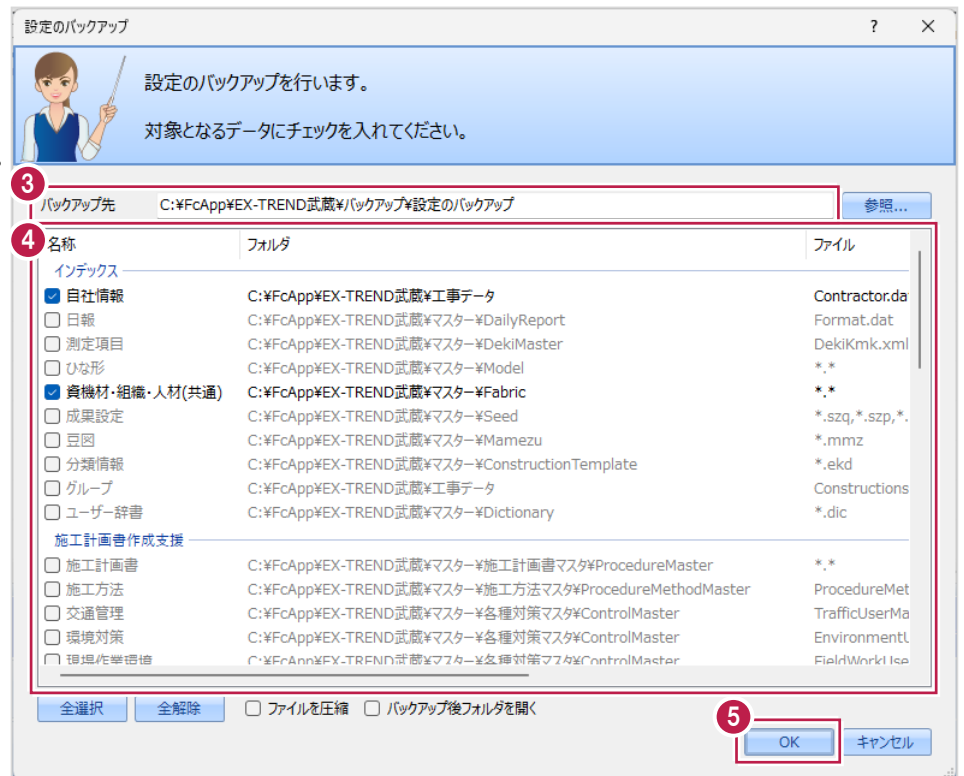
② [設定のバックアップ] をクリックします。



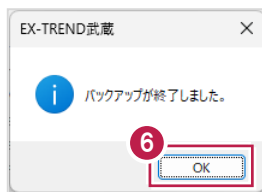
③ バックアップ先を確認します。

④ バックアップする設定をオンにします。

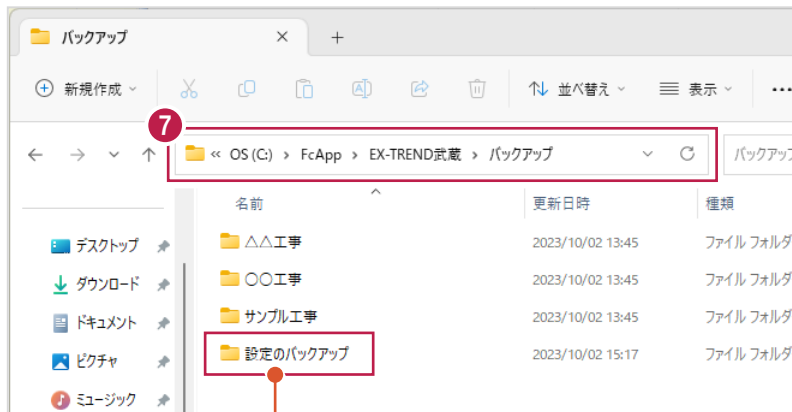
⑤ [OK] をクリックします。



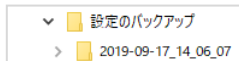
6 [OK] をクリックします。



7 バックアップ先に設定データが保存されます。



設定のバックアップデータは、[設定のバックアップ] – [年月日時分秒] フォルダに保存されます。

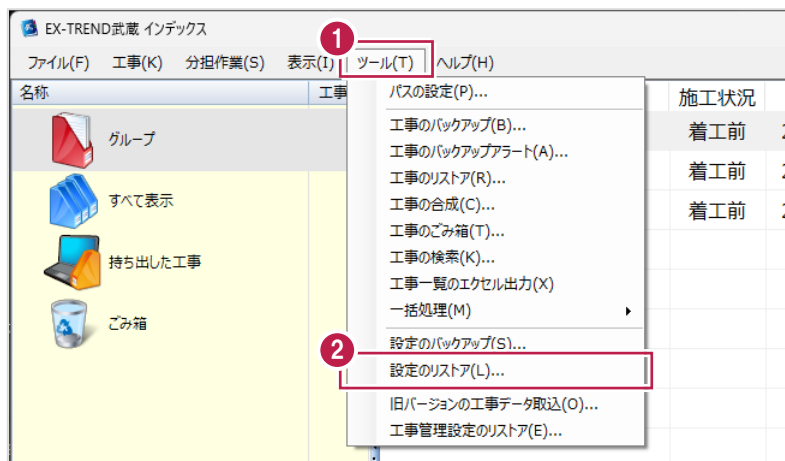


## ■ 設定データをリストア（復元）する

設定データをリストアします。

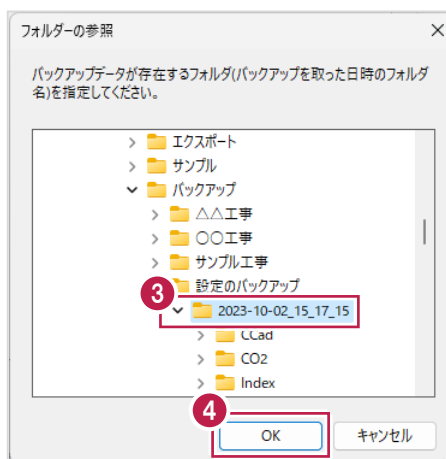
① メニューバーの [ツール] をクリックします。

② [設定のリストア] をクリックします。



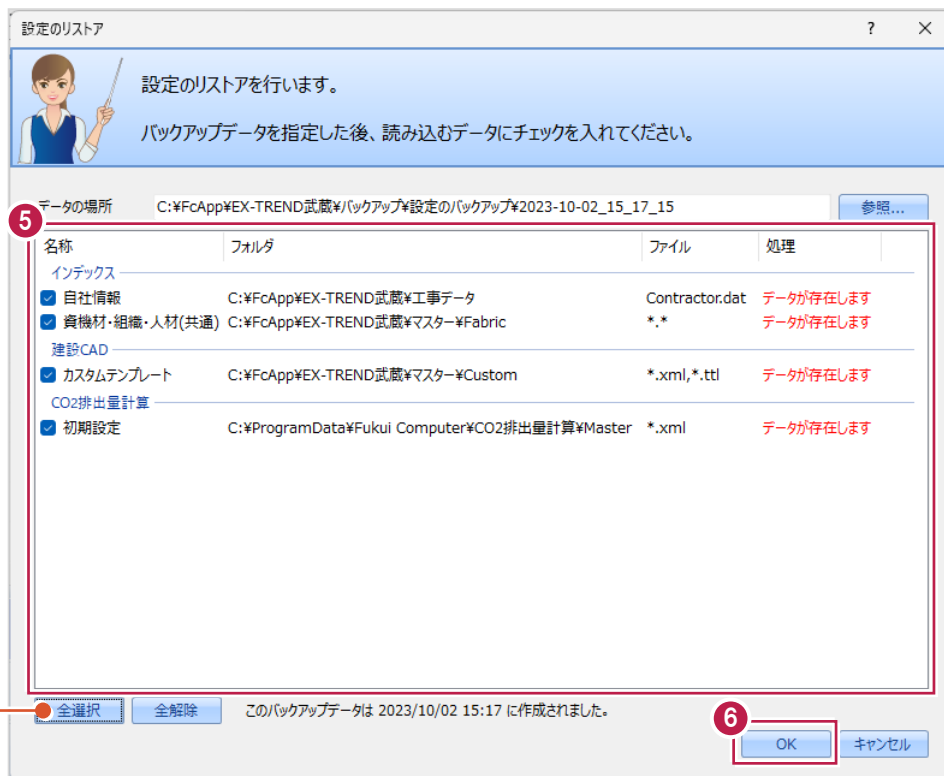
③ バックアップした設定データが存在するフォルダーを選択します。

④ [OK] をクリックします。



5 取り込む設定データをオンにします。

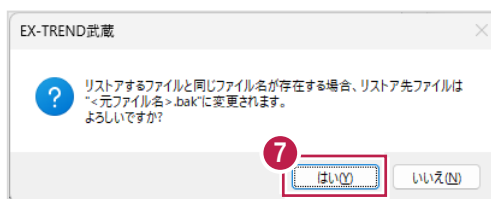
6 [OK] をクリックします。



全てオンにする場合は、  
[全選択] をクリックして  
ください。

7 確認メッセージが表示された場合は、  
[はい] をクリックします。

※リストア先に同名のファイルが存在する  
場合に表示されます。



8 [OK] をクリックします。



# 2

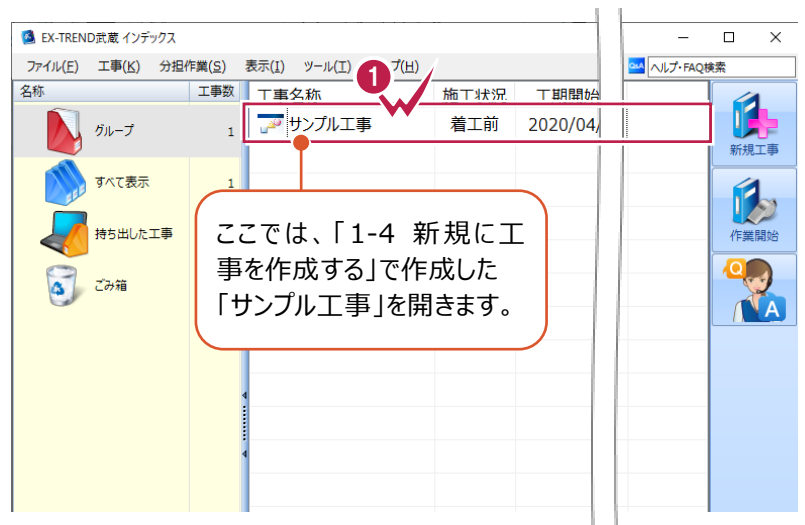
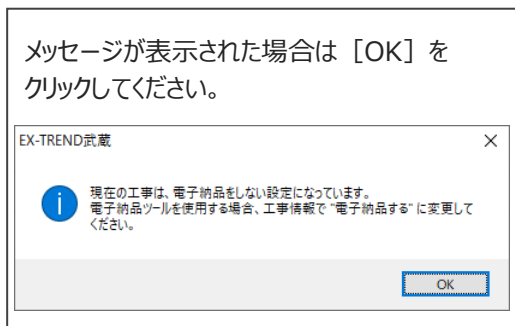
## 写真管理の起動

EX-TREND武蔵 インデックスで工事データを開き、写真管理を起動します。

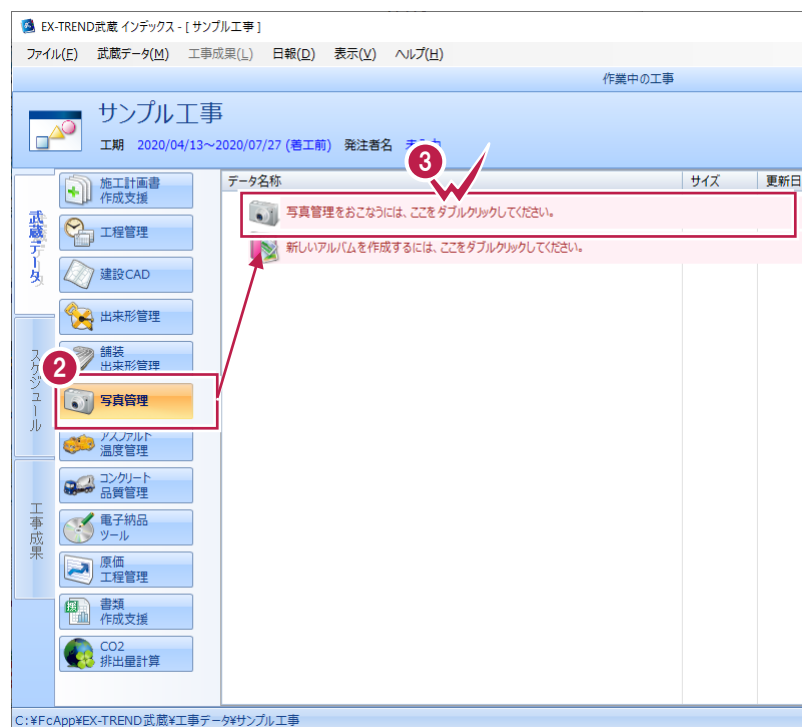
### 2-1 写真管理の起動

工事データを開いて、写真管理を起動し、工事テンプレートの読み込みを行います。

- 1 作業を行う工事データをダブルクリックします。

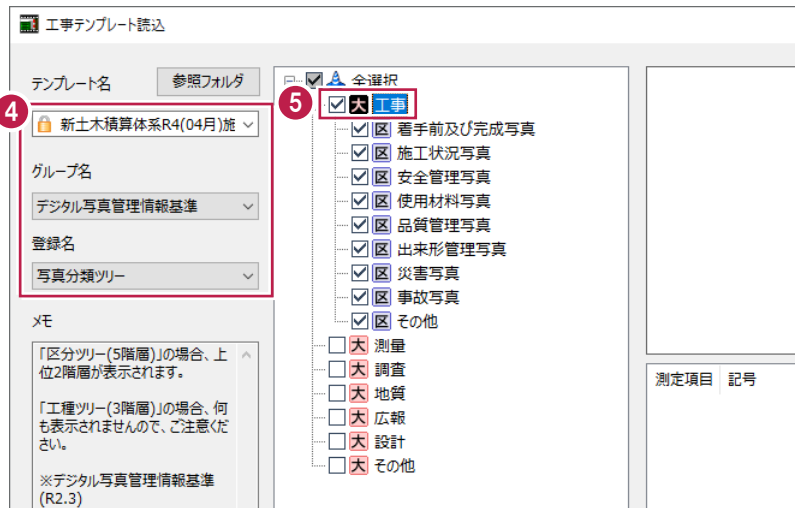


- 2 画面左側で [写真管理] をクリックします。
- 3 データ一覧で、「写真管理を行うには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



- 4 以下のようにテンプレートを選択します。  
 [テンプレート名] : 「新土木積算体系 R5 施工 P 対応版」  
 [グループ名] : 「デジタル写真管理情報基準」  
 [登録名] : 「写真分類ツリー」

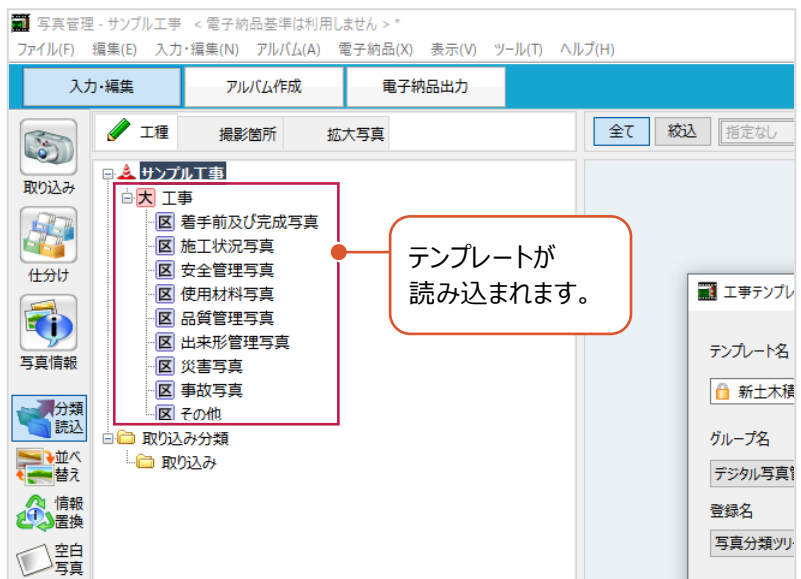
- 5 「大分類」: [工事] のチェックをオンにします。



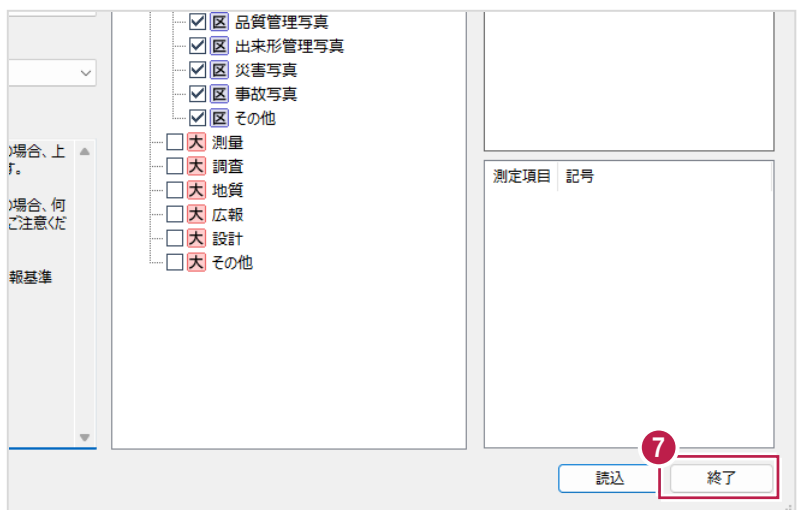
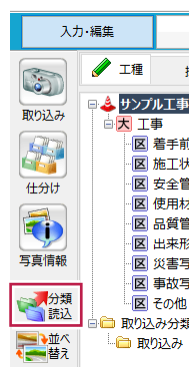
- 6 [読込] をクリックします。



- 7 [終了] をクリックし、工事テンプレート読込を終了します。



再度、工事テンプレート読込ダイアログを開く場合は、画面左側のアイコンから「分類読込」をクリックしてください。

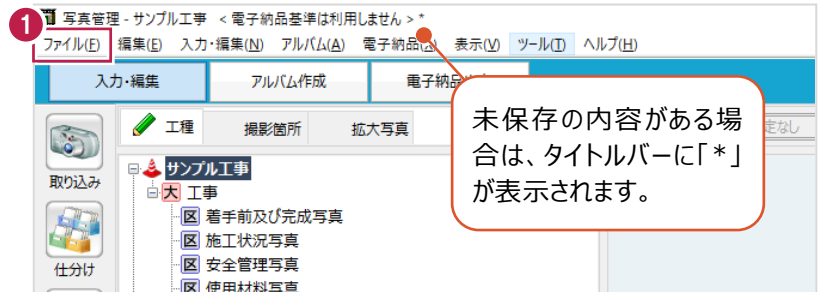


## 2-2 データの保存

ここでは、写真管理のデータ保存について説明します。

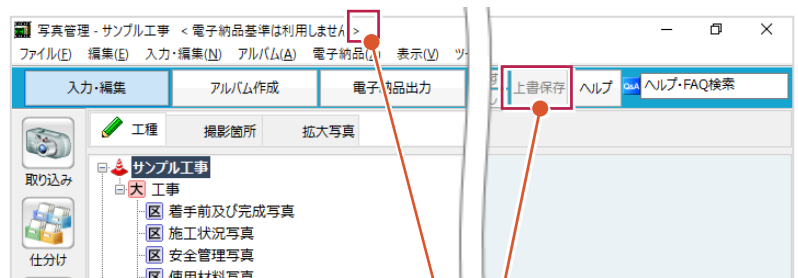
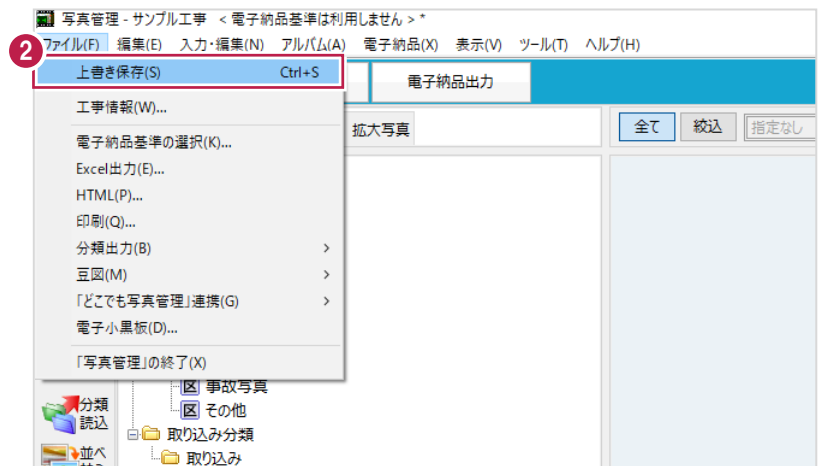
写真管理での操作を終了するときだけでなく、操作の合間に適宜データの保存を行うことをおすすめします。また、本書内の操作中も、必要に応じてデータの保存を行ってください。

- 1 メニューバーの「ファイル」をクリックします。



- 2 「上書き保存」をクリックします。

画面右上の「上書き保存」をクリックしても保存ができます。



上書き保存が完了するとタイトルバーの「\*」が消えて、右上の「上書き保存」がグレー表示になります。

# 3

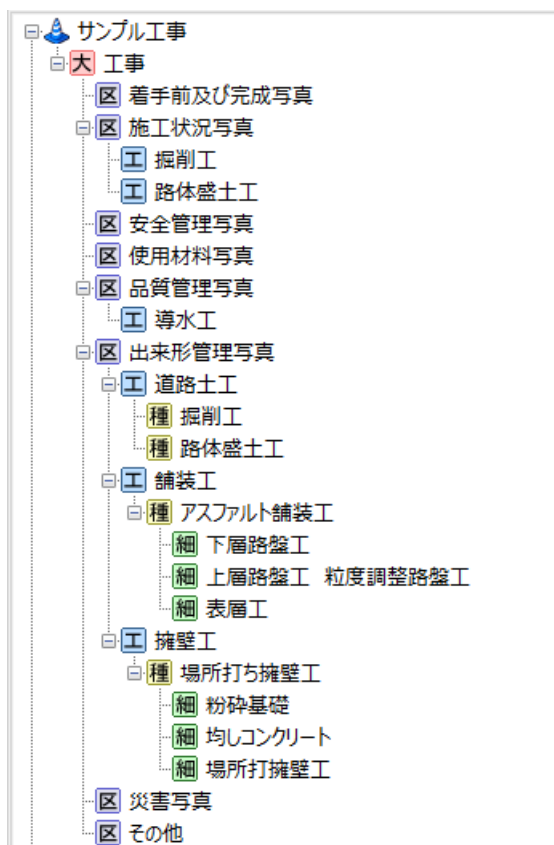
## 分類の作成

写真を仕分けるための「分類」を作成します。

分類は画面左側にツリー形式で表示されます。

フォルダーのようなイメージで、上の階層から順に「大分類」、「区分」、「工種」、「種別」、「細別」と細分化されます。

ここでは、以下のような分類を作成するために、分類の追加や訂正、並べ替えなどの操作について説明します。



分類には5階層あり、それぞれ以下のようなアイコンで表示されます。

**大** …大分類

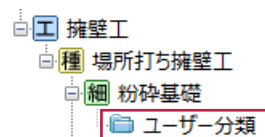
**区** …区分

**工** …工種

**種** …種別

**細** …細別

※さらに詳細に写真整理する場合は、「ユーザー分類」を使用します。

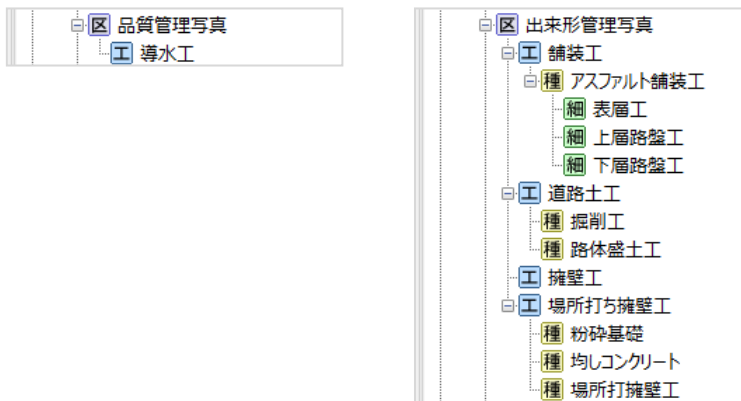




## 3-1 分類を追加する

分類を追加します。

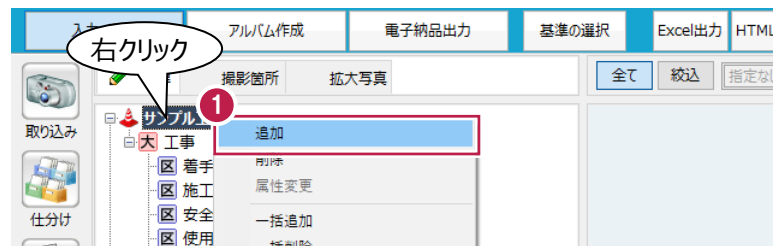
ここでは、[品質管理写真]と[出来形管理写真]の下に、以下のような分類を追加します。



### ■ [品質管理写真]の下に[導水工]を追加する

[品質管理写真]の下に、工種：[導水工]を追加します。

- 1 分類ツリーで右クリックし、[追加]をクリックします。

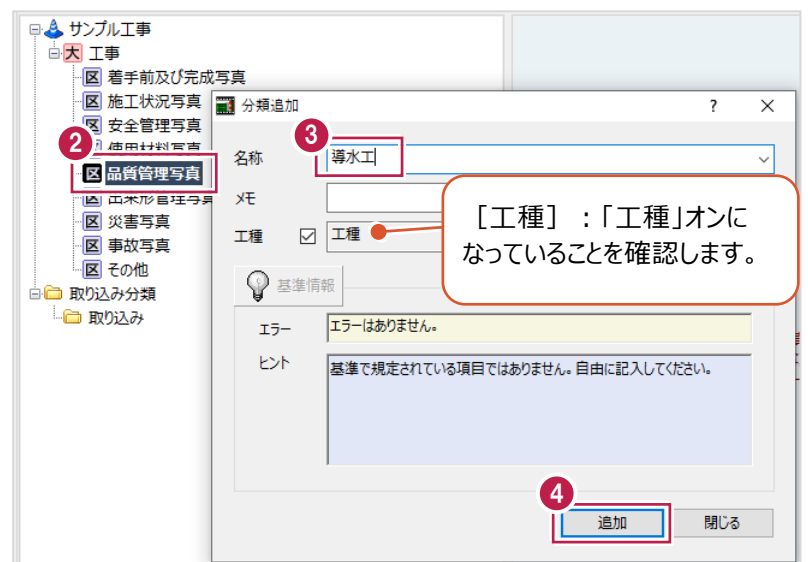


- 2 分類ツリーで[品質管理写真]を選択します。

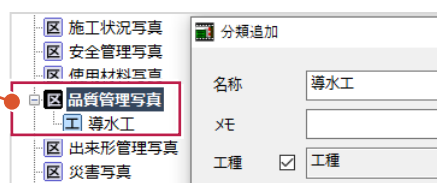
- 3 [名称]に「導水工」と入力します。

- 4 [追加]をクリックします。

Enterキーを押しても追加できます。



区分：[品質管理写真]の下に、  
工種：[導水工]が追加されます。

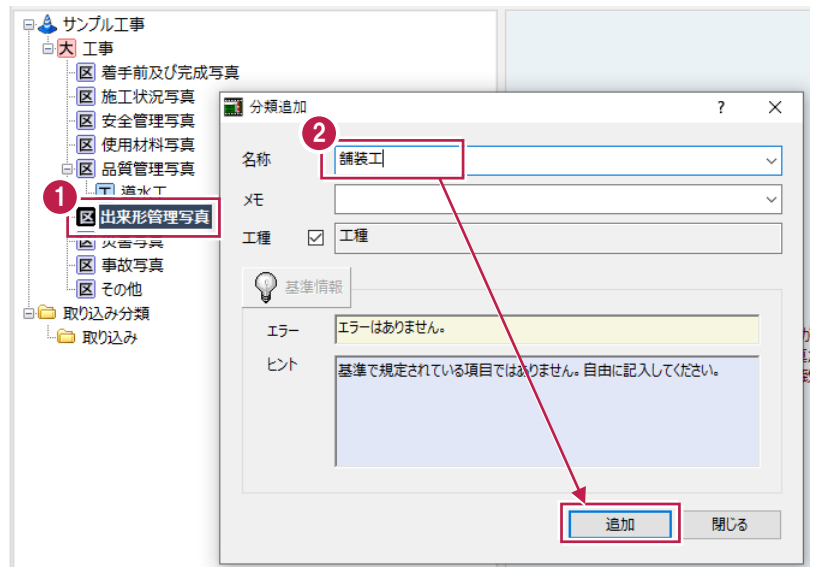


## ■ [出来形管理写真] の下に [舗装工] 以下を追加する

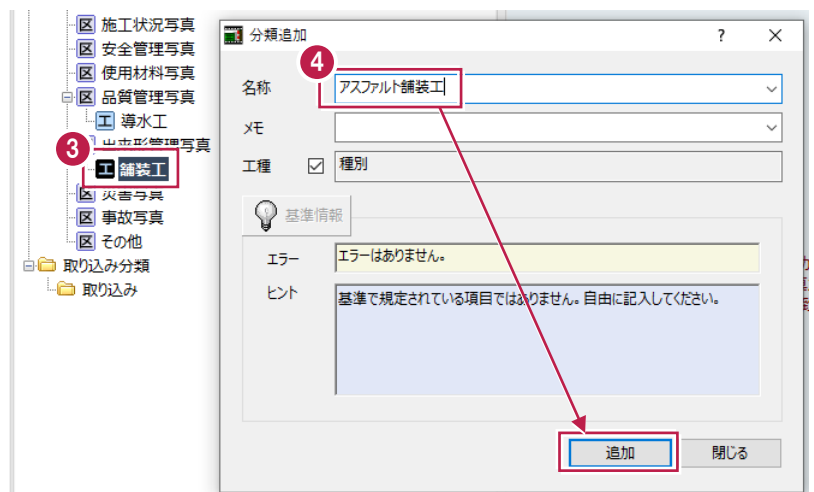
[出来形管理写真] の下に、工種：[舗装工] を追加し、その下に種別：[アスファルト舗装工]、さらにその下に細別：[表層工]、[上層路盤工]、[下層路盤工] を追加します。

- 1 分類ツリーで [出来形管理写真] を選択します。
- 2 [名称] に「舗装工」と入力し、[追加] をクリックします。

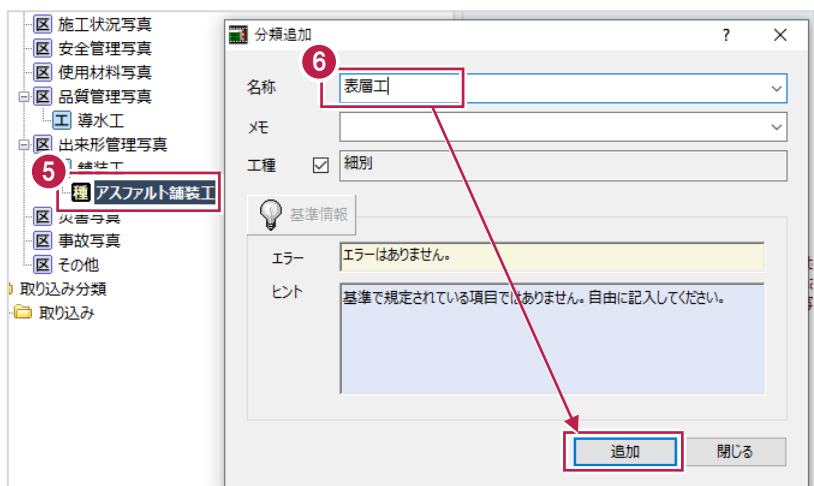
Enterキーを押しても追加できます。



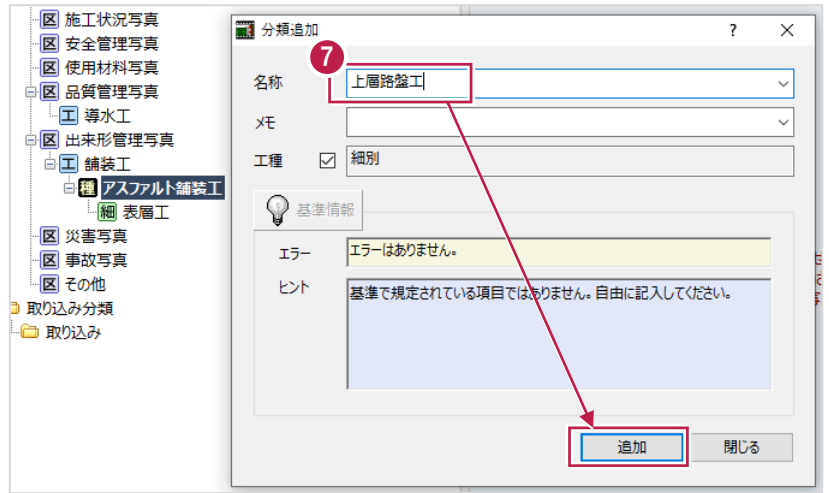
- 3 「2」で追加した [舗装工] を選択します。
- 4 [名称] に「アスファルト舗装工」と入力し、[追加] をクリックします。



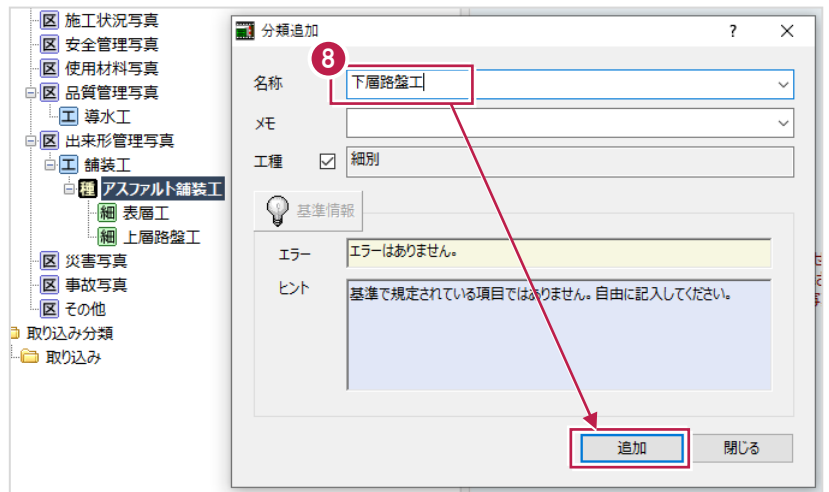
- 5 「4」で追加した [アスファルト舗装工] を選択します。
- 6 [名称] に「表層工」と入力し、[追加] をクリックします。



- 7 続けて、同じ階層にあと2つ分類を追加します。  
[名称] に「上層路盤工」と入力し、[追加] をクリックします。

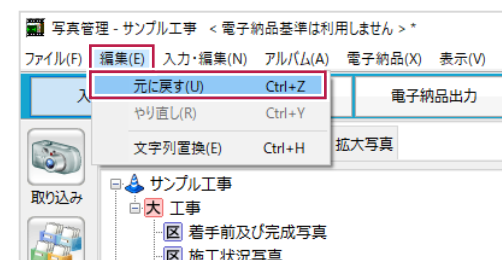
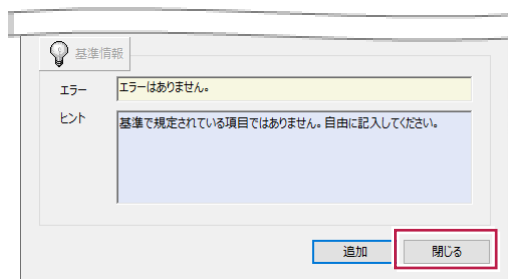


- 8 [名称] に「下層路盤工」と入力し、[追加] をクリックします。



### 追加する分類を間違えた場合

分類追加ダイアログは[閉じる]で一旦終了し、メニューバーの[編集] - [元に戻す]で戻して、作成し直してください。



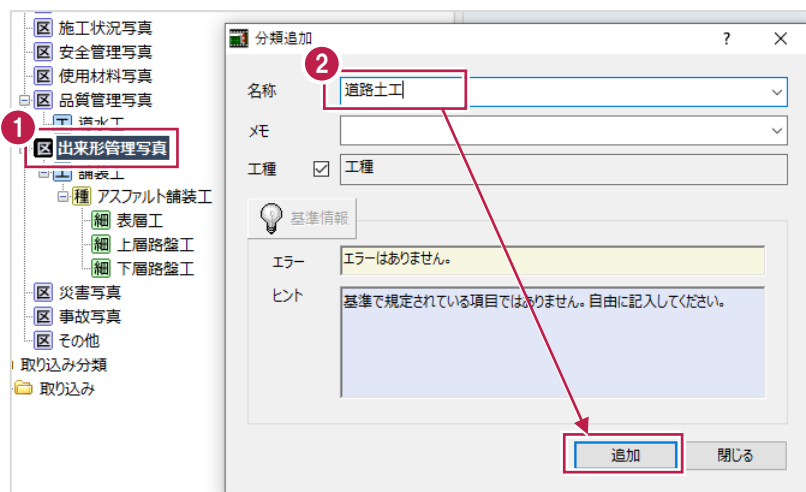
## ■ [出来形管理写真] の下に残りの分類を追加する

[出来形管理写真] の下に、工種：[道路土工]、[擁壁工]、[場所打ち擁壁工] と、それ以下の分類も同様に追加します。

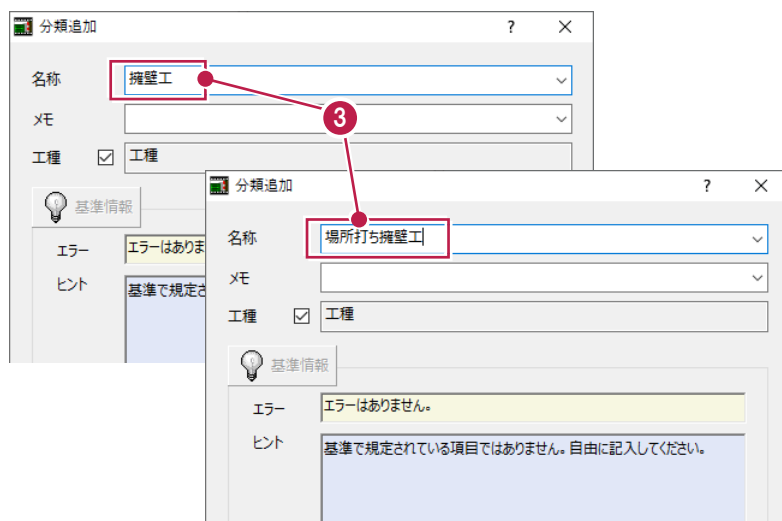
① 分類ツリーで [出来形管理写真] を選択します。

② [名称] に「道路土工」と入力し、[追加] をクリックします。

Enterキーを押しても追加できます。

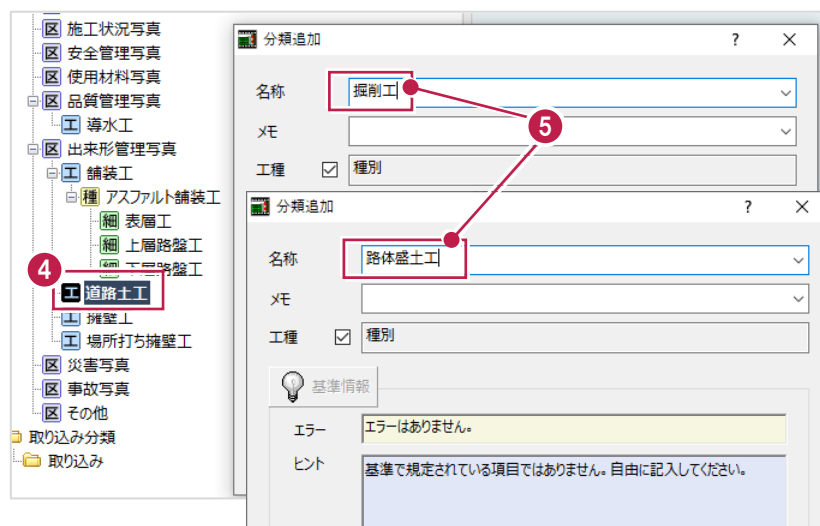


③ 同様に、「擁壁工」と「場所打ち擁壁工」を追加します。



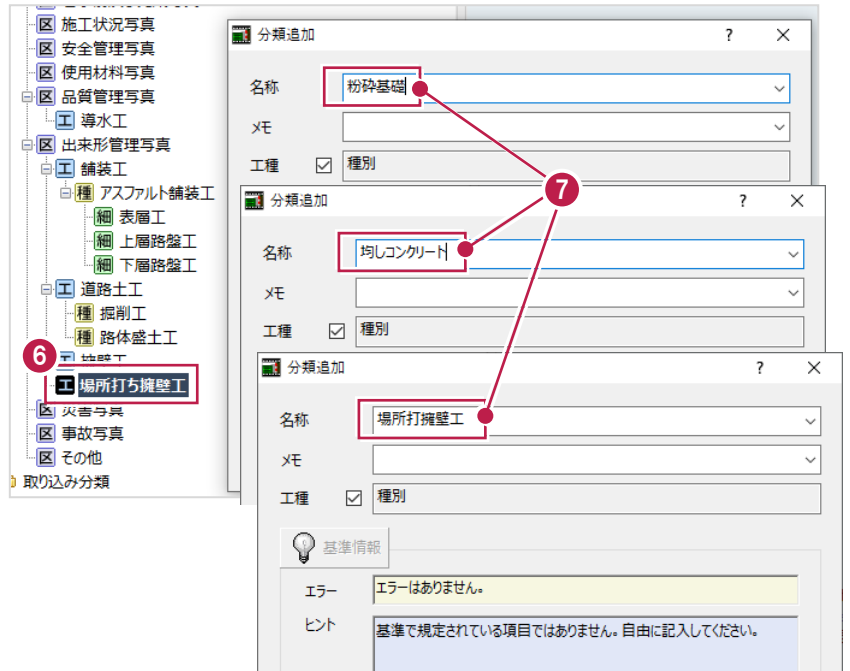
④ 分類ツリーで [道路土工] を選択します。

⑤ 「掘削工」と「路体盛土工」を追加します。

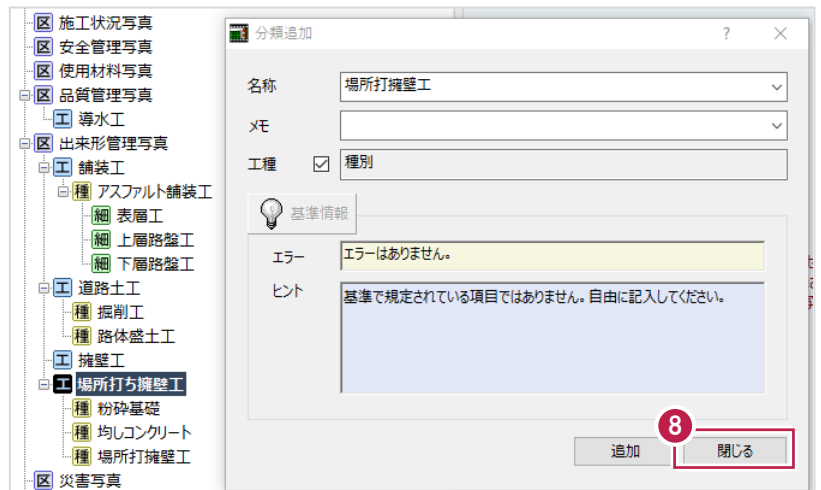


⑥ 分類ツリーで「場所打ち擁壁工」を選択します。

⑦ 「粉砕基礎」、「均しコンクリート」、「場所打擁壁工」を追加します。



⑧ 「閉じる」をクリックします。

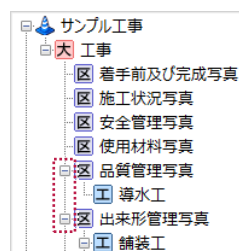


### 分類が増えてツリーが長くなってしまった場合

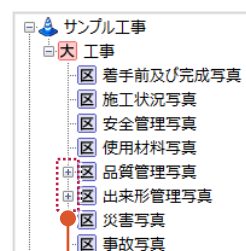
分類が増えてツリーが長くなった場合は、下の階層を非表示にしておくことで見やすくなります。

分類名の左側にある「-」をクリックすると下層が折りたたまれ、「+」をクリックすると展開されます。（分類名をダブルクリックしても切り替えることができます。）

#### <展開>



#### <折りたたみ>

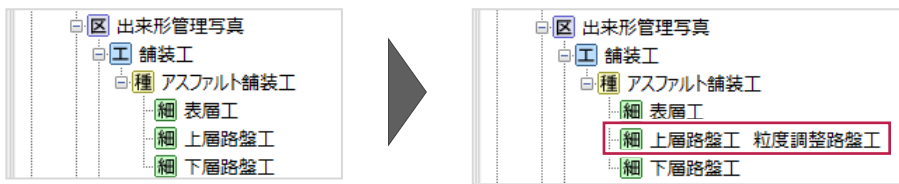


「+」マークの有無で、下層に分類があるかを確認できます。

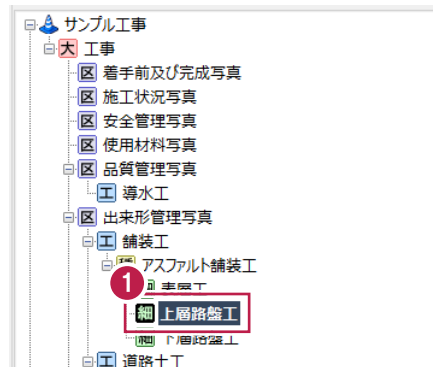
## 3-2 分類名を訂正する

分類名を訂正します。

ここでは、[上層路盤工] を [上層路盤工 粒度調整路盤工] に変更する操作を説明します。



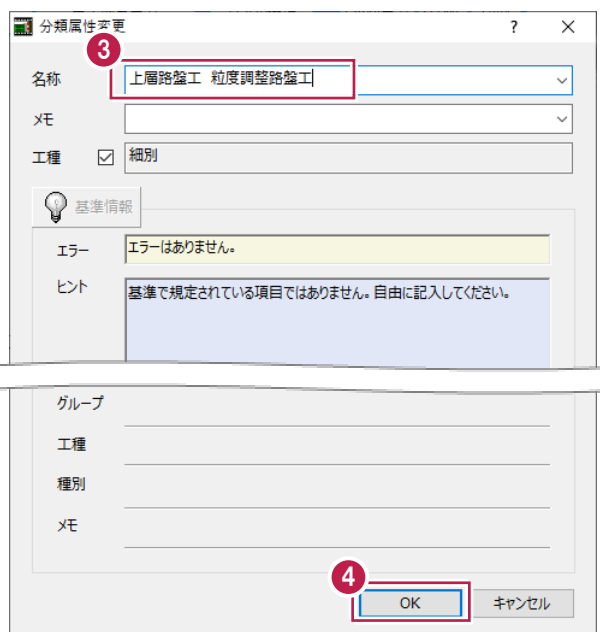
- 1 分類ツリーで、[上層路盤工] を選択します。



- 2 右クリックし、[属性変更] をクリックします。



- 3 [名称] に「上層路盤工 粒度調整路盤工」と入力します。



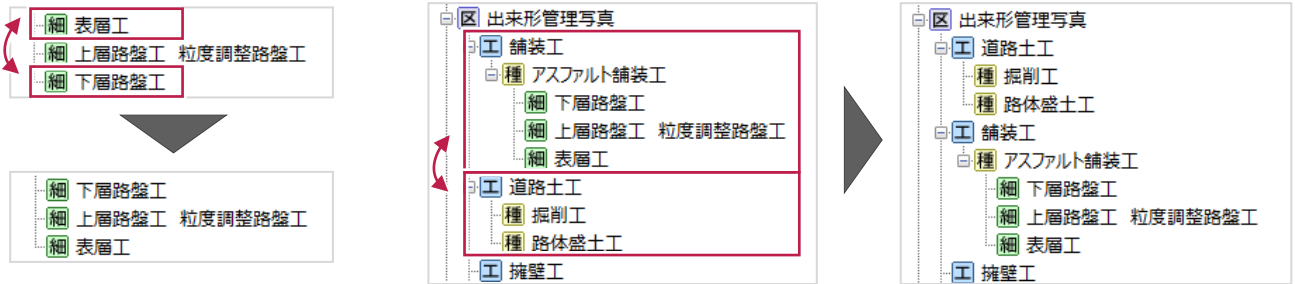
- 4 [OK] をクリックします。

### 3-3 分類を並べ替える

分類を並べ替えます。

ここでは、同じ階層内（区分と区分や、工種と工種など）で移動する場合と、別の階層（工種から区分、異なる分類など）へ移動する場合の操作を説明します。

#### <同じ階層内で移動>



#### <別の階層へ移動>

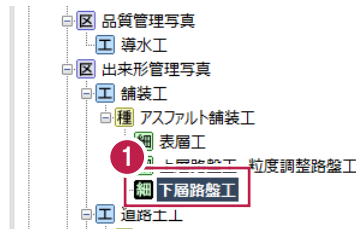


### ■ 同じ階層内の移動（個別）

〔アスファルト舗装工〕内の細別を並べ替えます。

ここでは、〔下層路盤工〕、〔上層路盤工 粒度調整路盤工〕、〔表層工〕の順に変更します。

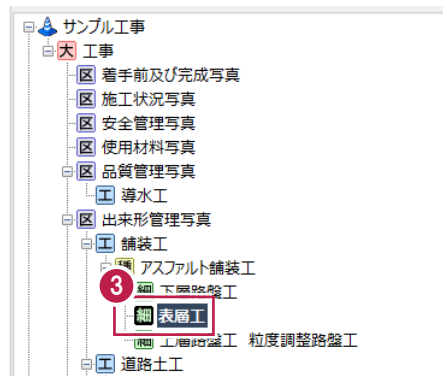
- 1 分類ツリーで、〔下層路盤工〕を選択します。



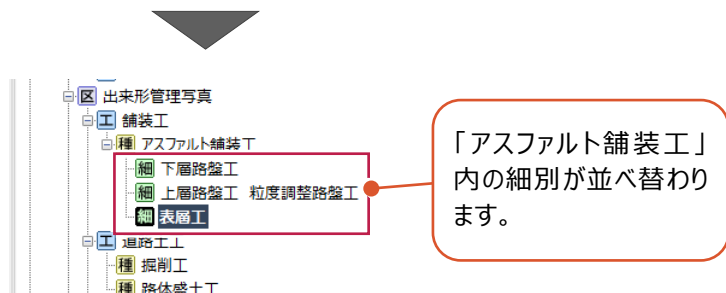
- 2 右クリックし、〔先頭へ移動〕をクリックします。



③ 分類ツリーで、「表層工」を選択します。



④ 右クリックし、「1つ下へ移動」をクリックします。



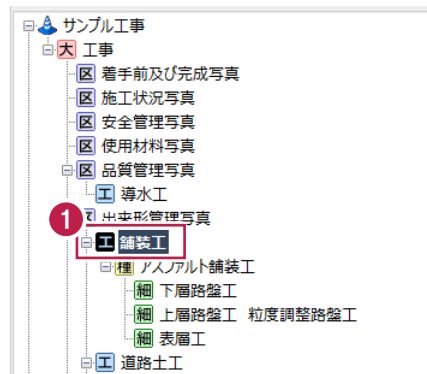


## ■ 同じ階層内の移動（分類並べ替え）

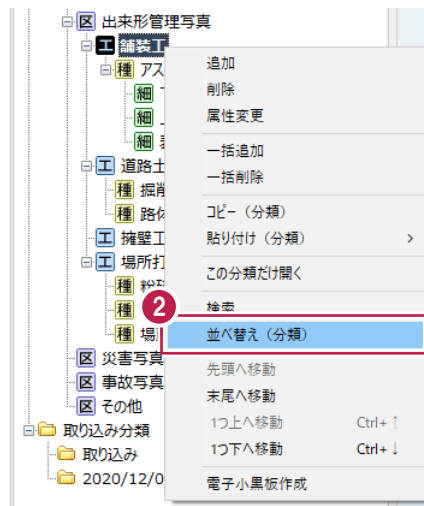
〔出来形管理写真〕内の工種を並べ替えます。

ここでは、〔道路土工〕、〔舗装工〕、〔擁壁工〕、〔場所打ち擁壁工〕の順に並べ替えます。

① 分類ツリーで〔舗装工〕を選択します。

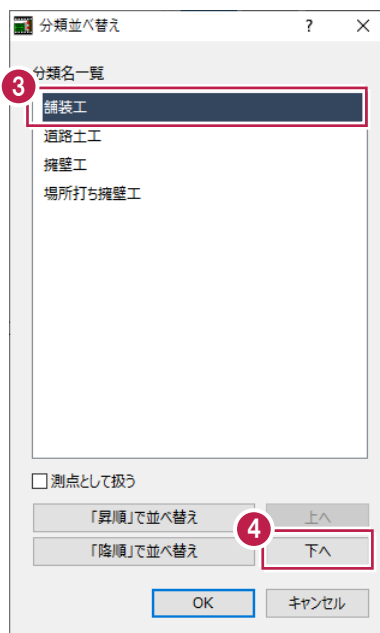


② 右クリックし、〔並べ替え（分類）〕をクリックします。

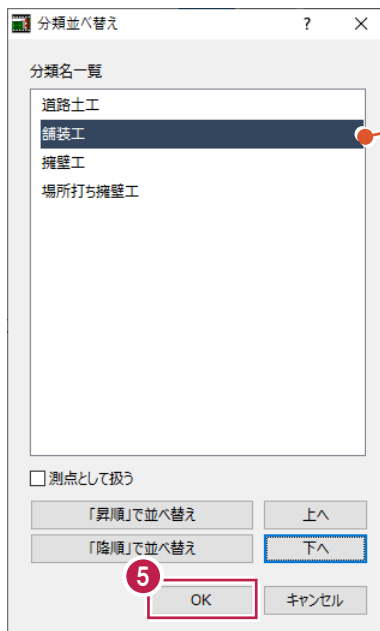


③ 「舗装工」を選択します。

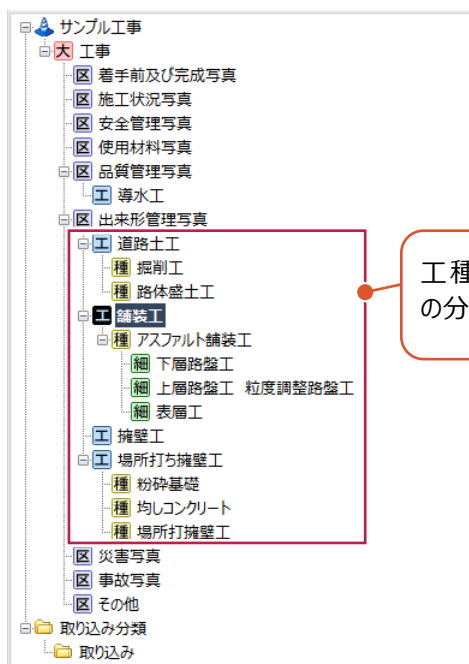
④ [下へ] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



1つ下へ移動したことが確認できます。



工種と一緒に、その下層の分類も移動します。

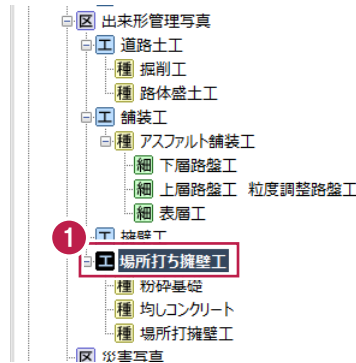
## ■ 別の階層へ移動（ドラッグ）

ドラッグで別の階層へ移動します。

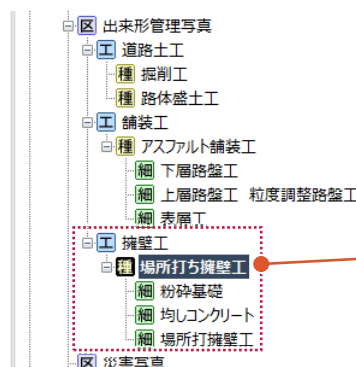
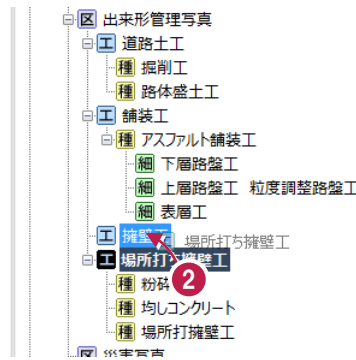
※ドラッグでの移動は、同じ階層内でも可能です。

ここでは、[場所打ち擁壁工]を[擁壁工]の下の階層に移動します。

- 1 分類ツリーで[場所打ち擁壁工]を選択します。



- 2 左ボタンドラッグし、[擁壁工]の上でマウスを放します。

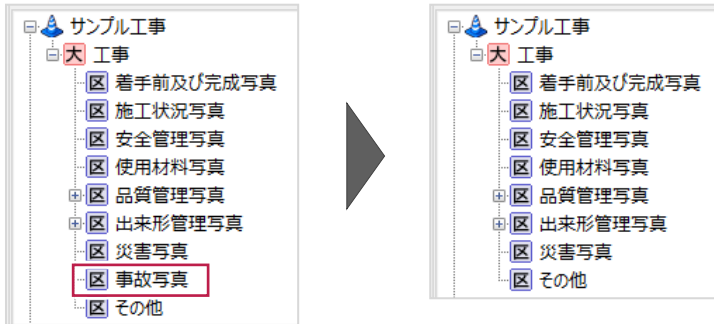


「擁壁工」の下に「場所打ち擁壁工」が移動し、分類は「種別」に変更されます。

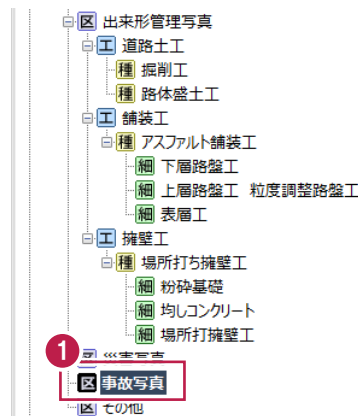
## 3-4 分類を削除する

不要な分類を削除します。

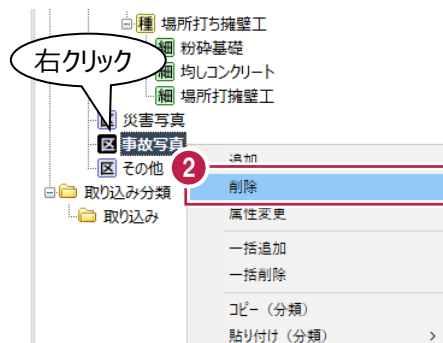
ここでは、区分：「事故写真」を削除します。



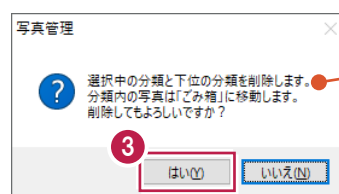
① 分類ツリーで、「事故写真」を選択します。



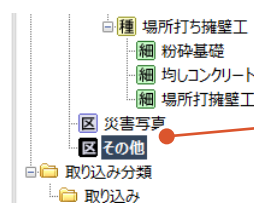
② 右クリックし、「削除」をクリックします。



③ 「はい」をクリックします。



選択した分類の下にある分類も一緒に削除されます。また、分類内にある写真はごみ箱に移動します。

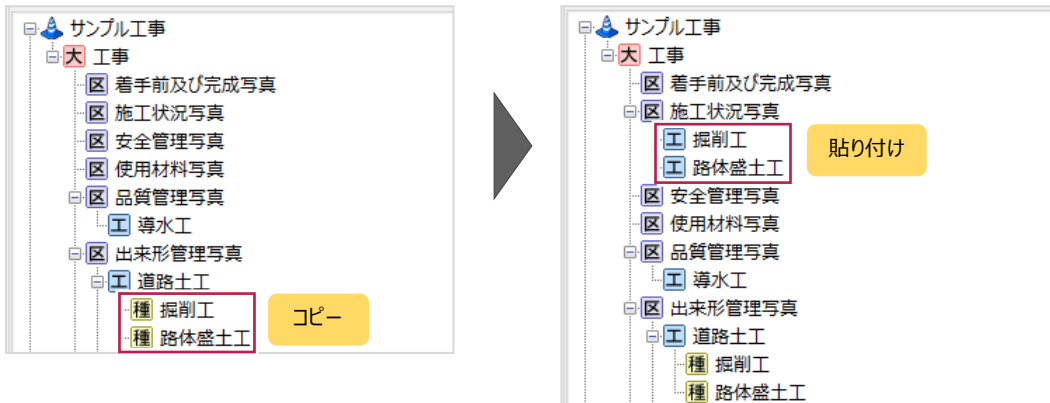


区分：「事故写真」が削除されます。

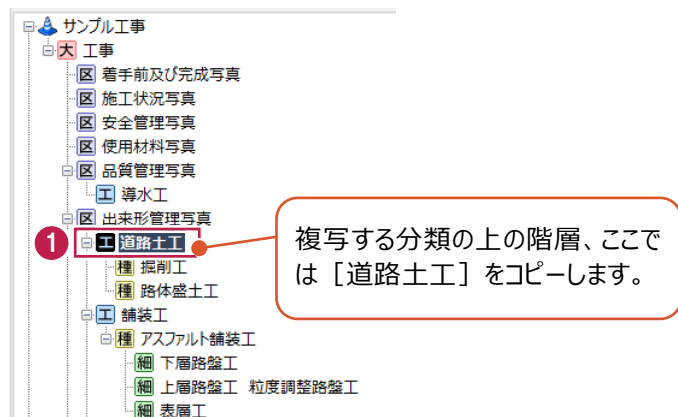
### 3-5 分類を複製する

分類を複製します。

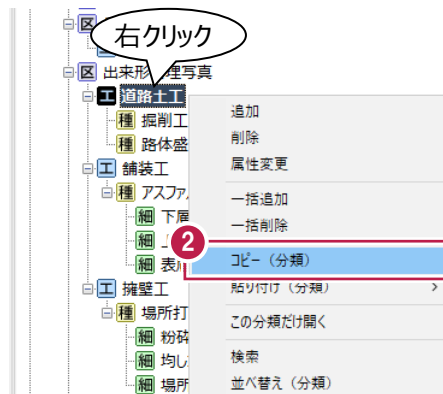
ここでは、種別：[掘削工]と[路体盛土工]を複製し、区分：[施工状況写真]以下に貼り付けます。



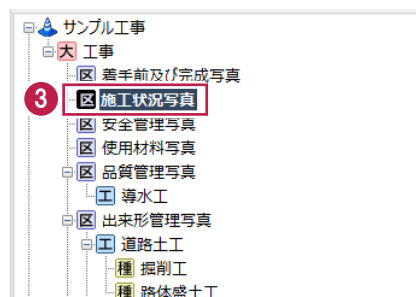
① 分類ツリーで、複製元の分類を選択します。



② 右クリックし、[コピー（分類）]をクリックします。



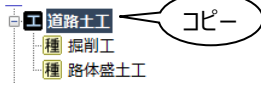
③ 複製先を選択します。



- 4 右クリックし、[貼り付け (分類)] - [コピーした分類より下を貼り付け] をクリックします。

## 2 種類の貼り付け方法について

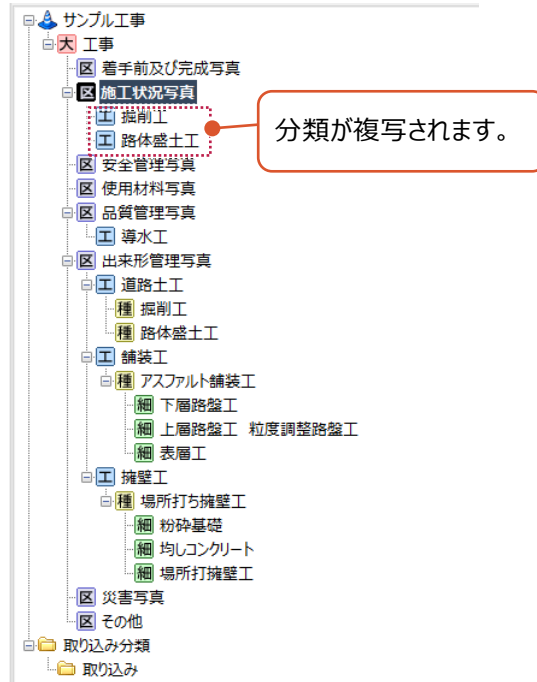
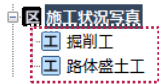
例) 「道路土工」をコピーした場合



【コピーした分類を含めて貼り付け】では以下のように「道路土工」を含めた分類が貼り付きます。



【コピーした分類より下を貼り付け】では以下のように「道路土工」を除いた下層の分類が貼り付きます。



# 4







## 写真の取り込み／仕分け

ここでは、撮影した写真を取り込み、分類ごとに仕分け、写真の並びを変更、不要な写真の削除などの操作を説明します。

### 5-1 写真を取り込む

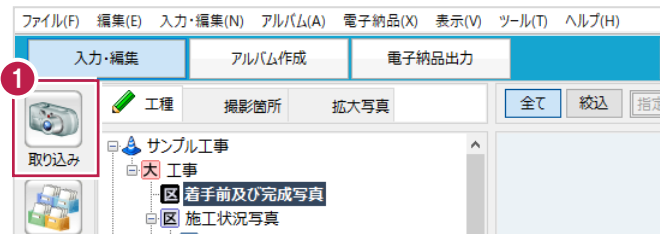
写真を取り込みます。

取り込み方法は、ファイル指定やフォルダー指定など以下の方法があります。

	1つのフォルダーにある写真を確認しながら、ファイルを指定して取り込みます。 CtrlキーやShiftキーを使って複数枚選択することもできます。
	1つのフォルダーにある複数の写真をまとめて取り込みます。 指定したフォルダー内でさらにフォルダーが分かれている場合は、下位フォルダーの写真を含めて取込むこともできます。
	階層に分かれているフォルダーがあり、それぞれに写真データがある場合に使用できます。 フォルダーの名称もそのまま分類名として取り込まれます。
	TWAIN接続した機器から写真を取り込みます。 ※写真のExif情報（撮影日時や位置情報など）は削除されます。
	「国土交通省」「農林水産省」「日本道路公団（JH）」「日本高速道路（NEXCO）」などの電子納品の形式で作成されたデータを取り込みます。 データの写真情報を基に分類が作成され、仕分けした状態が再現されます。
	「どこでも写真管理Plus」で撮影した写真を取り込みます。 ※同一PC内に【黒板作成・連携ツール】がインストールされている必要があります。

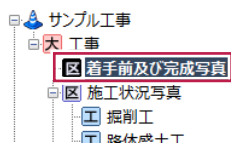
ここでは、【フォルダ】で、フォルダー内の写真をすべて取り込む操作を例に説明します。

- 1 画面左側のコマンドバーより「取り込み」をクリックします。



- 2 「①取り込み元」は「フォルダ」を選択します。
- 3 「②取り込み先」は「新しく「取り込み分類」を作成して取り込む」を選択します。

「選択中の分類へ取り込む」を選択した場合は、ツリーで選択している分類に取り込まれます。



「Exif情報内の「写真の撮影日」毎」を選択した場合は、写真の撮影日が名称になります。

- 4 作成方法は「ユーザー指定の取り込み分類」を選択します。

「担当者」にはパソコンのログインユーザー名が自動入力されますので、必要に応じて編集します。（「担当者」は写真の絞り込みで利用できます。）

- 5 「OK」をクリックします。



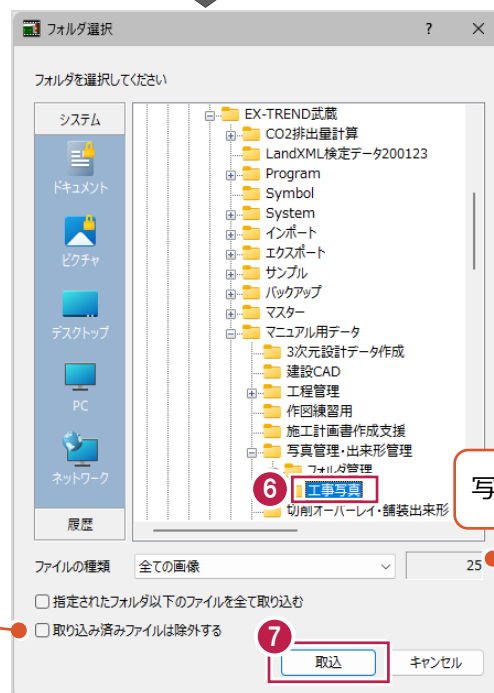
- 6 サンプルデータ「工事写真」フォルダーを選択します。

サンプルデータは以下のフォルダーに格納されています。

C:\¥FcApp¥EX-TREND 武蔵 ¥マニュアル用データ¥写真管理・出来形管理

- 7 「取込」をクリックします。

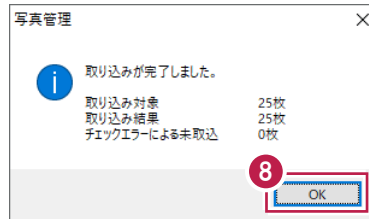
すでに取り込み済みの写真を取り込まない場合は、「取り込み済みファイルは除外する」をオンにします。



写真の枚数を確認します。

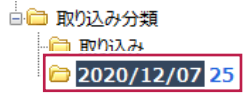


8 [OK] をクリックします。



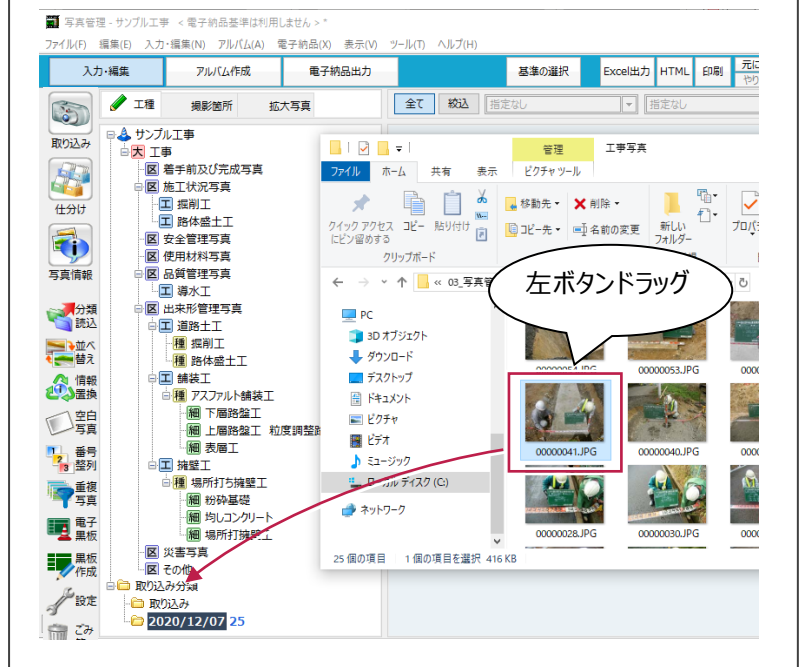
「3」「4」で設定した取り込み先に写真が取り込まれ、分類名の右側には枚数が表示されます。

今回の場合は、「取り込み分類」以下に作成された本日の日付のフォルダーに取り込まれます。



### フォルダーから直接取り込む場合

写真を保存しているフォルダーを開いて、直接取り込むこともできます。エクスプローラーから、写真をドラッグ&ドロップして取込んでください。



## 4-2 写真を仕分けする

分類ごとに写真を仕分けします。

ここでは、「4-1」で取り込んだ写真を、ドラッグ&ドロップで各分類に移動する操作を説明します。

### 1 枚の写真を仕分けする

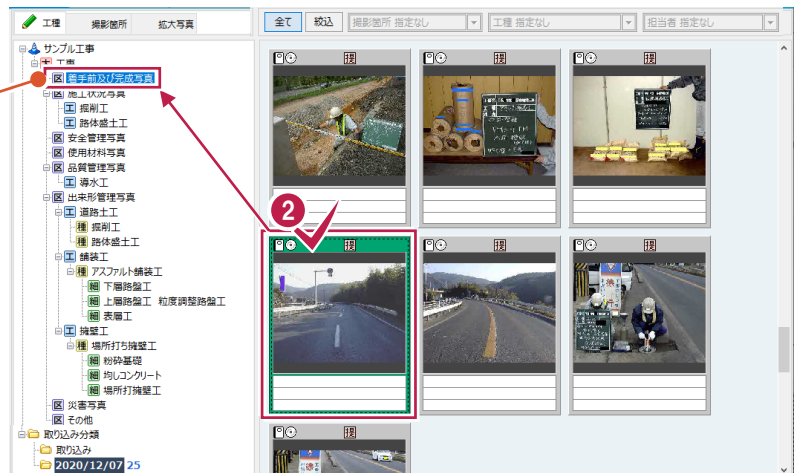
着手前の写真を [着手前及び完成写真] に移動します。

- 1 分類ツリーで、仕分けする写真のある分類を選択します。

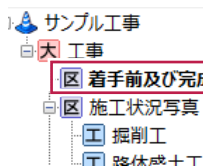


- 2 写真をドラッグ&ドロップし、仕分け先の分類を指定します。

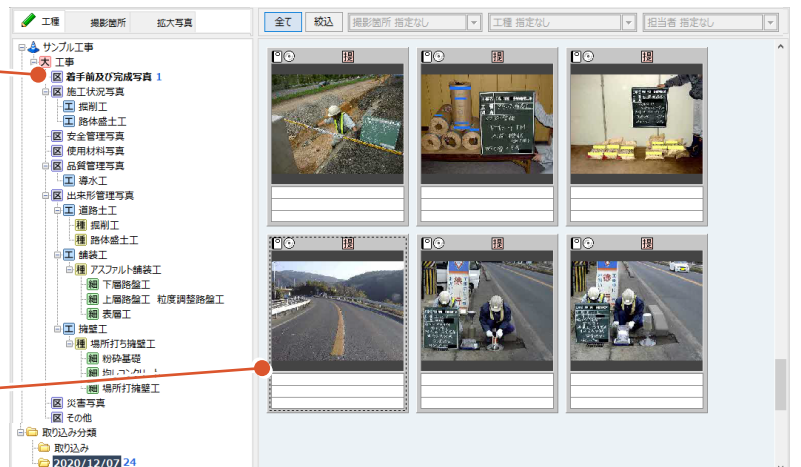
ここでは [着手前及び完成写真] を指定します。



[着手前及び完成写真] の右側に「1」と表示され、写真が移動したことがわかります。



ドラッグ&ドロップした写真が日付のフォルダー内からなくなります。



## ■ 黒板を確認して仕分けする

写真を拡大表示して黒板の情報を確認し、2枚の写真を [品質管理写真] の [導水工] に移動します。

- 1 写真を右クリックし、[拡大表示] をクリックします。

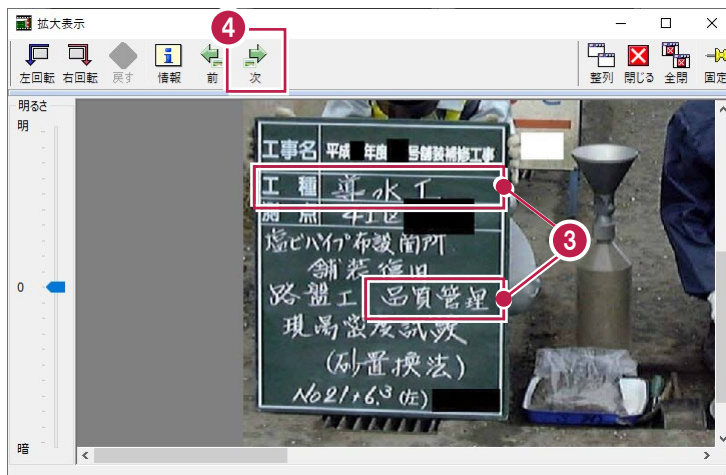


- 2 黒板を拡大します。  
拡大する範囲を左ボタンドラッグします。



- 3 黒板に記載されている情報を確認します。

- 4 [次] をクリックします。

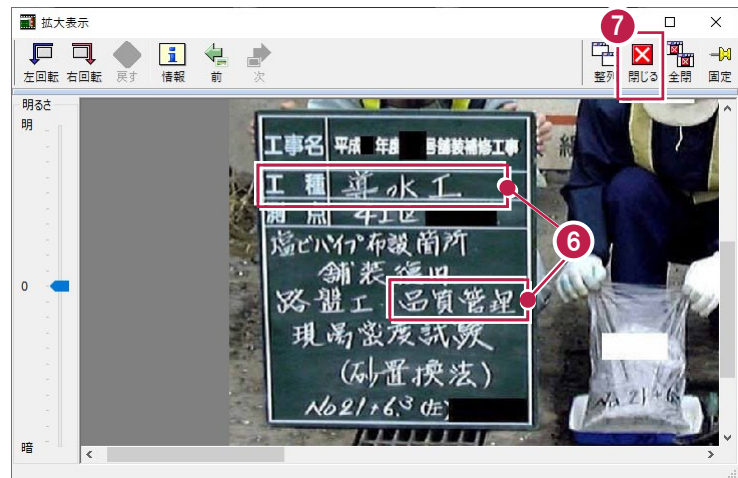


- 5 黒板を拡大します。  
拡大する範囲を左ボタンドラッグします。

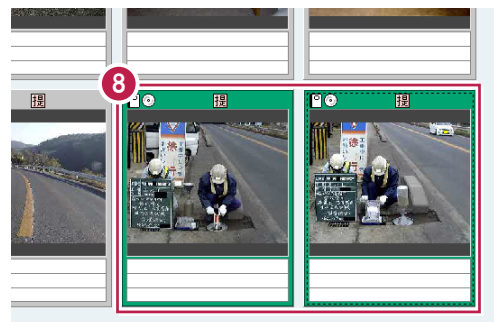


- 6 黒板に記載されている情報を確認します。

- 7 [閉じる] をクリックします。



- 8 Ctrl キーを使用して、写真を複数選択します。  
※左ボタンドラッグで範囲選択して複数選択できます。



- 9 写真をドラッグ&ドロップし、仕分け先の分類を指定します。

ここでは [品質管理写真] の [導水工] を指定します。



## ■ 残りの写真を仕分けする

残りの写真も同様に、以下のように仕分けします。

サンプル工事

- 大 工事
  - 区 着手前及び完成写真 2 ——— ⑧
  - 区 施工状況写真
    - 工 掘削工
    - 工 路体盛土工
    - 区 安全管理写真
    - 区 使用材料写真 2 ——— ⑦
    - 区 品質管理写真
      - 工 導水工 2
    - 区 出来形管理写真
      - 工 道路土工
        - 種 掘削工
        - 種 路体盛土工
      - 工 舗装工
        - 種 アスファルト舗装工
          - 細 下層路盤工 3 ——— ①
          - 細 上層路盤工 粒度調整路盤工 3 ——— ②
          - 細 表層工 2 ——— ③
      - 工 擁壁工
        - 種 場所打ち擁壁工
          - 細 粉砕基礎 3 ——— ④
          - 細 均しコンクリート 3 ——— ⑤
          - 細 場所打擁壁工 5 ——— ⑥
  - 区 災害写真
  - 区 その他

① [下層路盤工]



② [上層路盤工 粒度調整路盤工]



③ [表層工]



④ [粉砕基礎]



⑤ [均しコンクリート]



⑥ [場所打擁壁工]



⑦ [使用材料写真]



⑧ [着手前及び完成写真]



## 4-3 写真を並べ替える

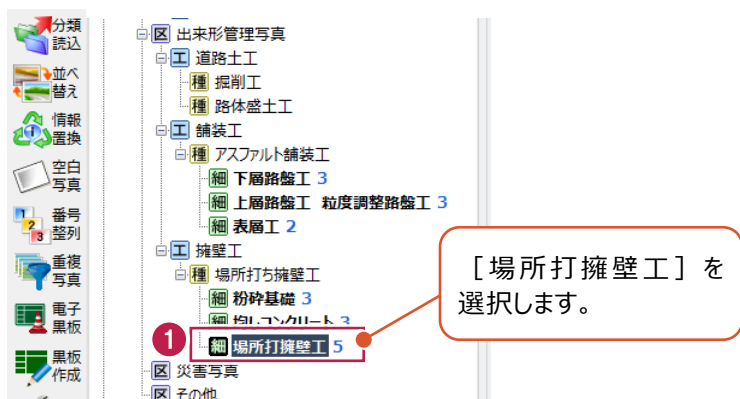
分類内の写真を並べ替えます。

ここでは、[場所打擁壁工]の内の写真を使用して、

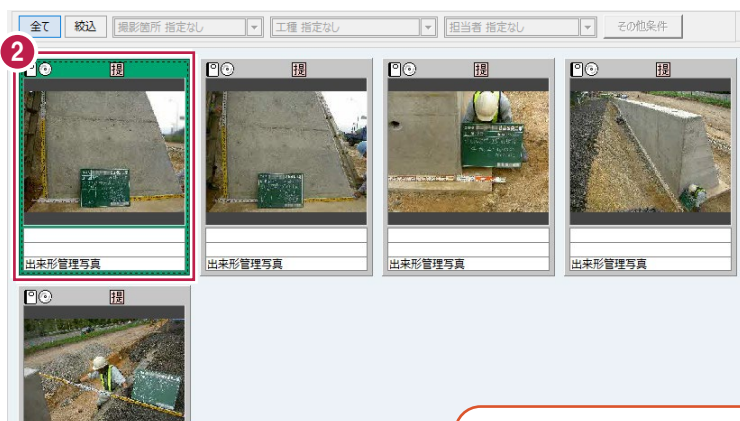
ドラッグで移動する方法（挿入移動・入れ替え）と撮影日時準で並べ替える方法を説明します。

### ■ 挿入移動

① 分類ツリーで、分類を選択します。



② 移動する写真を選択します。



③ 左ボタンドラッグし、挿入する位置でマウスを放します。



## ■ 入れ替え

① 入れ替える写真を選択します。



② 右ボタンドラッグし、入れ替える写真の上でマウスを放します。



マウスに「入替」と表示され、入れ替える写真に赤枠が表示されます。

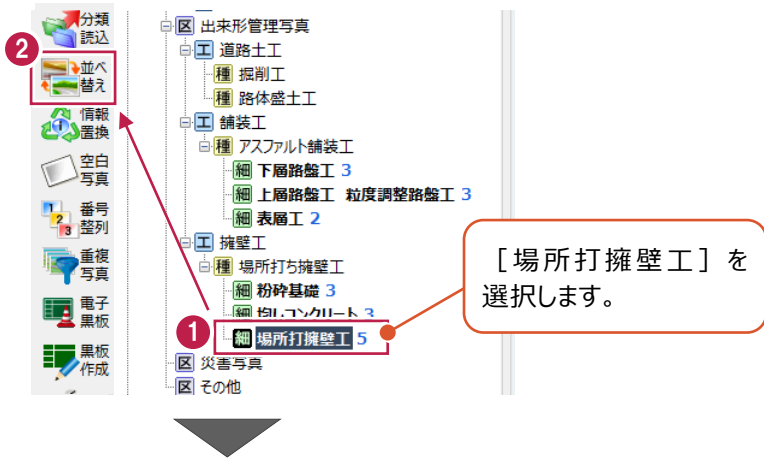


## ■ 撮影日順に並べ替え

写真の撮影年月日を参照して、分類内の写真を並べ替えます。

① 分類ツリーで、並べ替えを行う分類を選択します。

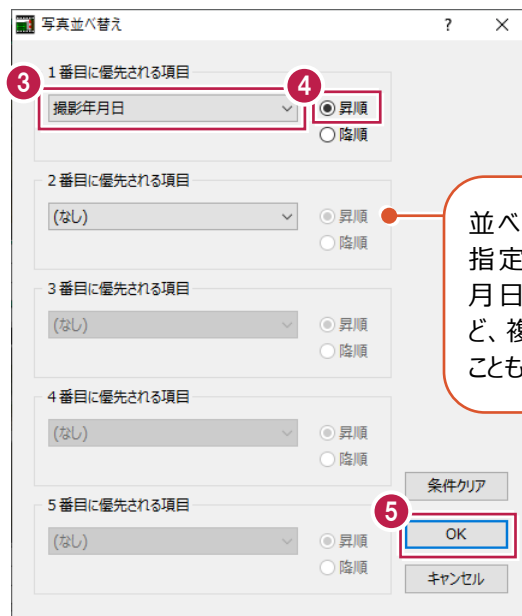
② 画面左側のコマンドバーで、「並べ替え」をクリックします。



③ 「1番目に優先される項目」を「撮影年月日」に設定します。

④ 「昇順」を選択します。

⑤ 「OK」をクリックします。



画面下側の「一覧」をクリックし、写真を一覧表示にすることで撮影年月日を確認することができます。

No.	画像	Exif情報内の撮影日	ファ
1		2019-05-14 09:38	2019-
2		2019-05-14 10:11	2019-
3		2019-05-14 09:38	2019-



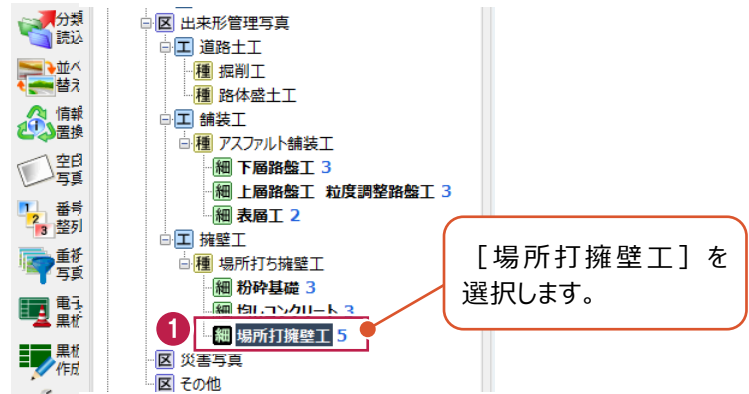


## 4-4 写真を削除する

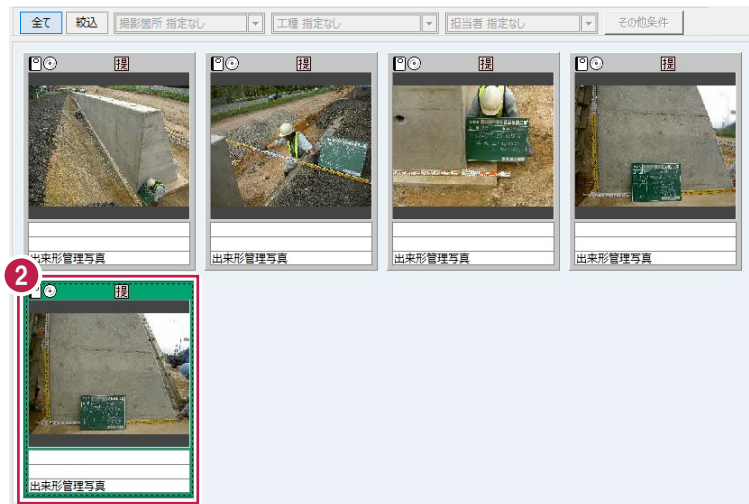
不要な写真を削除します。

ここでは、[場所打擁壁工] 内の写真を1枚削除します。

① 分類ツリーで、分類を選択します。



② 削除する写真を選択します。



③ 右クリックし、[ごみ箱へ] をクリックします。  
(または Delete キーを押して削除)



- 4 写真が削除され、分類ツリーでは、写真枚数が減ったことが確認できます。



### ごみ箱について

削除した写真は、コマンドバーの「ごみ箱」内に移動します。



[削除] ……選択した写真を完全に削除します。

[元に戻す] ……選択した写真が元の分類へ戻ります。

[ごみ箱を空にする] ……ごみ箱内のすべての写真を完全に削除します。

[全て元に戻す] ……ごみ箱内のすべての写真が元の分類へ戻ります。

# 5

## 写真情報の入力

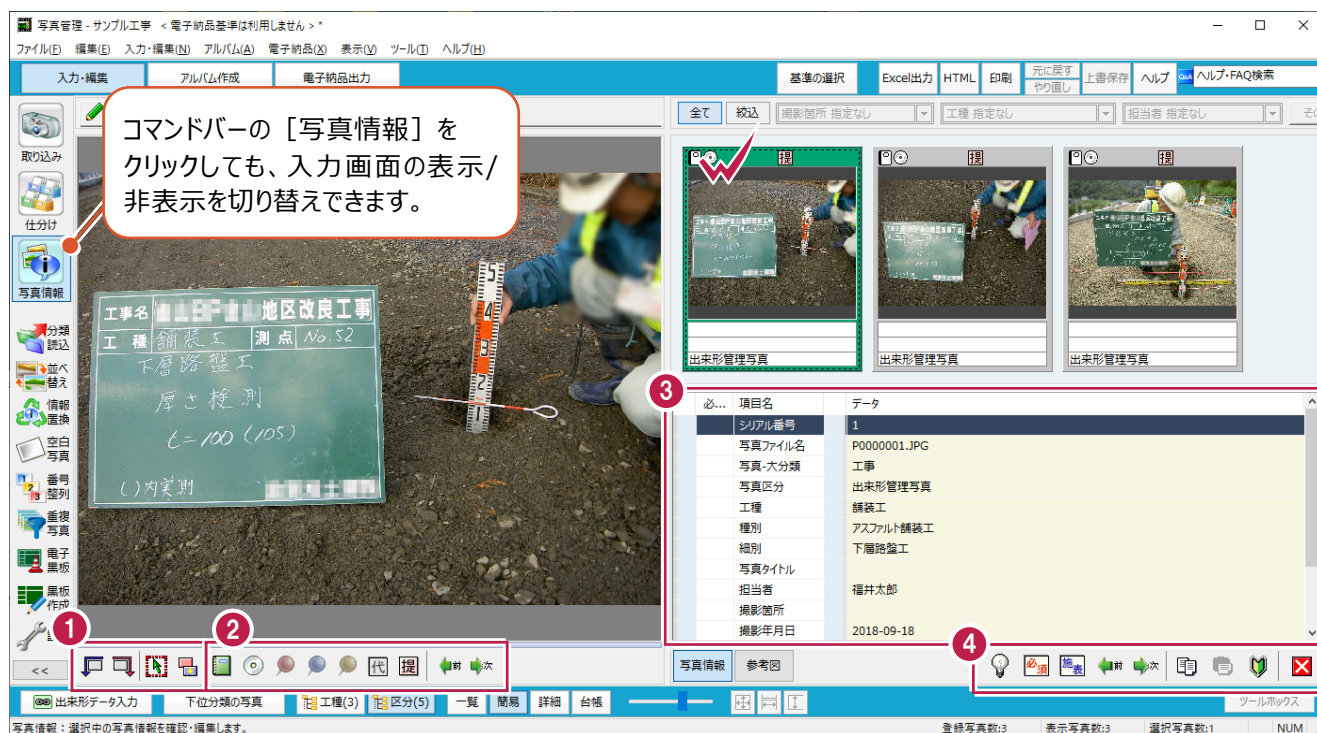
写真の情報入力について説明します。

入力した情報は、アルバム作成時に情報表に反映させられます。

### 5-1 写真情報の入力画面について

写真をダブルクリックすることで、写真情報の入力画面が表示されます。

※再度ダブルクリックすることで、入力画面を閉じることができます。



1



表示中の写真を左（右に）に90°回転します。



表示中の写真の一部をクリップボードにコピーします。  
コピーした部分は参考図として取り込むこともできます。  
写真の黑板部分を参考図に登録する場合などに使用します。



入力した写真情報を保持したまま、写真を別の写真に変更します。

2

写真に対してピンを設定します。

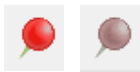
ピンは写真の表示・非表示の切り替えや、アルバム・電子納品の出力有無などで使用します。それぞれ各アイコンをクリックすると状態が切り替わります。



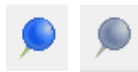
アルバムに出力する／出力済／出力しない



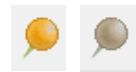
電子納品出力する／出力済／出力しない



ピン1のON/OFF



ピン2のON/OFF



ピン3のON/OFF



代表写真／代表写真ではない



提出写真／提出写真ではない

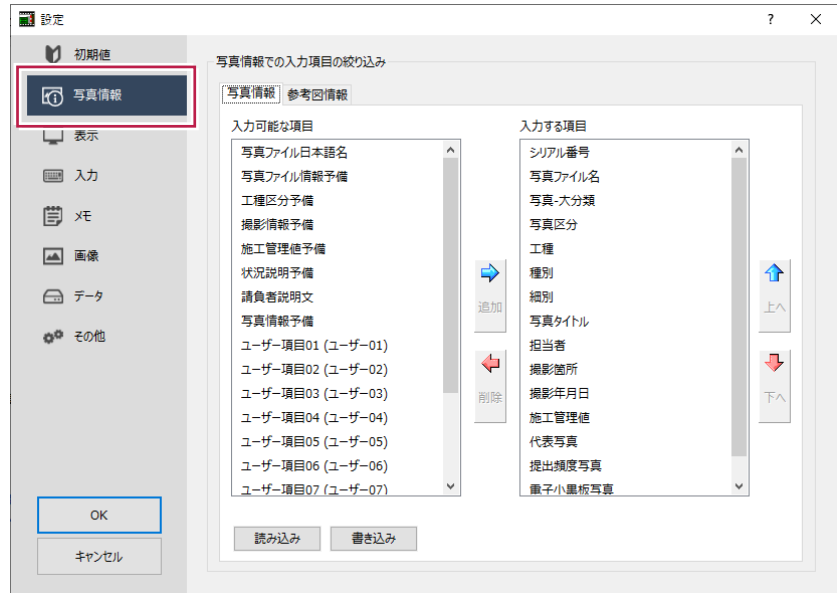
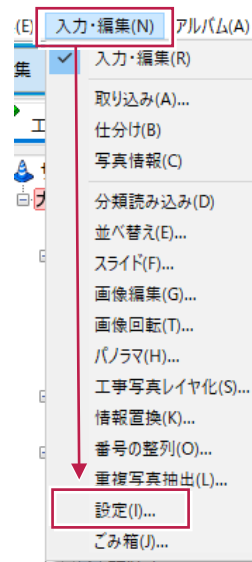


前または次の写真に移動します。

3

情報の入力を行います。

ここに表示する項目は〔入力・編集〕－〔設定〕で変更できます。



4



電子納品要領に定められている記入規定を確認します。

※電子納品を行わない設定になっている場合は、アイコンがグレーで表示されます。



電子納品時の必須項目のみ表示します。



入力した情報を当初に戻します。



施工管理値の入力表の表示／非表示を切り替えます。



写真情報入力画面を閉じます。



前または次の写真に移動します。



写真情報を他の写真にコピー・貼り付けする場合に使用します。

## 5-2 写真情報を入力する

写真情報を入力します。

ここでは、写真タイトルや撮影箇所を手入力する方法と、履歴を利用して入力する方法を説明します。

① 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、[着手前及び完成写真] をクリック  
します。

② 情報を入力する写真をダブルクリックします。

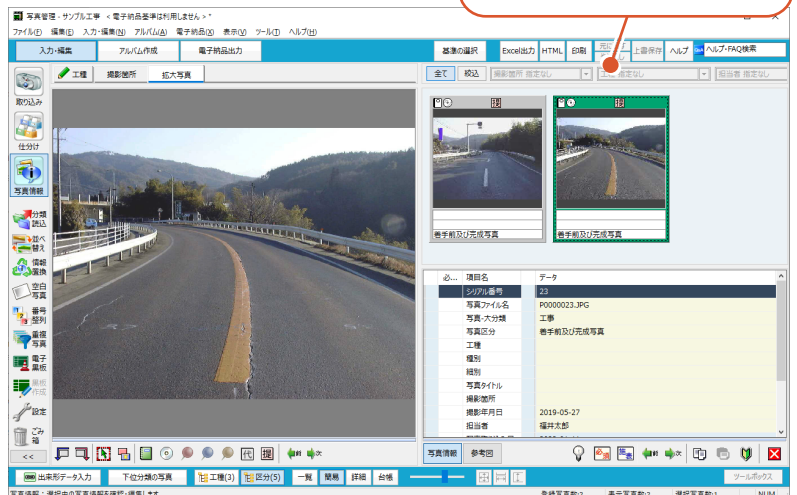


### 表示領域について

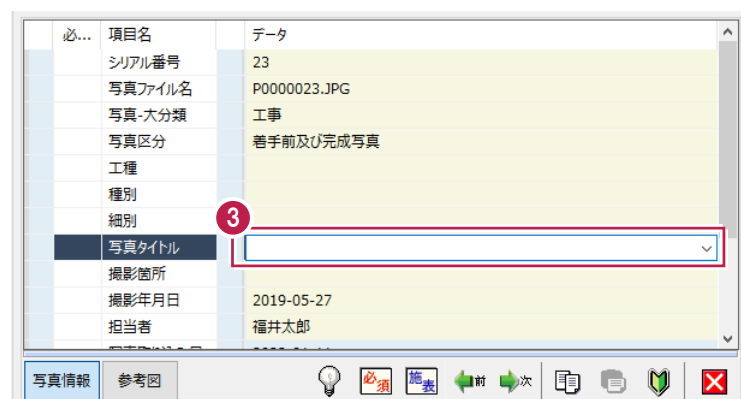
写真ビューや拡大表示、情報入力のそれぞれの領域の広さは調整することができます。境目にマウスを合わせて、両矢印の状態ドラッグしてください。



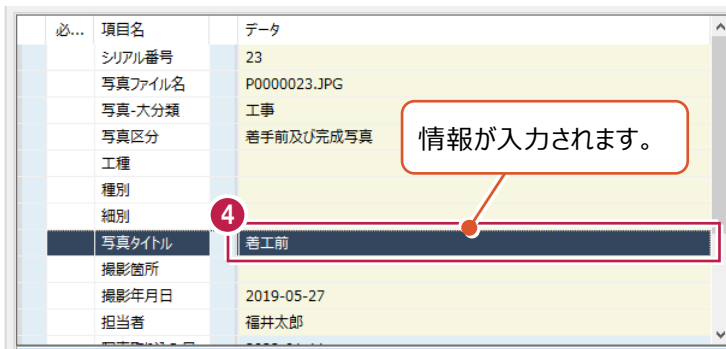
画面左側には拡大写真、  
右下に写真情報の入力  
画面が表示されます。



③ 写真タイトル横のセルをクリックします。



4 「着工前」と入力し、Enter キーを押します。



5 写真を切り替えます。  
[工種] タブをクリックします。



6 分類ツリーで、[導水工] をクリックします。

7 写真をクリックします。

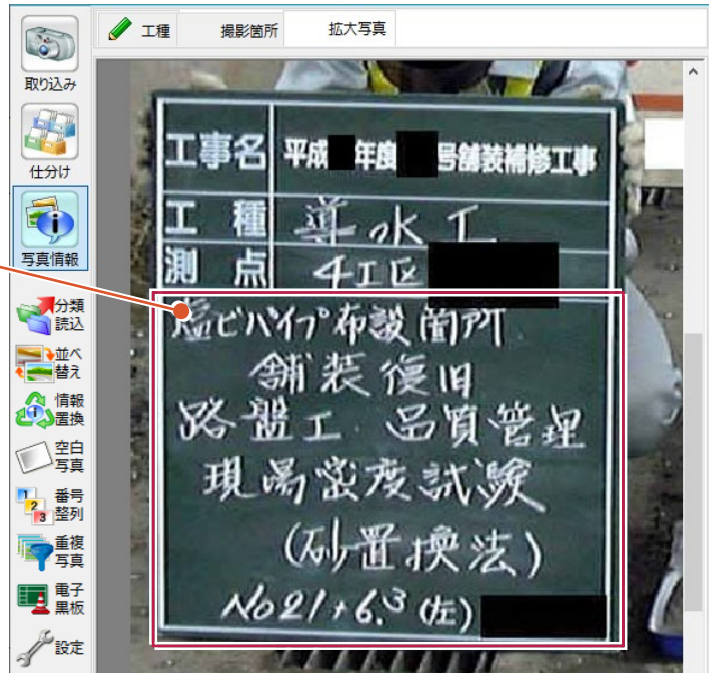


8 [拡大写真] タブをクリックします。

9 黒板を拡大します。  
拡大する範囲を左ボタンドラッグします。

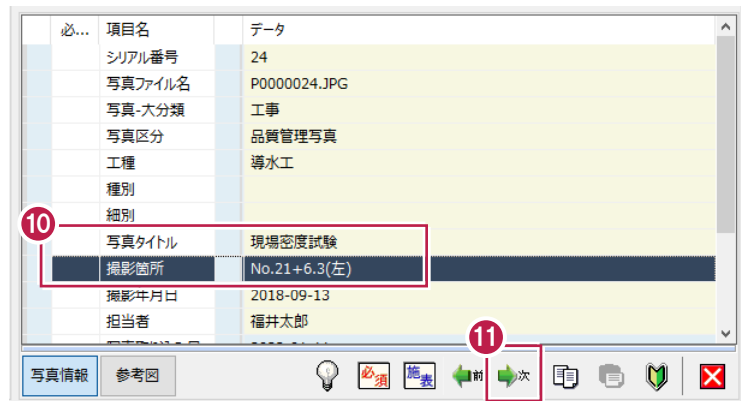


黒板に記載されている  
情報が確認できます。

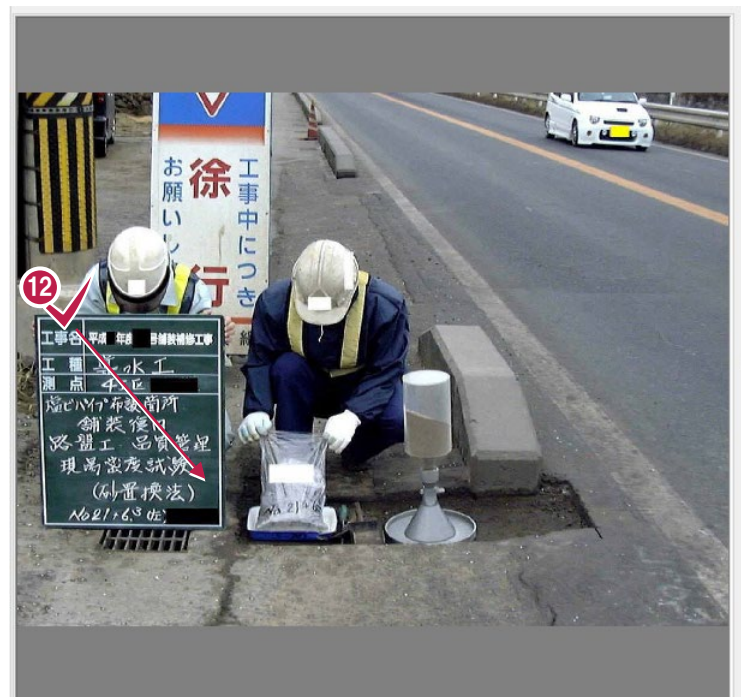


10 [写真タイトル] に「現場密度試験」、  
[撮影箇所] に「No.21+6.3(左)」と入力  
します。

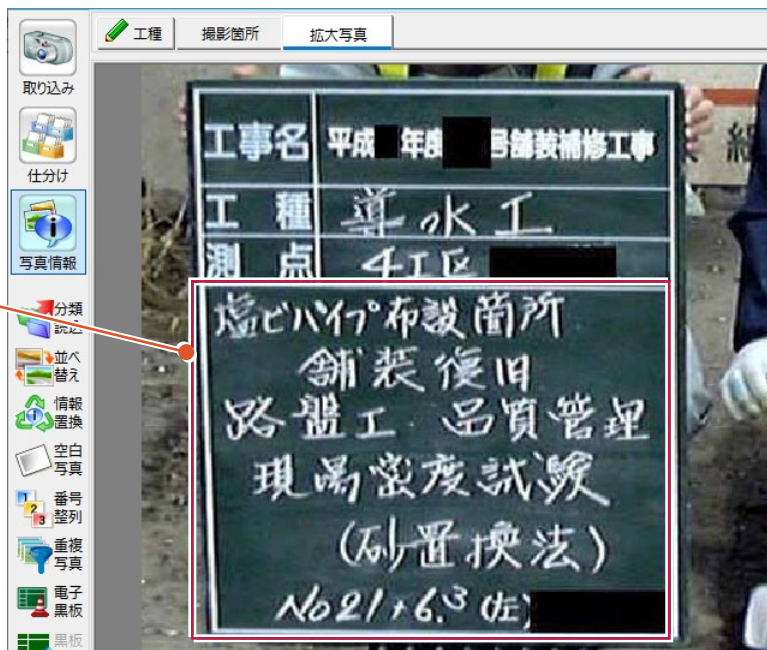
11 続けて、もう 1 枚の写真の情報も入力します。  
[次] をクリックします。



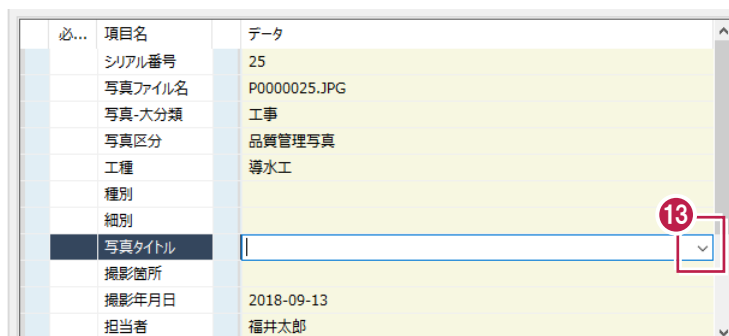
12 黒板を拡大します。  
拡大する範囲を左ボタンドラッグします。



先ほど入力した写真と同じ情報のため、履歴を利用して入れます。



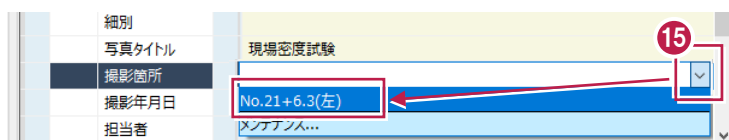
- 13 [写真タイトル] 横のセルをクリックし、右側に表示される三角ボタンをクリックします。



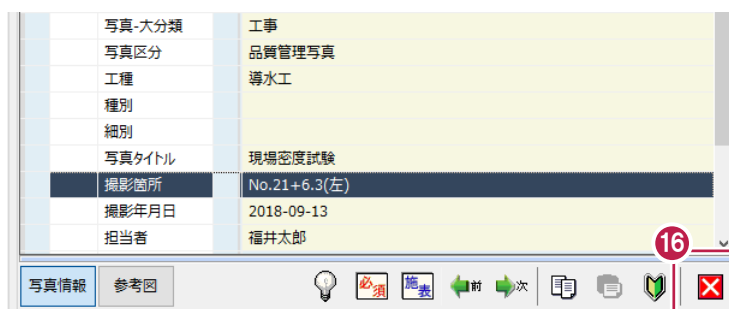
- 14 履歴から選択します。ここでは、「現場密度試験」をクリックします。



- 15 [撮影箇所] も同様に履歴から入力します。三角ボタンをクリックし、「No.21+6.3(左)」を選択します。



- 16 [閉じる] をクリックし、情報入力を終了します。





## 5-3 写真情報を一括入力する

複数枚の写真に対して、写真情報を一括入力します。

ここでは、写真を複数選択して入力する方法、表形式で入力する方法、「写真タイトル=分類名」に設定する方法を説明します。

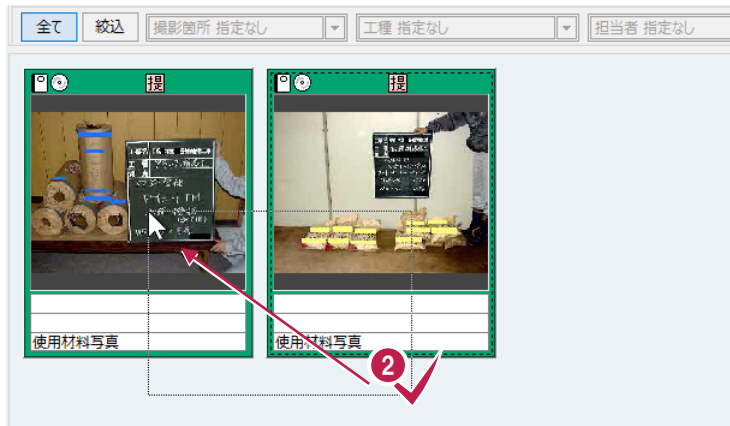
### 写真を複数選択して入力する

〔使用材料写真〕の2枚の写真を複数選択し、一括で写真タイトルを入力します。

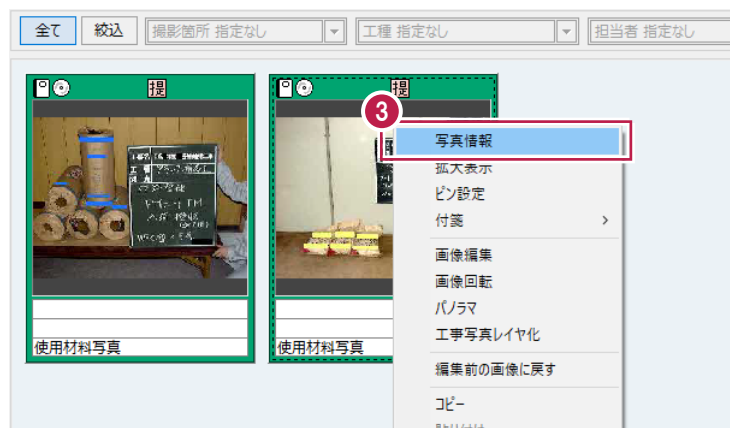
- 1 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、〔使用材料写真〕をクリックします。



- 2 写真タイトルを入力する写真を複数選択します。  
ここでは、左ボタンドラッグで選択します。  
※Ctrl キーでも選択できます。



- 3 右クリックし、〔写真情報〕をクリックします。  
※コマンドバーの〔写真情報〕をクリックして開くこともできます。



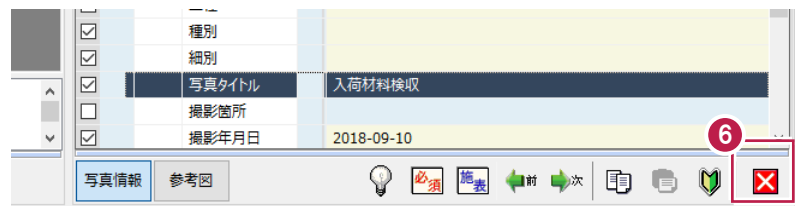
④ [写真タイトル] がオンになっていることを確認します。

⑤ セルに「入荷材料検収」と入力し、Enter キーを押します。

チェックボックスがオンになっている項目は、一括して反映させる情報となります。  
※最初からオンになっている項目は、すでに共通した情報が設定されているものです。



⑥ [閉じる] をクリックし、情報入力を終了します。



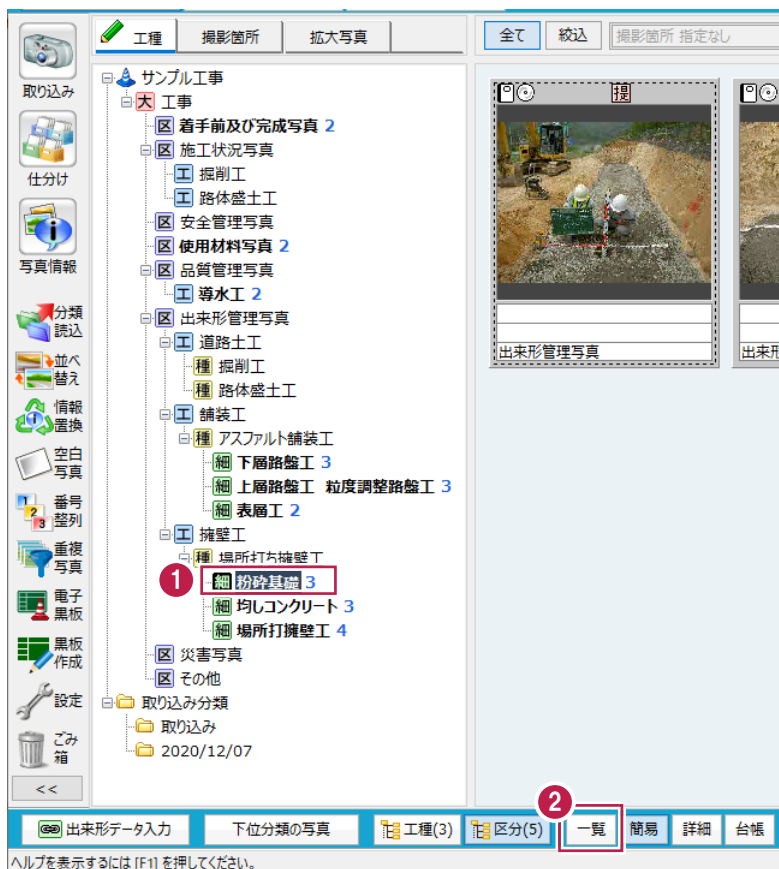
⑦ 写真タイトルが一括入力されたことが確認できます。



## ■ 表形式で一括入力する

写真ビューを表形式での表示に切り替え、[粉碎基礎] の3枚の写真に一括で写真タイトルを入力します。




- 1 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、[粉碎基礎] をクリックします。
- 2 表示形式を切り替えます。  
画面下側の [一覧] をクリックします。



- 3 [写真タイトル] をクリックし、一列選択します。



④ 「厚さ検測」と入力し、Enter キーを押します。

No.	画像	Exif情報内の撮影日	ファイル更新日時	写真 タイトル	シリアル 番号	写真 ファイル名
1		2019-04-15 13:25	2019-04-15 13:25	厚さ検測	9	P0000009.JPG
2		2019-04-15 14:00	2019-04-15 14:00	入荷材料検収 現場密度試験 巻工前 メンテナンス...	10	P0000010.JPG
3		2019-04-15 14:03	2019-04-15 14:03		11	P0000011.JPG

⑤ 画面下側の [簡易] をクリックし、簡易表示に戻します。

No.	画像	Exif情報内の撮影日	ファイル更新日時	写真 タイトル	シリアル 番号	写真 ファイル名
1		2019-04-15 13:25	2019-04-15 13:25	厚さ検測	9	P0000009.JPG
2		2019-04-15 14:00	2019-04-15 14:00	厚さ検測	10	P0000010.JPG
3		2019-04-15 14:03	2019-04-15 14:03	厚さ検測	11	P0000011.JPG

写真タイトルが一括入力  
されます。

⑤

区分(5) 一覧 簡易 詳細 台帳

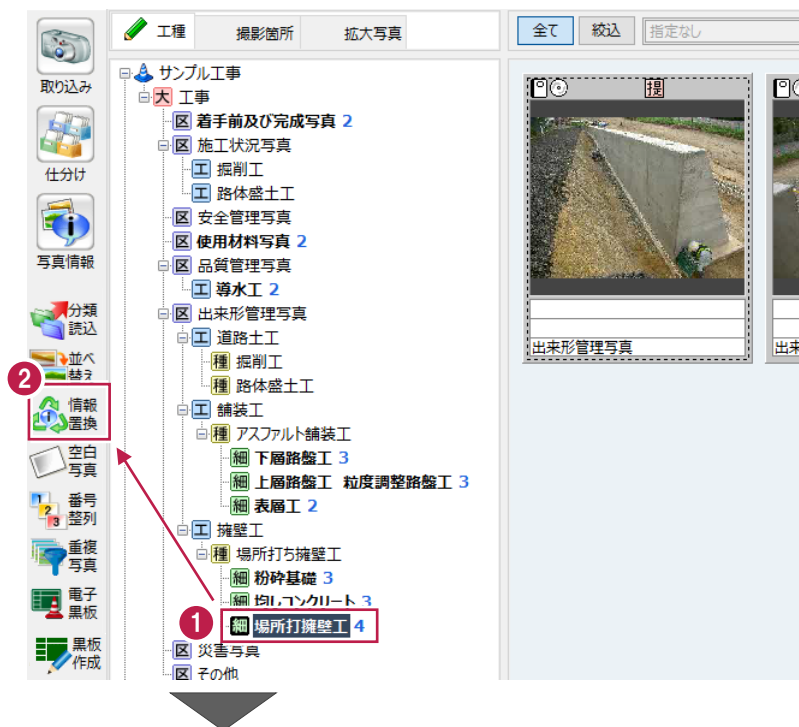
撮	撮	撮
		
厚さ検測 出来形管理写真	厚さ検測 出来形管理写真	厚さ検測 出来形管理写真

## ■ 分類名を写真タイトルに一括設定する

写真タイトルに、写真が属する分類名を一括設定します。

① 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、[場所打擁壁工]をクリックします。

② コマンドバーの[情報置換]をクリックします。

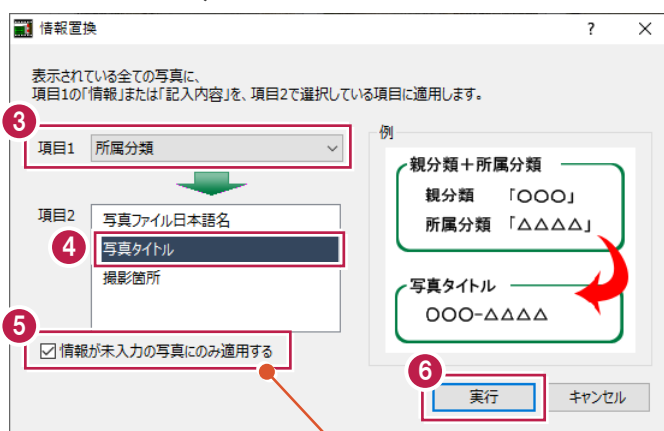


③ [項目 1] を「所属分類」に設定します。

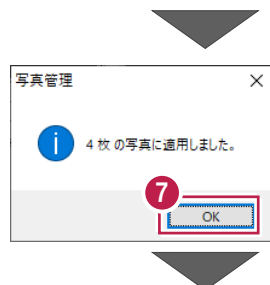
④ [項目 2] を「写真タイトル」に設定します。

⑤ [情報が未入力の写真にのみ適用する] をオンにします。

⑥ [実行] をクリックします。



⑦ [OK] をクリックします。



[情報が未入力の写真にのみ適用する] をオフにすると、すでに入力済みの写真タイトルも上書きされますのでご注意ください。

⑧ 「写真タイトル」に分類名（細別）が入力されたことが確認できます。



## 5-4 施工管理値を入力する

施工管理値（出来形管理項目や設計値、実測値など）を入力します。

入力した内容は、アルバム作成時に表形式にすることができます。

ここでは、[粉砕基礎] の3枚の写真に施工管理値を入力する操作を説明します。

施工管理値(表)				
	項目名(記号)	設計値	実測値	差
1	幅(w)	1320	1750	430
2	厚さ(t)	100	115	15



### アルバム作成イメージ

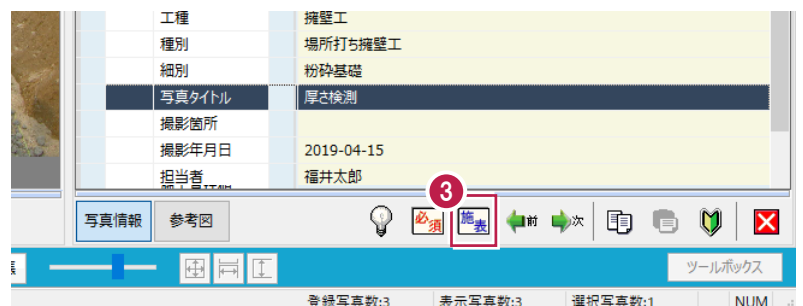
測定項目	設計値	実測値
幅(w)	1320	1750
厚さ(t)	100	115

① 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、[粉砕基礎] をクリックします。

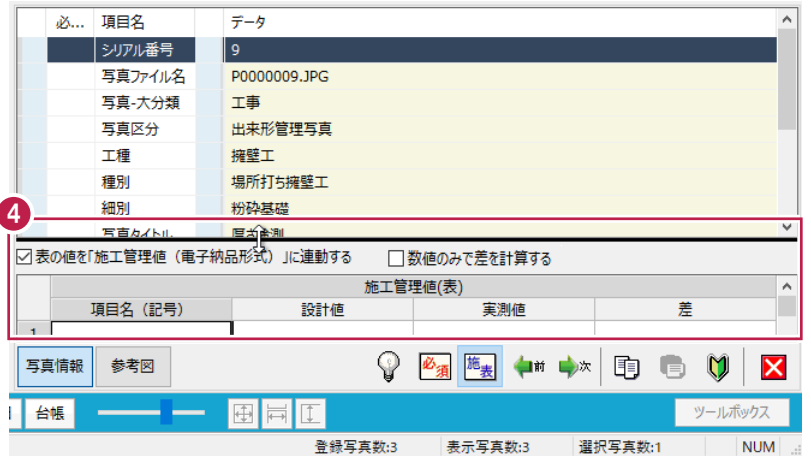
② 施工管理値を入力する写真をダブルクリックします。



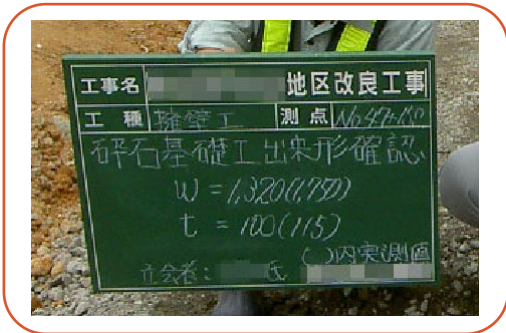
③ 画面右下の[施表] をクリックします。



- 4 写真情報の下に、施工管理値表が表示されます。領域が狭い場合は、境目を左ボタンドラッグして調整します。



- 5 左側の拡大写真で、黒板を拡大します。

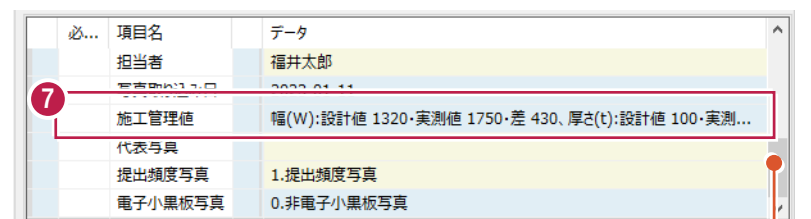


- 6 「項目名」、「設計値」、「実測値」を以下のように入力します。  
1 行目：「幅(w)」、「1320」、「1750」  
2 行目：「厚さ(t)」、「100」、「115」

「差」は設計値と実測値より自動計算されます。

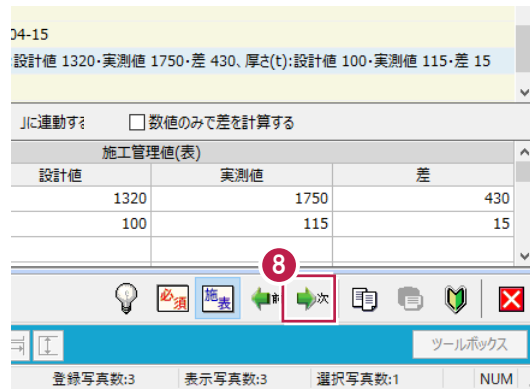
項目名 (記号)	設計値	実測値	差
1 幅(w)	1320	1750	430
2 厚さ(t)	100	115	15
3			

- 7 写真情報で、「施工管理値」に入力した情報が反映されていることを確認します。



スクロールバーで下に動かして確認してください。

8 画面右下の「次」をクリックします。

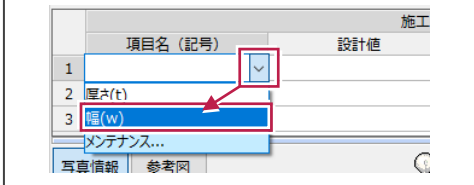


9 左側の拡大写真で黒板を拡大します。



10 「項目名」、「設計値」、「実測値」を以下のように入力します。  
 1 行目：「幅(w)」、「2085」、「2400」  
 2 行目：「厚さ(t)」、「100」、「105」

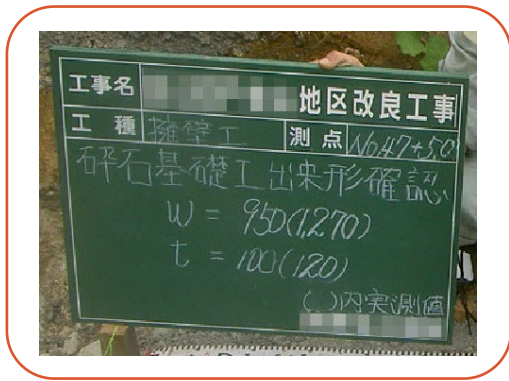
項目名や設計値などが同じ場合は、履歴から選択するとスムーズです。



11 画面右下の「次」をクリックします。



12 左側の拡大写真で、黒板を拡大します。



13 「項目名」、「設計値」、「実測値」を以下のように入力します。  
 1 行目：「幅(w)」、「950」、「1270」  
 2 行目：「厚さ(t)」、「100」、「120」

14 入力後、右下の「閉じる」をクリックして、写真情報入力画面を閉じます。



## 5-5 施工管理値を入力する（出来形管理プログラム連動）

施工管理値（出来形管理項目や設計値、実測値など）を入力します。

〔出来形データ入力〕で入力を行います。

入力した内容は、アルバム出力のほか、出来形管理プログラムにも連動します。

ここでは、〔均しコンクリート〕の3枚の写真に施工管理値を入力する操作を説明します。

### 測定項目の設定

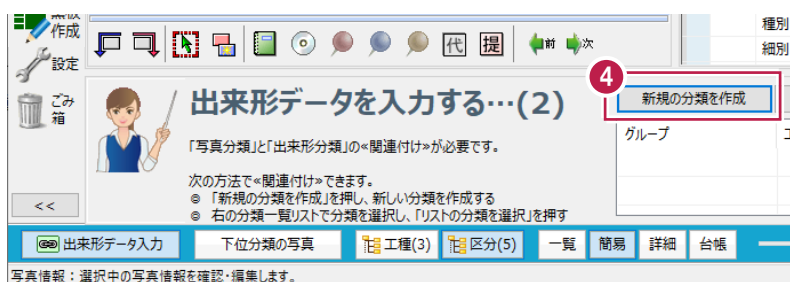
- 1 分類ツリーで、分類を選択します。  
〔均しコンクリート〕をクリックします。
- 2 施工管理値を入力する写真をダブルクリックします。



- 3 画面左下の〔出来形データ入力〕をクリックします。



- 4 画面下側に「出来形データを入力する」画面が表示されます。  
〔新規の分類を作成〕をクリックします。



5 [追加] をクリックします。



6 「マスタ」から測定項目を選択します。ここでは、「幅」を選択します。

「測定項目名」と「測定記号」が入力されます。マスタに該当する測定項目が無い場合は、直接入力してください。※ [登録] でマスタに登録することもできます。



7 [OK] をクリックします。

必要に応じて、設計値・実測値・差の「単位」「小数桁」などを変更してください。

測定項目が追加されます。測定項目が複数ある場合は、再度 [追加] をクリックして追加してください。



- 8 規格値を設定します。  
 [規格値] : [タイプ] の「なし」をクリックします。

規格値・基準値・社内規格値

※「設計値以上」等の式にする場合はタイプ列をクリックして式設定してください。

選択	設計値の範囲		規格値				基準値				社内規格		
	下限	上限	タイプ	下限	上限	式/仮想値	タイプ	下限	上限	式設定	タイプ	下限	上限
1		w	なし			仮想値...	なし				なし		
2													
3													
4													

- 9 [式選択] で「設計値以上」を選択します。

- 10 [OK] をクリックします。

式設定 [No.1]

式選択 9 設計値以上

出力レビュー

上下限値式 設計値以上 初期化

上限値式 初期化

下限値式 設計値以上 初期化

計算値の丸め 切り捨て

設計単位: mm

10 OK キャンセル

- 11 [OK] をクリックします。

式にする場合はタイプ列をクリックして式設定してください。

計値の範囲	規格値		基準値				社内規格値		
	上限	タイプ	下限	上限	式/仮想値	タイプ	下限	上限	式設定
w		式			式設定...	なし			

11 OK キャンセル

- 12 [測点名] に「No.47+5.0」と入力します。

- 13 [OK] をクリックします。

測点追加

測点名 No.47+5.0

13 OK キャンセル

測点名を後で入力する場合は  
 [キャンセル] をクリックし、  
 [測点編集] - [追加] から  
 行ってください。

画面下側が、設計値・実測値の  
 入力画面に切り替わります。

測点名	選択	測定項目	記号	設計値	実測値
No.47+5.0	1	幅	w		1

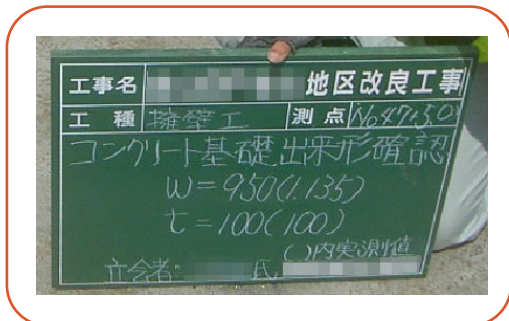
工程 場所打ち擁壁 種別 均しコンクリート 条件設定 測点編集 関連付けの変更 設定 豆図を

出来形データ入力 下位分類の写真 工程(3) 区分(5) 一覧 簡易 詳細 台帳

## ■ 設計値、実測値の入力①

「幅」の設計値、実測値を入力します。

- 1 拡大写真で、黒板を拡大します。



- 2 出来形データ入力画面で、幅の設計値・実測値を以下のように入力します。

【設計値】：「950」  
【実測値】：「1135」

選択	測定項目		設計値	実測値	単位
	項目名	記号			
1	幅	w	950	1135	mm

「差」は自動計算されます。

差	単位	規格値	
		下限	上限
1	mm	0	

## ■ 測定項目の追加

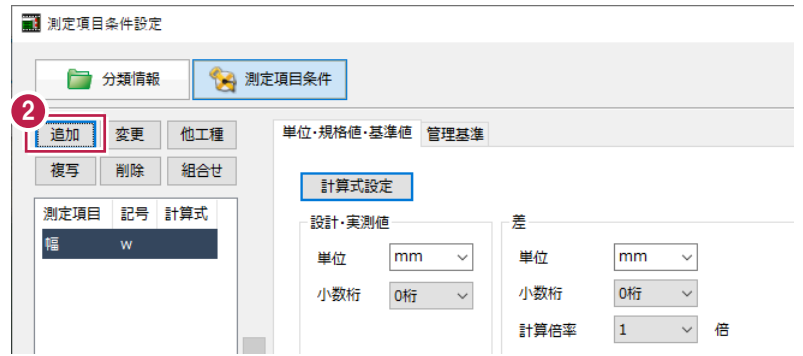
測定項目として「厚さ」を追加します。

- 1 【条件設定】をクリックします。

測点名	選択	測定項目		設計値
		項目名	記号	
No.47+5.C	1	幅	w	

工程 | 場所打ち擁壁 | 種別 | 均しコンクリート | **条件設定** | 測点編集 | 関連付けの変更

② [追加] をクリックします。

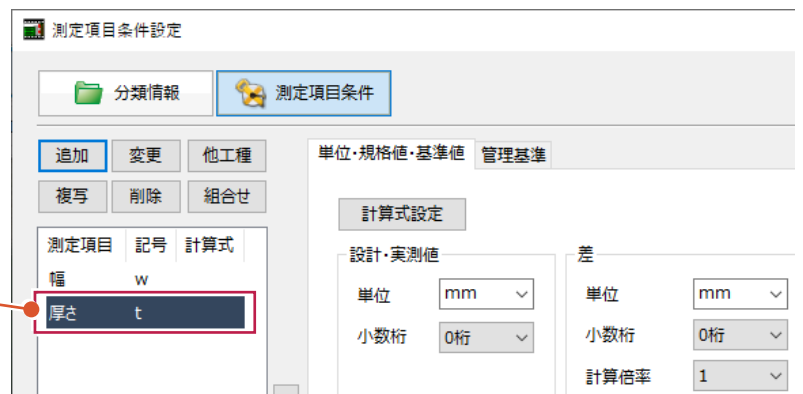


③ 「マスタ」より、「厚さ」をクリックします。

④ [OK] をクリックします。

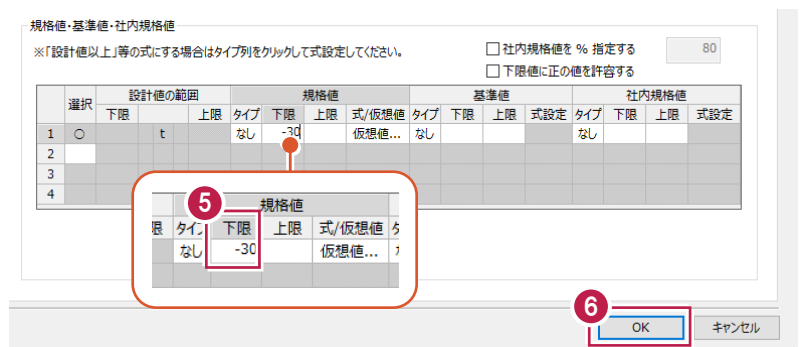


「厚さ」が追加されたことが確認できます。



⑤ 「規格値」の下限値に「-30」と入力します。

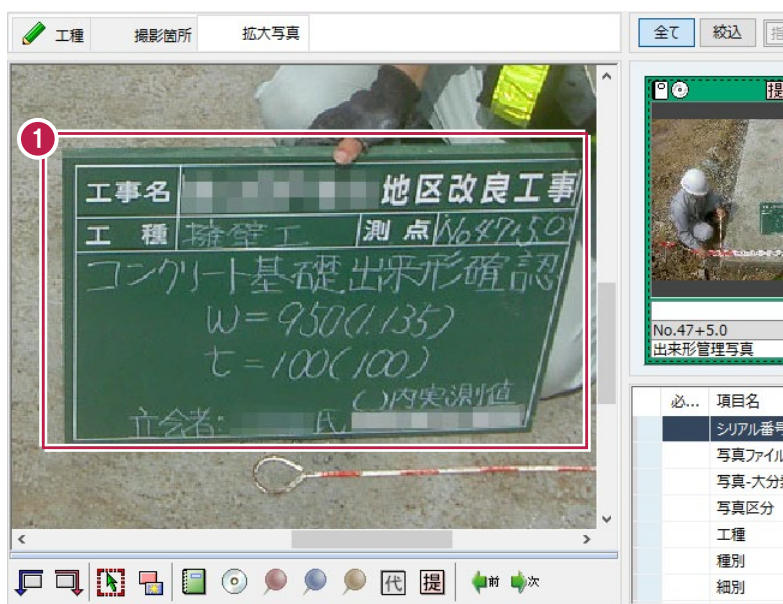
⑥ [OK] をクリックします。



## ■ 設計値、実測値の入力②

「厚さ」の設計値、実測値を入力します。

- 1 拡大写真で、黒板を確認します。



- 2 出来形データ入力画面で、厚さの設計値・実測値を以下のように入力します。  
 [設計値] : 「100」  
 [実測値] : 「100」

選択	測定項目		設計値	実測値		単位
	項目名	記号		1		
1	幅	w	950	1135	mm	
2	厚さ	t	100	100	mm	

差	単位	規格値	
		下限	上限
185	mm	0	
0	mm	-30	

「差」は自動計算されます。

- 3 写真情報に取り込む測定項目の「選択」セルに○を付けます。  
 ここでは、「幅」、「厚さ」の「選択」セルをダブルクリックします。

測点名	選択	測定項目		設計値	実測値	
		項目名	記号		1	
No.47+5.0	○	幅	w	950	1135	mm
	○	厚さ	t	100	100	mm

工程 場所打ち擁壁工 種別 均しコンクリート 条件設定 測点編集 関連付けの変更 設定 参 豆図を参考図へ

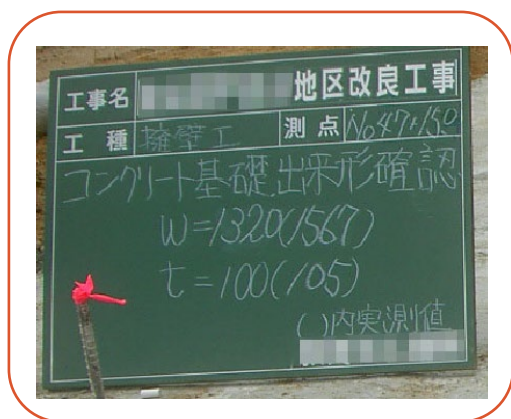
## ■ 設計値、実測値の入力③

残りの2枚の写真についても、設計値・実測値を入力します。

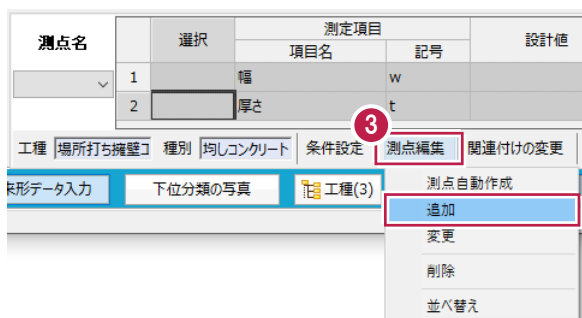
- 1 設計値・実測値を入力する写真を選択します。



- 2 拡大写真で、黒板を拡大します。



- 3 測点を追加します。  
[測点編集] - [追加] をクリックします。





4 [測点名] に「No.47+15.0」と入力します。

5 [OK] をクリックします。

「設計値」には前回入力した値が自動セットされますので、必要に応じて打ち換えます。

6 出来形データ入力画面で、幅、厚さの設計値・実測値を以下のように入力します。  
「幅」

[設計値] : 「1320」

[実測値] : 「1567」

「厚さ」

[設計値] : 「100」

[実測値] : 「105」

測点名	選択	測定項目		設計値	実測値
		項目名	記号		
No.47+15.0	1	幅	w	1320	1567
	2	厚さ	t	100	105

単位	差	単位	規格値	
			下限	上限
mm	247	mm	0	
mm	5	mm	-30	

7 写真情報に取り込む測定項目の「選択」セルに○を付けます。

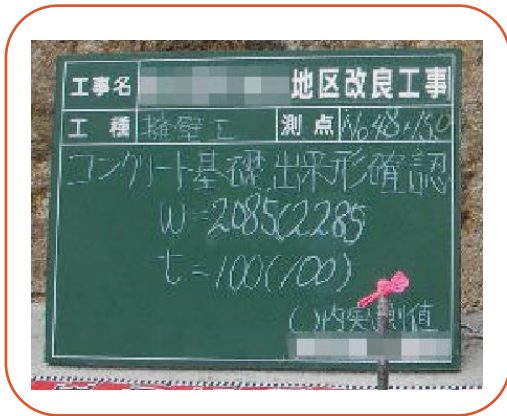
ここでは、「幅」、「厚さ」の「選択」セルをダブルクリックします。

測点名	選択	測定項目		設計値	実測値
		項目名	記号		
No.47+15.0	1	幅	w	1320	1567 m
	2	厚さ	t	100	105 m

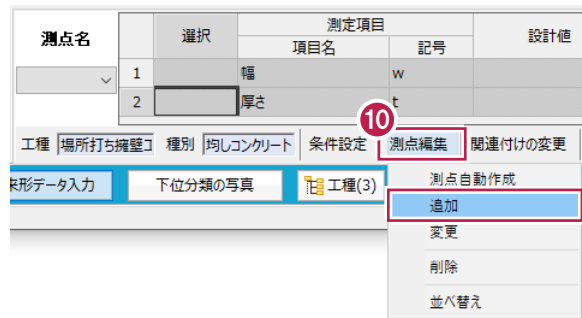
8 次の写真を選択します。

必...	項目名	データ
	シリアル番号	13
	写真ファイル名	P0000013.JPG
	写真-大分類	工事
	写真区分	出来形管理写真
	工種	擁壁工
	種別	場所打ち擁壁工
	細別	均しコンクリート

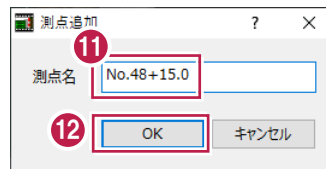
9 拡大写真で、黒板を拡大します。



10 測点を追加します。  
[測点編集] - [追加] をクリックします。



11 [測点名] に「No.48+15.0」と入力します。



12 [OK] をクリックします。

13 出来形データ入力画面で、幅、厚さの設計値・実測値を以下のように入力します。  
「幅」  
[設計値] : 「2085」  
[実測値] : 「2285」  
「厚さ」  
[設計値] : 「100」  
[実測値] : 「100」

測点名	選択	測定項目		設計値	実測値
		項目名	記号		
No.48+15.0	1	幅	w	2085	2285
	2	厚さ	t	100	100

単位	差		単位	規格値	
	1			下限	上限
85 mm		200 mm		0	
100 mm		0 mm		-30	

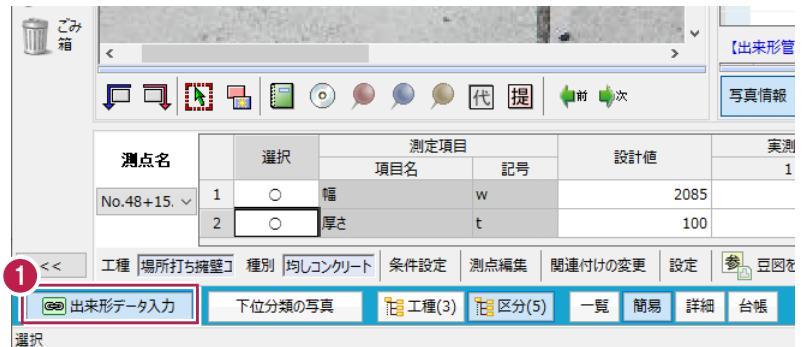
14 写真情報に取り込む測定項目の「選択」セルに○を付けます。  
ここでは、「幅」、「厚さ」の「選択」セルをダブルクリックします。

測点名	選択	測定項目		設計値	実測値
		項目名	記号		
No.48+15.0	1	幅	w	2085	2285
	2	厚さ	t	100	100

## ■ 入力データの確認

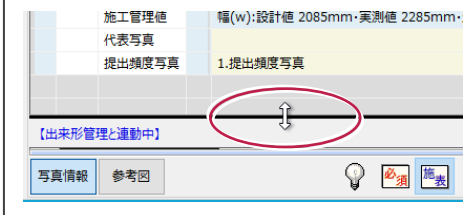
[出来形データ入力] を終了し、施工管理値表でデータを確認します。

- 1 [出来形データ入力] をクリックし、設計値・実測値の入力を終了します。



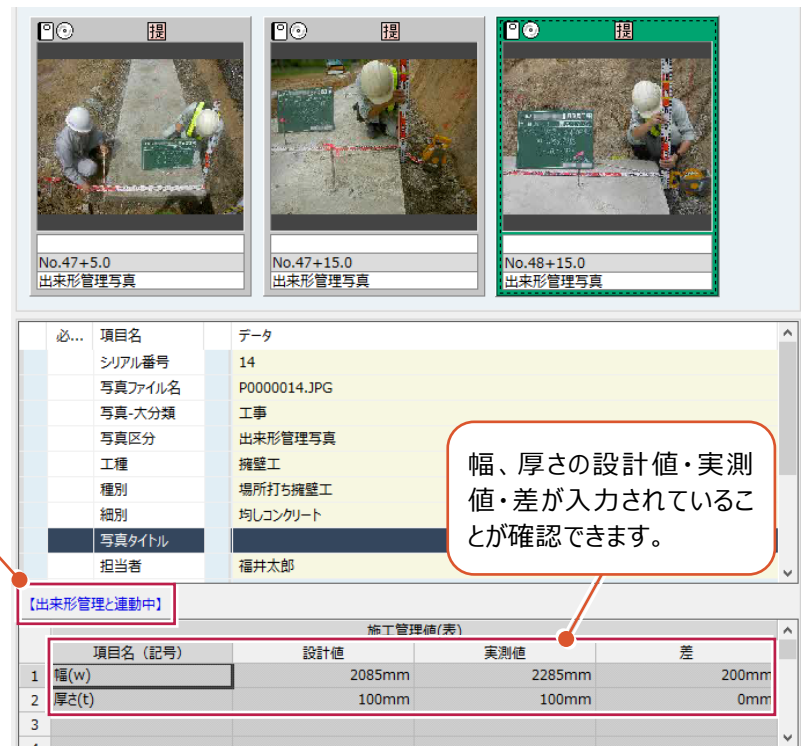
- 2 [施表] をオン（青色の状態）にします。

【施表】をオンにしても施工管理値表が表示されない場合は、領域の境目にマウスを合わせ、ドラッグしてください。



【出来形管理と連動中】と表示され、修正や追加は [出来形データ入力] で行うことになります。

※施工管理値表に直接入力する状態に戻す場合は、[出来形データ入力] で [設定] をクリックし、[出来形管理データを施工管理値とする] をオフにします。



- 3 [施表] をオフにします。

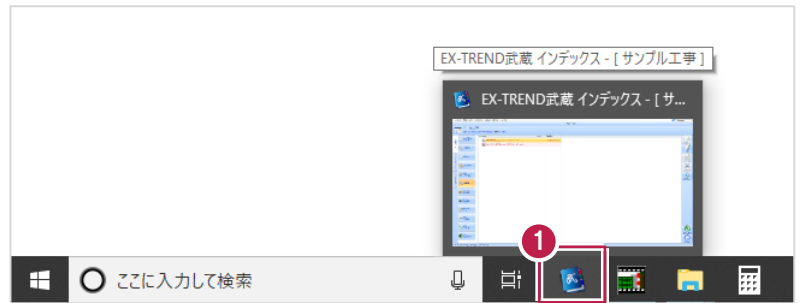
- 4 [閉じる] をクリックし、写真情報入力画面を閉じます。



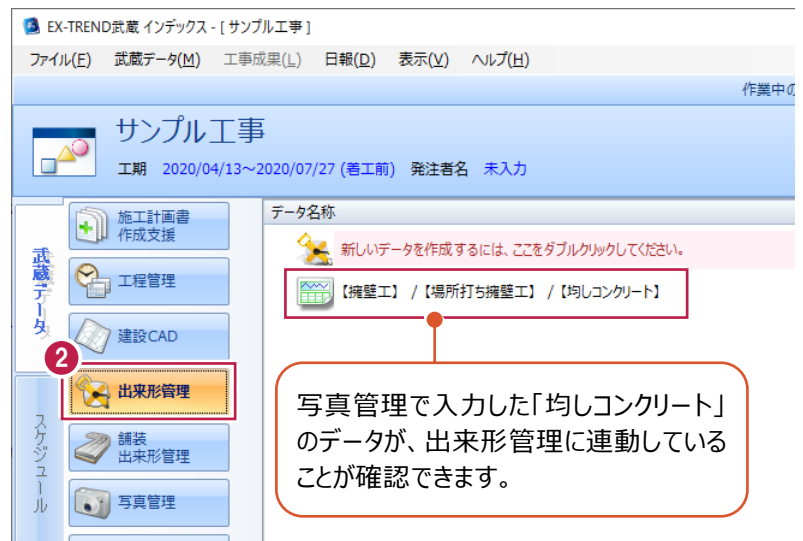
## ■ 連動データの確認

[EX-TREND武蔵 インデックス] を開き、出来形管理プログラムに連動したデータを確認します。

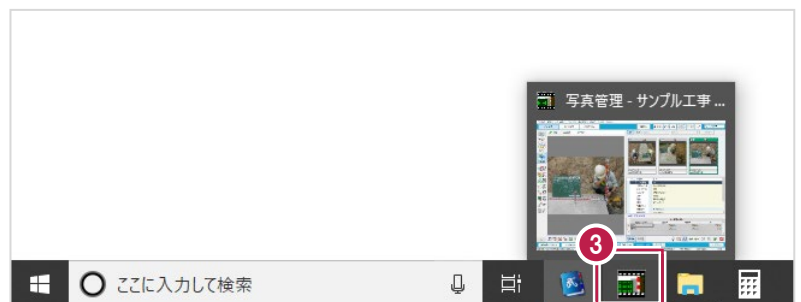
- 1 タスクバーで [EX-TREND 武蔵 インデックス] のアイコンをクリックします。



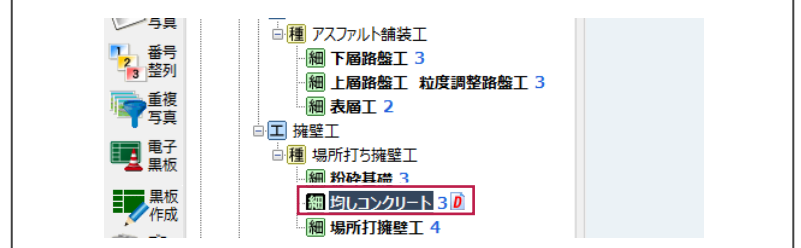
- 2 [出来形管理] をクリックします。



- 3 タスクバーで [写真管理] のアイコンをクリックし、入力画面に戻ります。



出来形管理プログラムと連動した分類には、写真管理の分類ツリーの分類名横に **D** と表示されます。

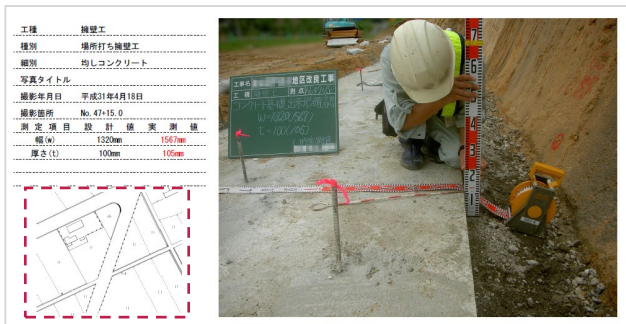


## 5-6 参考図を設定する

写真に参考図を設定します。

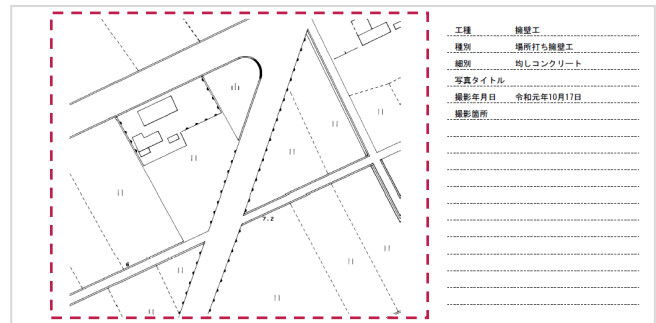
設定した参考図は、アルバム作成時に表示することもできます。

ここでは、アルバムの参考図枠に挿入する場合（豆図テンプレートから取り込む方法、画像ファイルから取り込む方法①）と、アルバムの写真と同じ大きさに挿入する場合（画像ファイルから取り込む方法②）のそれぞれの操作を説明します。



↑ 写真の参考図枠に挿入した場合

↓ 写真と同じ大きさに挿入した場合



### ■ 豆図テンプレートから取り込む方法

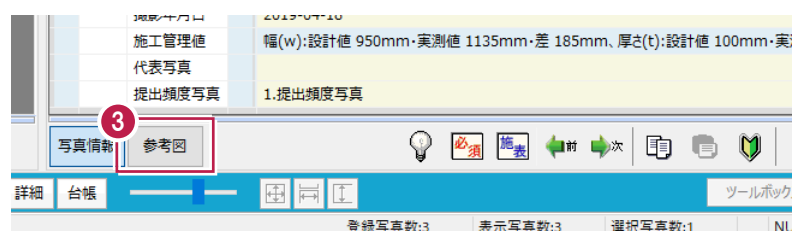
豆図テンプレートから、基礎コンクリートの豆図を取り込みます。

※アルバム作成時、写真の参考図枠に挿入されるように設定します。

- ① 分類ツリーで、分類を選択します。  
ここでは、[均しコンクリート] をクリックします。
- ② 参考図を設定する写真をダブルクリックします。



- ③ 画面下側の [参考図] をクリックします。



④ [豆図] をクリックします。

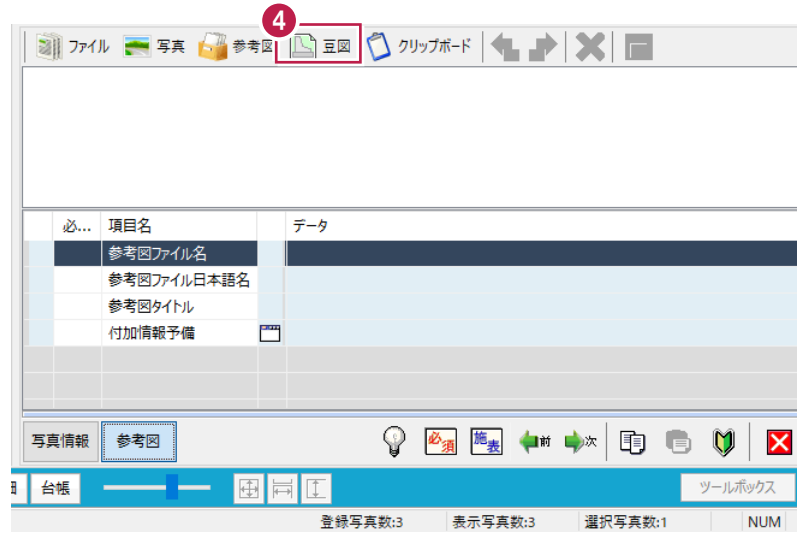
【ファイル】：パソコンに保存されているファイルを取り込みます。

【写真】：写真管理に取り込まれている写真を参考図にします。

【参考図】：他の写真の参考図を取り込みます。

【豆図】：豆図を参考図として取り込みます。

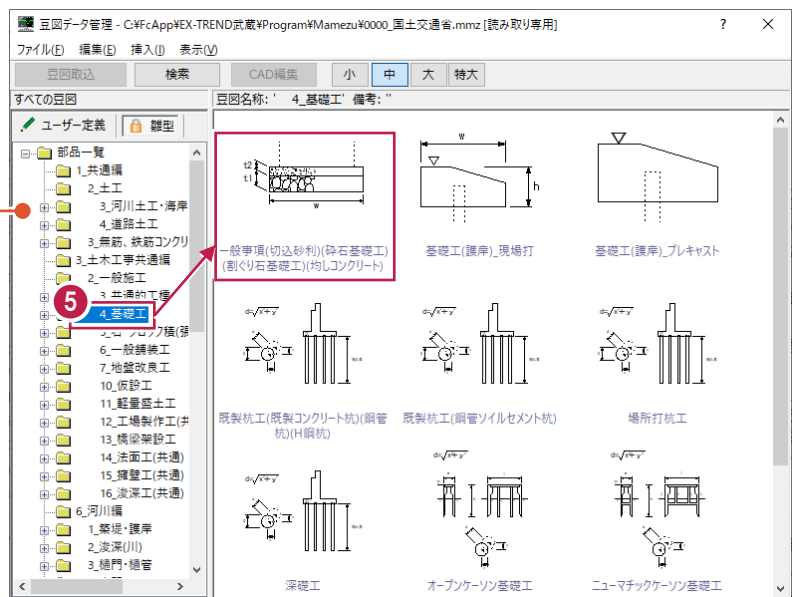
【クリップボード】：クリップボードにコピーされている画像やCADデータ、Excelデータを参考図として取り込みます。



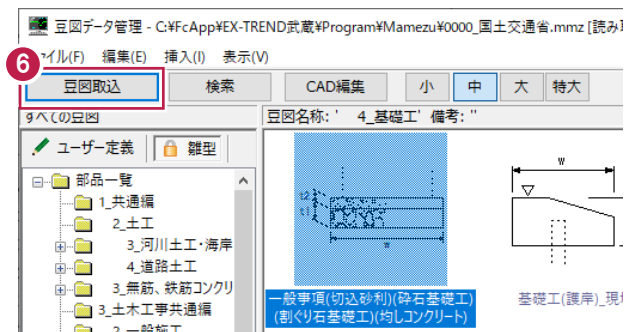
⑤ [4\_基礎工] の「一般事項」を選択します。

出来形管理基準に記載されている豆図が用意されています。

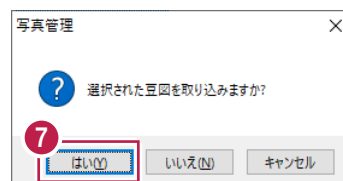
※各自治体の豆図への切り替えは、  
【ファイル】 - 【雛形を開く】で行ってください。



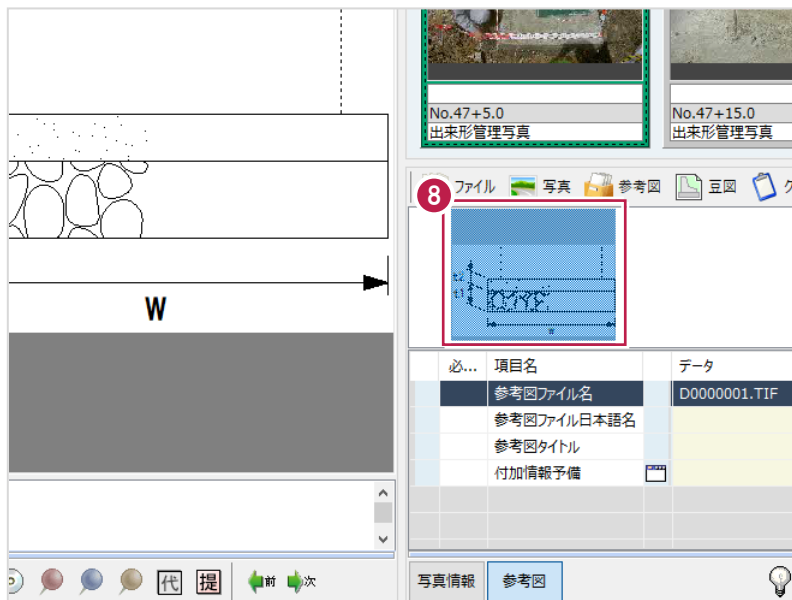
⑥ [豆図取込] をクリックします。



⑦ [はい] をクリックします。



8 参考図として取り込まれたことを確認します。

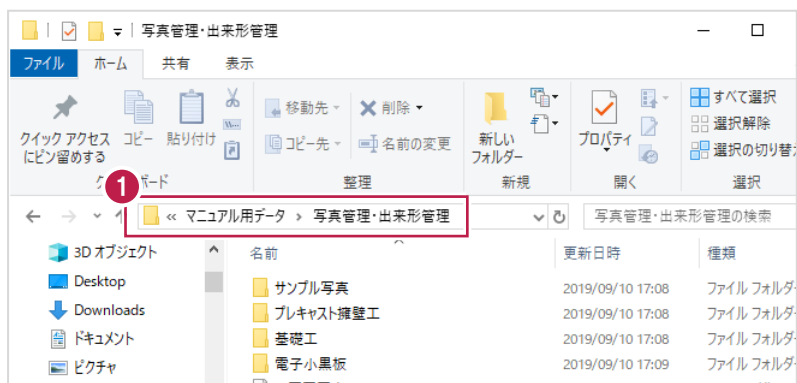


## ■ 画像ファイルから取り込む方法①

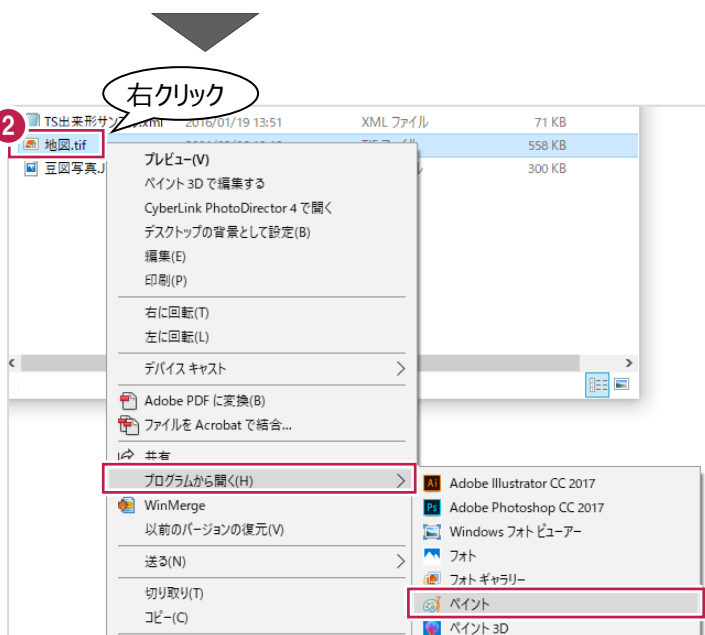
パソコンに保存されている画像（tifファイル）の一部を取り込みます。  
 ※アルバム作成時、写真の参考図枠に挿入されるように設定します。

1 サンプルデータの格納フォルダーを開きます。

サンプルデータのフォルダーは以下です。  
 C:\¥FcApp¥EX-TREND 武蔵 ¥マニュアル用データ¥写真管理・出来形管理



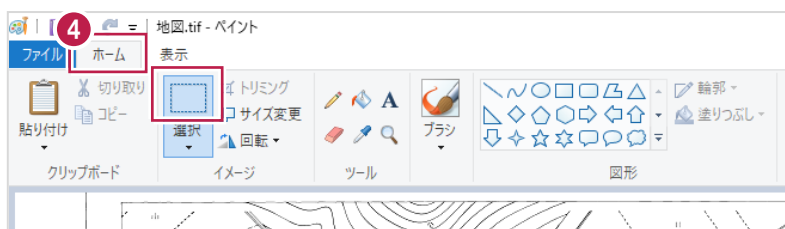
2 サンプルデータ「地図.tif」で右クリックし、  
 「プログラムから開く」 - 「ペイント」をクリック  
 します。



- ③ [表示] タブ - [縮小] を何回かクリックし、画像全体が見えるようにします。



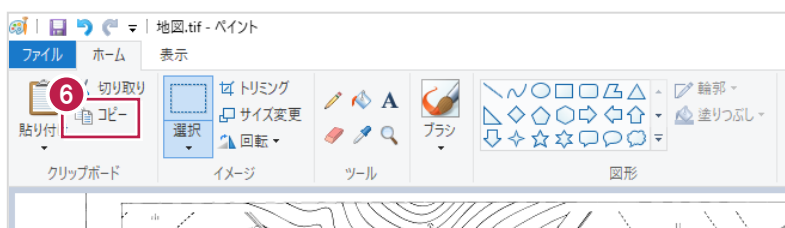
- ④ [ホーム] タブ - [選択] をクリックします。



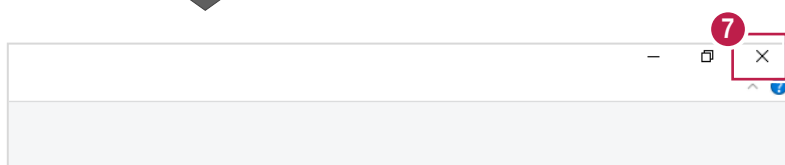
- ⑤ 位置図として使用する範囲を選択します。



- ⑥ [コピー] をクリックします。



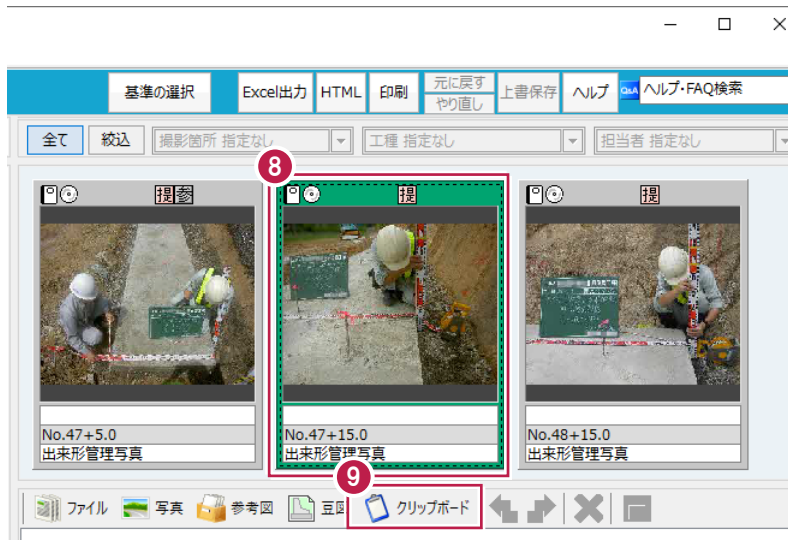
- ⑦ 右上の [閉じる] ボタンをクリックし、ペイントを終了します。





8 写真管理で、参考図を設定する写真をクリックします。

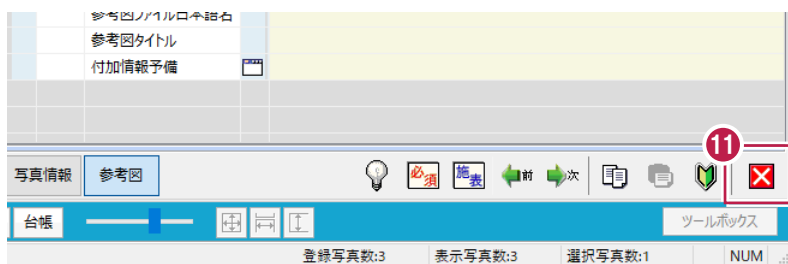
9 [クリップボード] をクリックします。



10 参考図として取り込まれたことを確認します。



11 右下の [閉じる] をクリックし、参考図画面を閉じます。



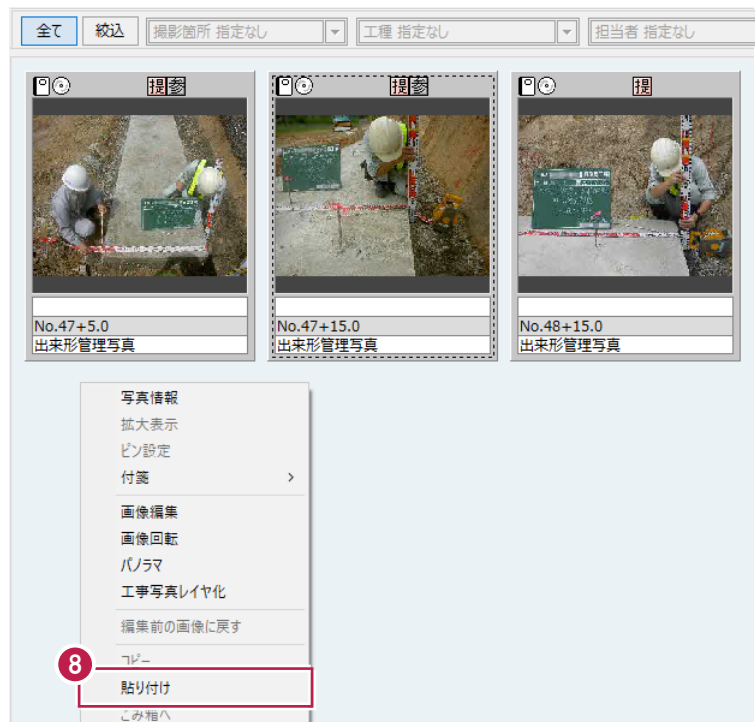
## ■ 画像ファイルから取り込む方法②

パソコンに保存されている画像（tifファイル）の一部を取り込みます。  
※アルバム作成時、写真と同じ大きさに挿入されるように設定します。

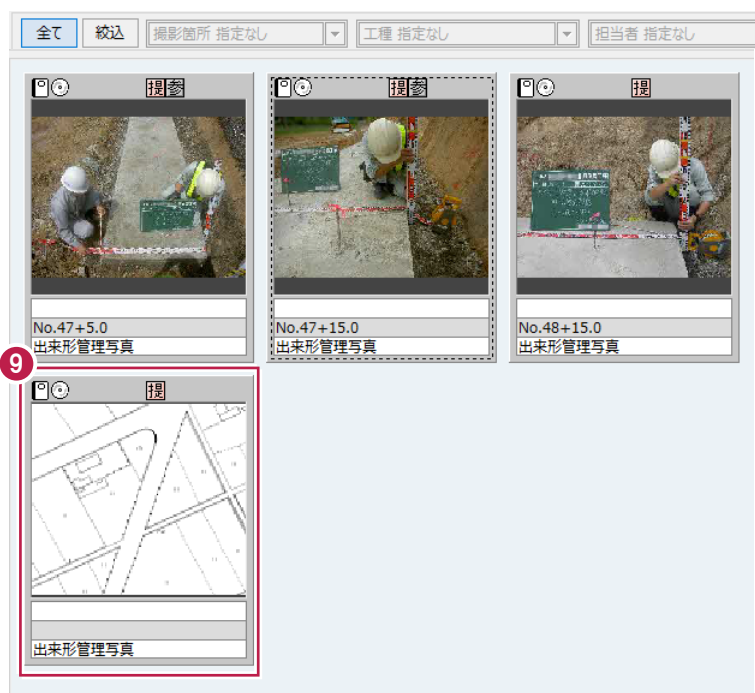
→ 先に、「■ 画像ファイルから取り込む①」の「①」～「⑦」（P.76～77）の操作を行ってください。

※「■ 画像ファイルから取り込む①」の操作を行っている場合はそのまま進めてください。

⑧ 写真ビューで右クリックし、[貼り付け] をクリックします。



⑨ 写真と同じ大きさに、位置図が取り込まれたことを確認します。



# 6

## アルバム作成

5章までで整理した写真のデータをもとに、アルバムを作成します。

ここでは、工種：[擁壁工] の写真をアルバムにする操作で説明します。

使用するアルバムフォームの選択や、改ページ位置などの設定、アルバムの作成・印刷までを行います。

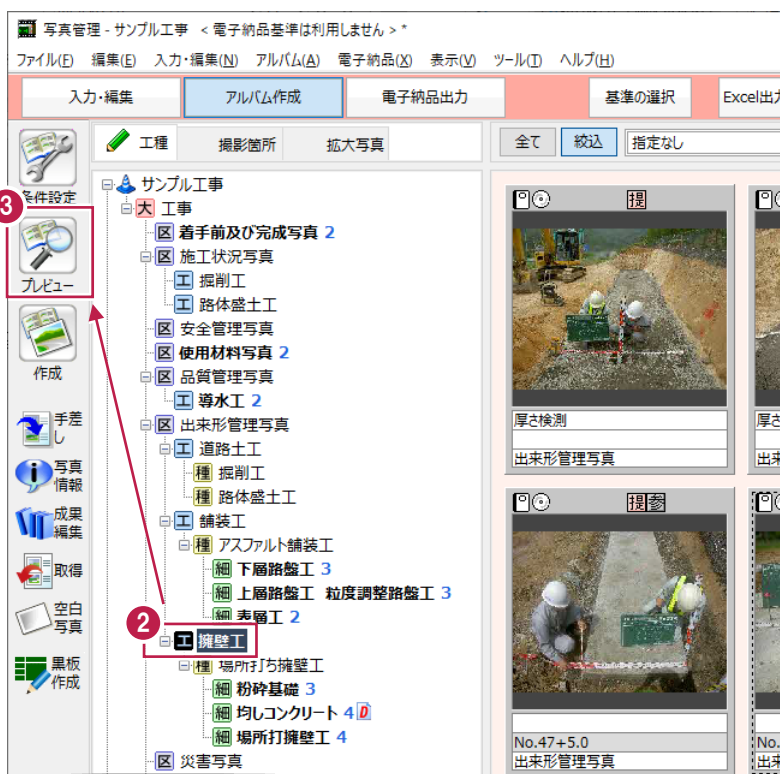
### 6-1 アルバムの作成イメージを確認する

[プレビュー] で、アルバムの作成イメージを確認します。

① [アルバム作成] をクリックします。



② 分類ツリーで、アルバムを作成する分類を選択します。  
ここでは、[擁壁工] をクリックします。



③ [プレビュー] をクリックします。

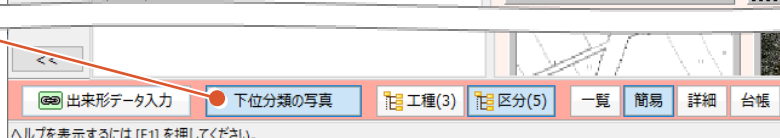
● **【下位分類の写真】がオン：**  
分類ツリーで選択中の分類よりも下の階層に登録されている写真をすべて表示します。

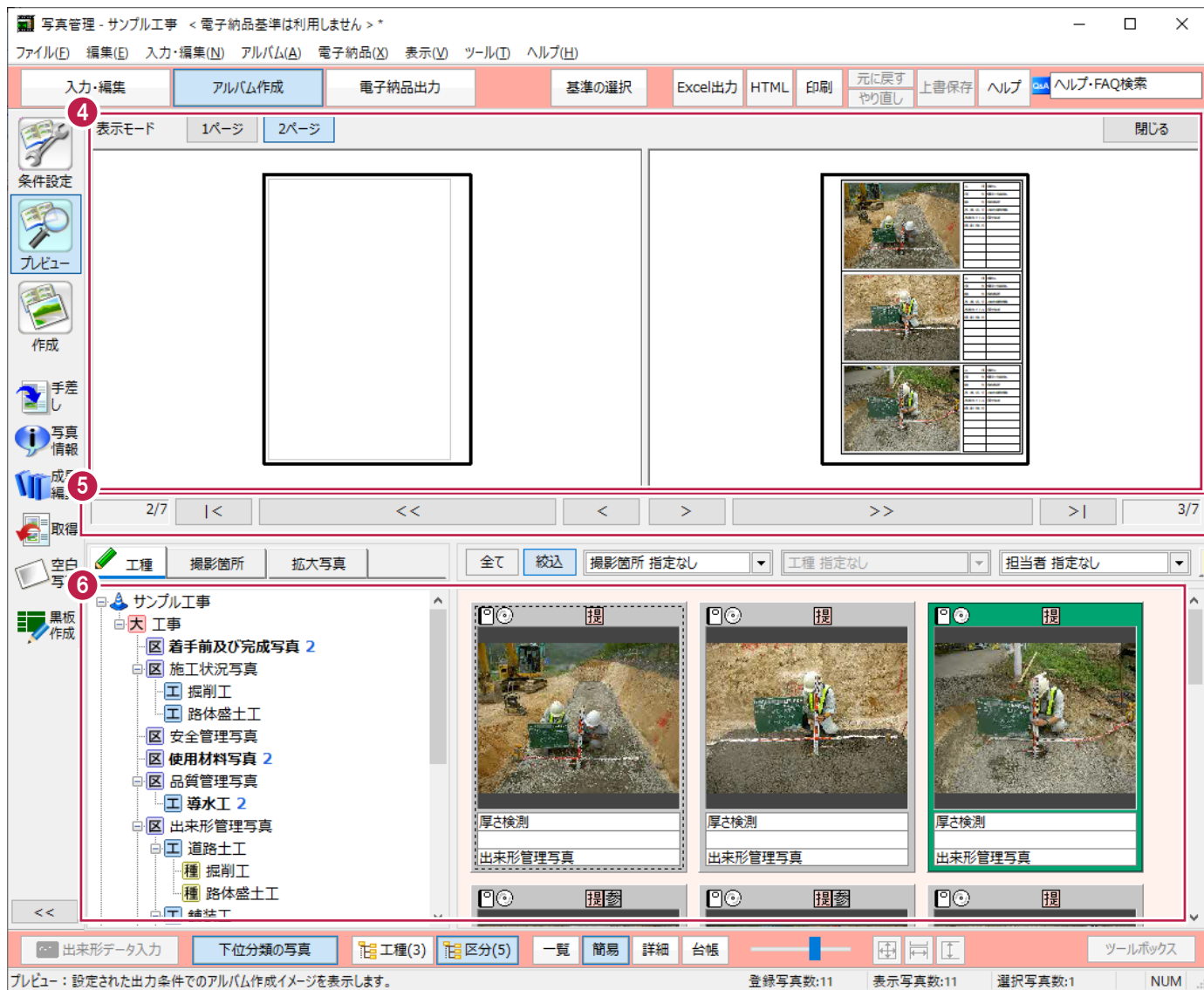
[アルバム作成] に切り替えると、この設定が自動的にオンになります。

● **【下位分類の写真】がオフ：**  
分類ツリーで選択中の分類に登録されている写真のみ表示します。

写真が入っていない分類（右の例：[擁壁工]）を選択した場合は、写真ビューに「表示する写真がありません。」と表示されます。

- 表示する写真がありません。
- ★ 分類に写真が登録されていない
- ★ 「条件に一致する写真」がない



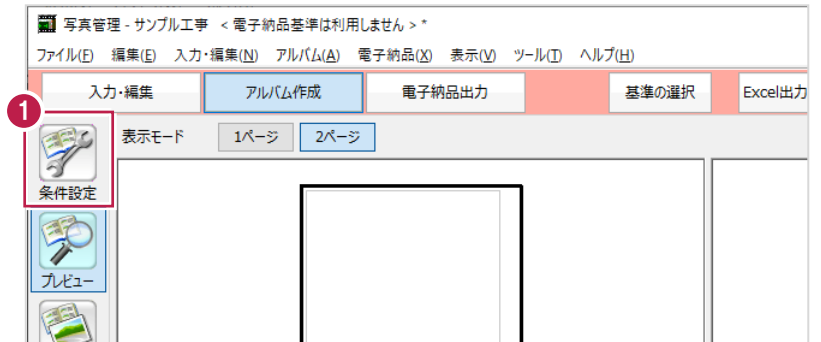


<p>4</p>	<p>画面上部のプレビューでは、実際の写真でアルバムイメージを確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面の拡大/縮小は、マウスホイールを奥/手前に転がして行います。</li> <li>・画面の移動は、マウスホイールをドラッグして（押し込みながら動かして）行います。</li> </ul> <p>[表示モード] で「1 ページ」と「2 ページ」を切り替えられます。</p>	
<p>5</p>	<p>ページの切り替えが行えます。</p> <p>&lt; &gt; …1 ページずつ送ります。 &lt;&lt; &gt;&gt; …2 ページずつ送ります。</p> <p> &lt; &gt;  …先頭ページ/最終ページを表示します。</p> <p>左端、右端には、[表示中のページ番号/総ページ数] が表示されます。</p>	
<p>6</p>	<p>分類ツリーで選択中の分類に登録されている写真が表示されます。</p> <p>ここに表示されている写真がアルバム作成対象となります。</p> <p>※すべての写真でアルバムを作成する場合は [下位分類の写真] がオンになっている状態で、分類ツリー一番上の「工事名称」を選択してください。（ただし、[取り込み分類] 以下に登録されている写真は含まれません。）</p>	

## 6-2 作成条件を設定する

アルバムフォームの選択や、改ページ、印刷時の設定などを行います。

- ① [条件設定] をクリックします。



- ② [ページタイプ] : 「任意」を選択し、  
[ページ] をクリックします。



- ③ 以下のフォームを選択します。  
「01\_工事用アルバム (タイプ 1)」  
「01 : A4/縦/3 枚/右表」  
「08 : 出来形参考図あり」

工種	<工種>
種別	<種別>
細別	<細別>
写真タイトル	<写真タイトル>
撮影年月日	<撮影年月日>
撮影箇所	<撮影箇所>
測定項目	設計値 実測値
<項目名_1>	<設計値_1> <実測値_1>
<項目名_2>	<設計値_2> <実測値_2>
<項目名_3>	<設計値_3> <実測値_3>
<項目名_4>	<設計値_4> <実測値_4>

参考図 1

プレビューでは画面を拡大して、表のイメージを確認することもできます。  
拡大：マウスホイールを奥に転がす  
移動：マウスホイールを押して動かす



- ④ [OK] をクリックします。

5 [表紙を配置する] をオフにします。

表紙を作成する場合は [表紙を配置する] をオンにして、[表紙] からフォームを選択します。

6 [写真情報表と詳細表示の項目を連動] をオフにします。

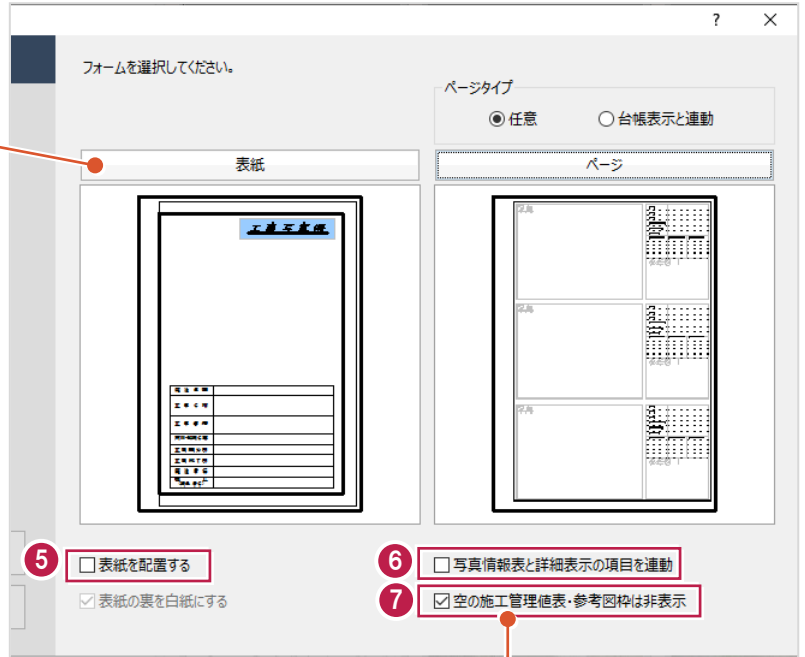
**【写真情報表と詳細表示の項目を連動】について**

● **チェックをオフにした場合**： [ページ] で選択したフォーム通りに作成します。

● **チェックをオンにした場合**： 写真ビューの [詳細] 表示の項目 (以下画像) が、写真情報表の項目になります。



項目の変更は [入力・編集] の [設定] から [表示] - [縮小版1] タブをクリックして、「詳細・台帳」で可能です。



5  表紙を配置する  
 表紙の裏を白紙にする

6  写真情報表と詳細表示の項目を連動  
7  空の施工管理値表・参考図枠は非表示

「空の施工管理値表・参考図枠は非表示」をオフにした場合、すべての写真に施工管理値表・参考図枠を表示します。

オンにした場合、施工管理値や参考図が無い写真は情報表のみ表示します。

<オフにした場合>

工程	図解
種別	場所打ち擁壁工
種別	場所打ち擁壁工
種別	場所打ち擁壁工
高度タイトル	場所打ち擁壁工
撮影年月日	令和5年10月14日
撮影場所	
撮影者	野田 晃 野田 晃 野田 晃
撮影機	

<オンにした場合>

工程	図解
種別	場所打ち擁壁工
種別	場所打ち擁壁工
種別	場所打ち擁壁工
高度タイトル	場所打ち擁壁工
撮影年月日	令和5年10月14日
撮影場所	
撮影者	
撮影機	

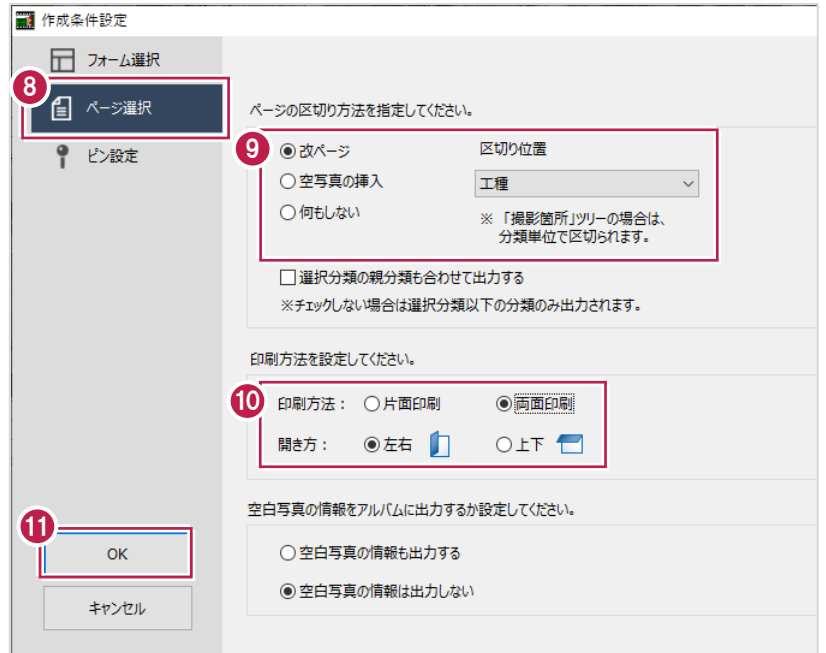
7 [空の施工管理値表・参考図枠は非表示] をオンにします。

8 [ページ選択] をクリックします。

9 ページの区切り方法は [改ページ] を選択し、[区切り位置]：「工種」に設定します。

10 [印刷方法]：「両面印刷」、[開き方]：「左右」に設定します。

11 [OK] をクリックします。



8  ページ選択

9  改ページ  
 空写真の挿入  
 何もしない  
区切り位置: 工種  
※「撮影箇所」ツリーの場合は、分類単位で区切られます。

選択分類の親分類も合わせて出力する  
※チェックしない場合は選択分類以下の分類のみ出力されます。

印刷方法を設定してください。  
10 印刷方法:  片面印刷  両面印刷  
開き方:  左右  上下

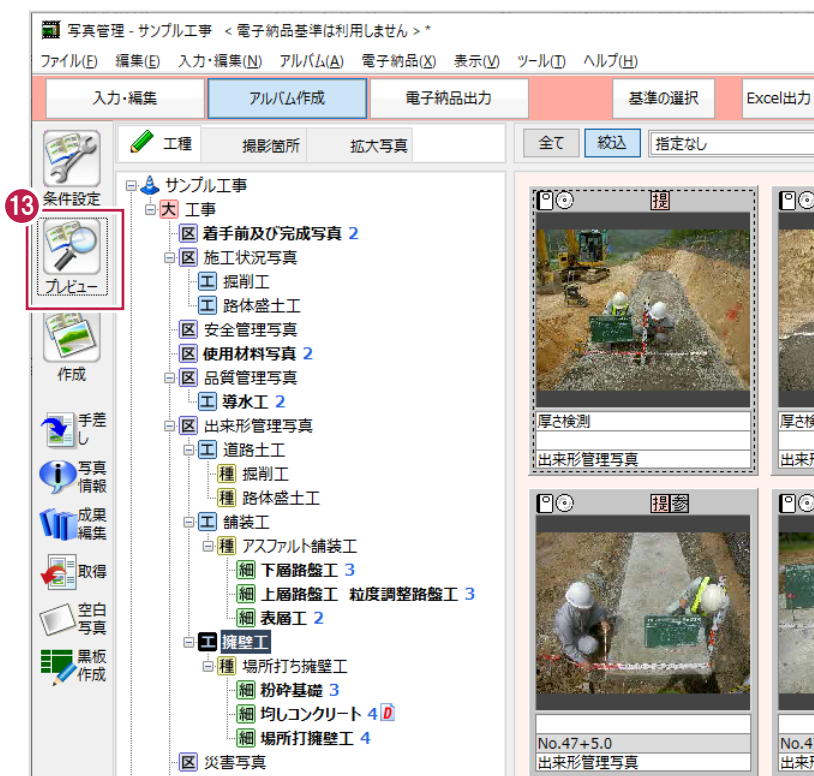
11

- 12 再度、作成イメージを確認します。  
[プレビュー] をクリックします。



ページを切り替えて確認できます。

- 13 確認後、[プレビュー] をクリックして、  
プレビュー画面を閉じます。



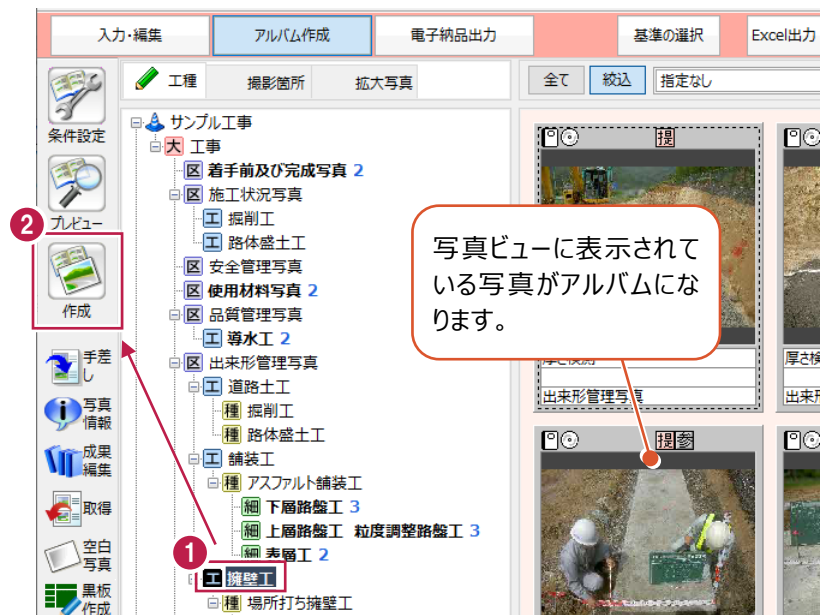
## 6-3 アルバムを作成する

アルバムを作成します。

ここでは、工種：〔擁壁工〕以下の分類でアルバムを作成する操作を説明します。

① 分類ツリーで、アルバムを作成する分類を選択します。  
〔擁壁工〕が選択されていることを確認します。

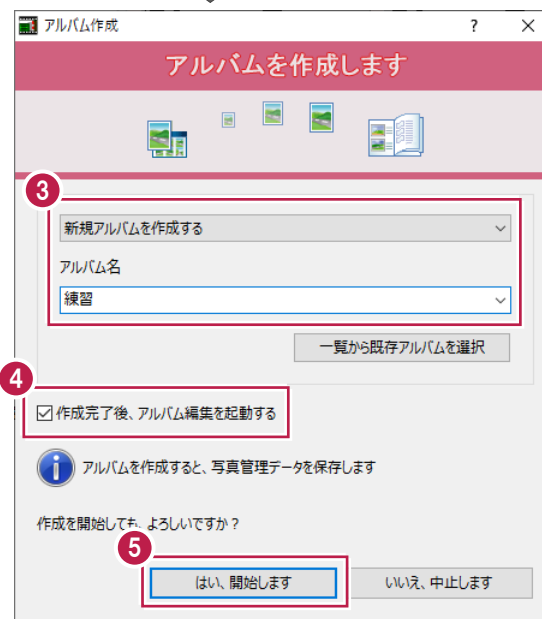
② [作成] をクリックします。



③ [新規アルバムを作成する] を選択し、  
[アルバム名] に「練習」と入力します。

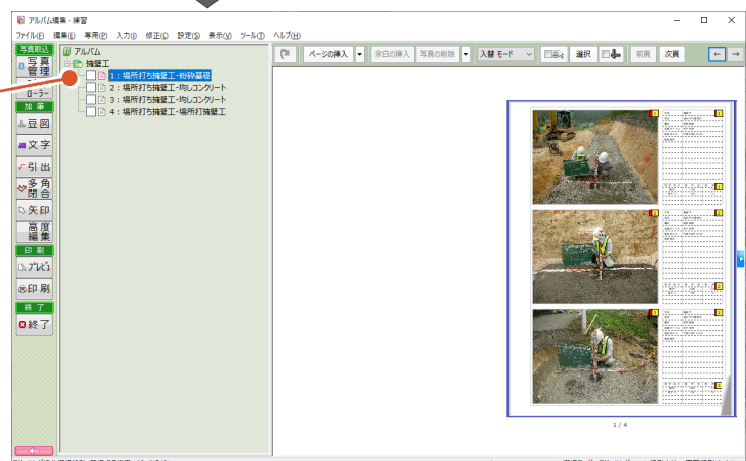
④ [作成完了後、アルバム編集を起動する] を  
オンにします。

⑤ [はい、開始します] をクリックします。



アルバム編集画面が開き、作成された  
アルバムが確認できます。

アルバム編集画面での操作について  
は、「7 アルバムを編集する」(P.88  
～)を確認してください。

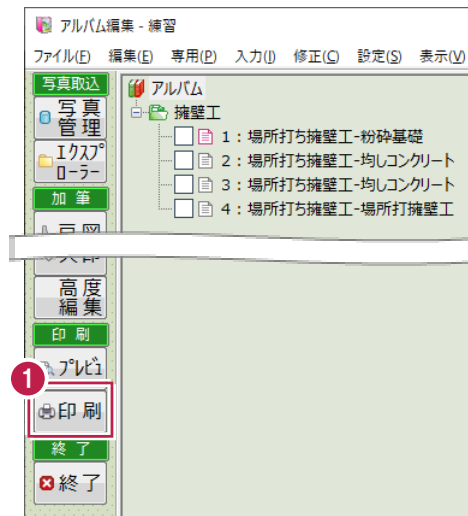




## 6-4 アルバムを印刷する

アルバムを印刷する操作を説明します。

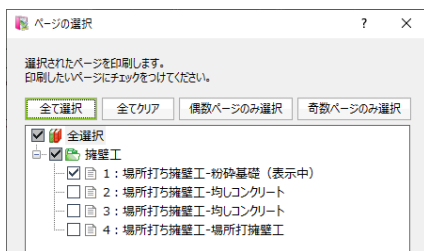
- 1 画面左側のコマンドバーより、[印刷] をクリックします。  
(メニューバーの [ファイル] - [印刷] からも行えます。)



- 2 使用するプリンター、印刷範囲、印刷部数などを設定します。

- 3 [OK] をクリックします。

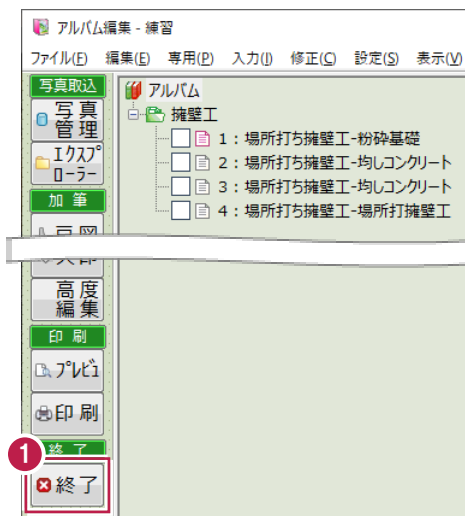
印刷範囲の [ページ選択] から、ページを抜粋して印刷することもできます。



## 6-5 アルバムの作成を終了する

アルバム編集画面を閉じ、アルバムの作成を終了します。

- 1 画面左側のコマンドバーより、[終了] をクリックします。  
(メニューバーの [ファイル] - [「アルバム編集」の終了] からも行えます。)



# 7

## アルバムを編集する

作成したアルバムを編集します。

ここでは、6章で作成したアルバムを開き、写真の並び順の変更、不要な写真の削除、情報表の訂正、線や文字の追記等の操作について説明します。

### 7-1 作成済みのアルバムを開く

6章で作成したアルバムを開きます。

写真管理から開く方法と、インデックスから開く方法を説明します。

#### 写真管理から開く場合

① [アルバム作成] をクリックします。

② [成果編集] をクリックします。



③ アルバムを選択します。

ここでは、「練習」をクリックします。

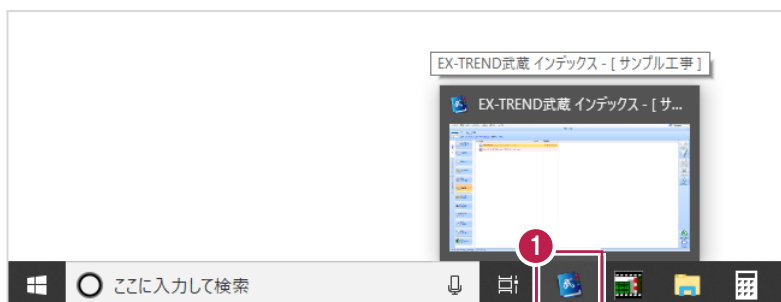
④ [選択したアルバムを開く] をクリックします。



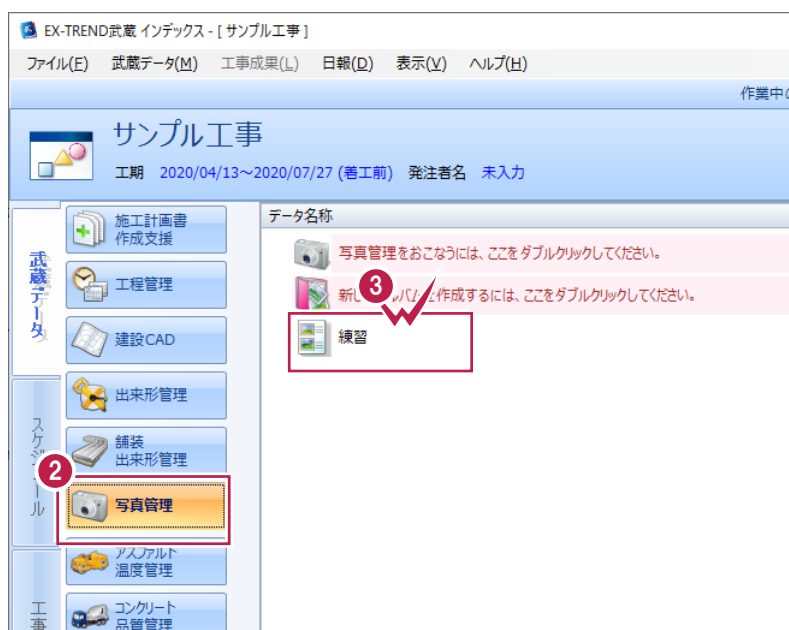
「アルバムデータの保守」で、名称の変更や複写、削除などできます。

## ■ インデックスから開く場合

- ① タスクバーで「EX-TREND 武蔵 インデックス」のアイコンをクリックします。

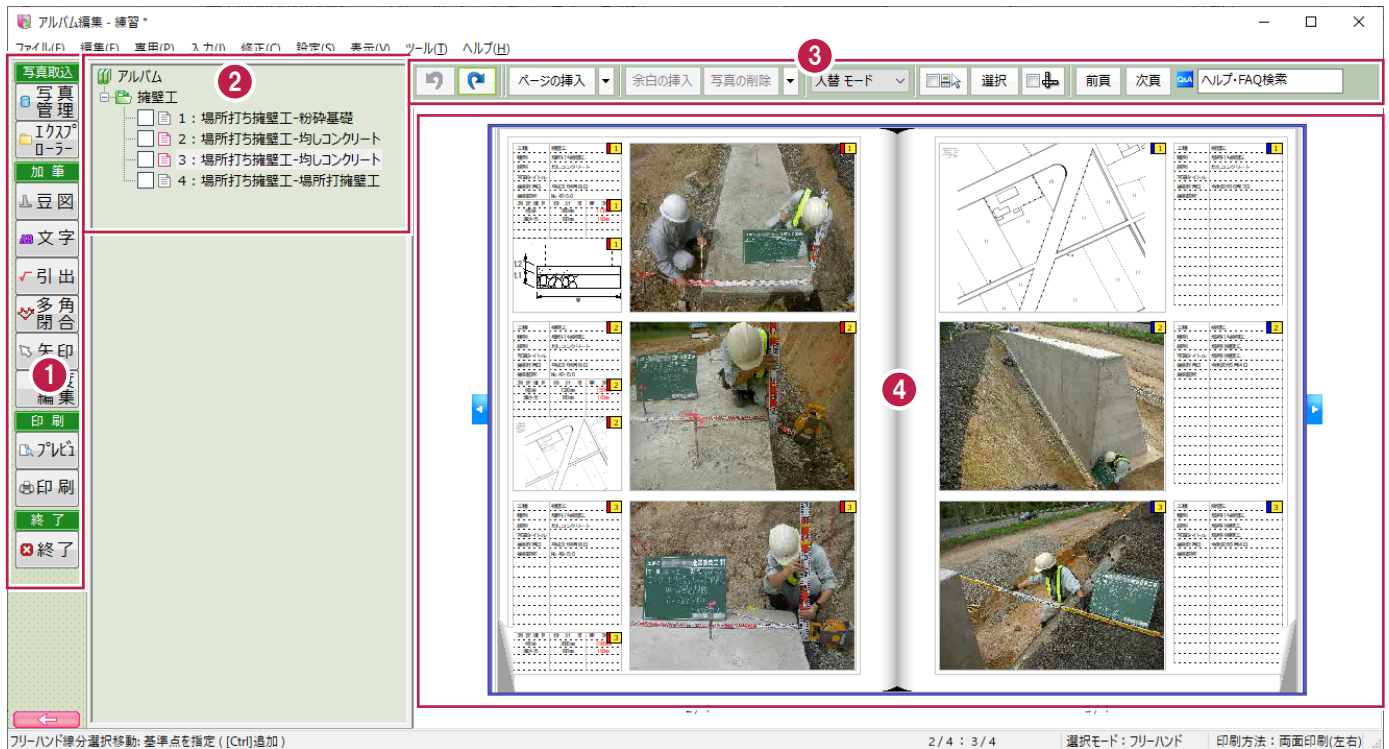


- ② 「写真管理」をクリックします。
- ③ アルバム名をダブルクリックします。  
ここでは、「練習」をダブルクリックします。



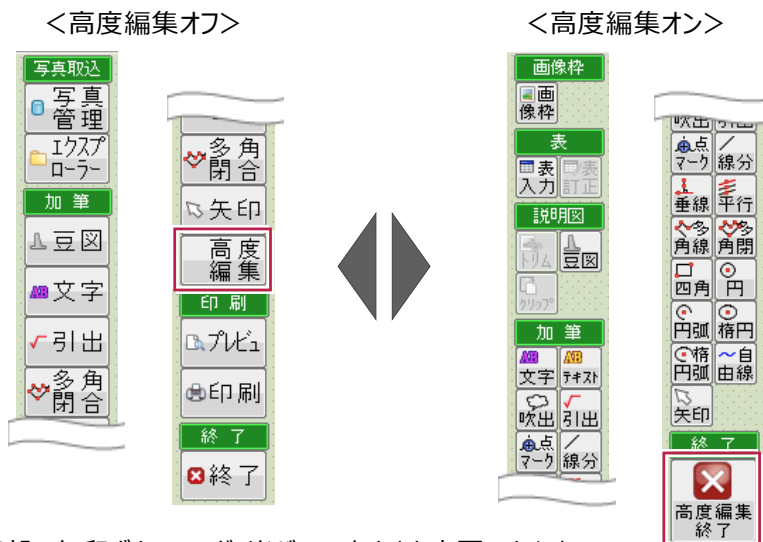
## 7-2 アルバム編集の画面構成

アルバム編集の画面回りやコマンドについて説明します。





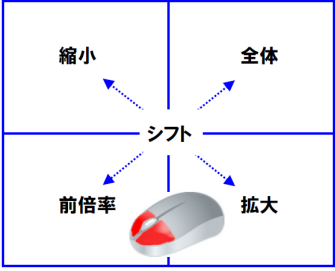

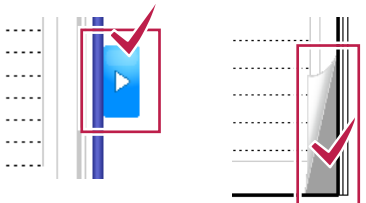
### ① ガイドバー

よく使用するコマンドが「写真取込」「加筆」「印刷」「終了」に分けて配列されています。  
「高度編集」「高度編集終了」をクリックするとコマンド表示が切り替わります。



下部の矢印ボタンで、ガイドバーの大きさを変更できます。



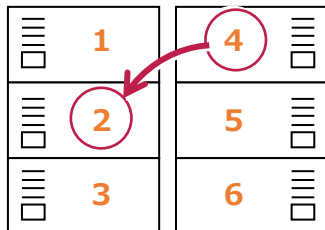
<p>② ページツリー</p>	<p>アルバムのページをツリー表示します。 コマンド実行時には必要な設定や操作パネルが表示されます。</p>
<p>③ コマンドバー</p>	<p>[元に戻す] [やり直し] やページの挿入、CAD操作のモード変更を行います。 通常時と高度編集時で表示が切り替わります。</p> <p>・通常時</p>  <p>・高度編集時</p> 
<p>④ アルバム イメージビュー</p>	<p>実際のアルバムデータを編集するビューです。 ページツリーで選択されているページが表示されます。</p> <p>・両ボタンドラッグでドラッグする方向（下図の矢印）により、以下のように表示範囲を切り替えます。</p> <p>【拡大】：両ボタンドラッグで指定した四角形範囲を拡大表示します。 【縮小】：現在の表示範囲に対し、縦横 2 倍の範囲に広げて縮小表示します。 【全体】：原図として設定されている範囲を表示します。 【前倍率】：1 つ前に表示していた倍率で表示します。 【シフト】：表示倍率はそのまま、両ボタンをクリックした位置が表示の中心になります。</p>  <p>・マウスの位置を中心に、マウスホイールで拡大・縮小することができます。</p> <p>・マウスホイールを押したまま、マウスを動かすと画面を移動できます。 マウスホイールを押したままの状態のときは、画面上のマウスは  で表示されます。</p> <p>・「青矢印」もしくは「めくれ」（右図赤枠内）にエリアをドラッグすると、ページをめくることができます。 「めくれ」の表示は、[設定] - [設定] の [表示] で、 装飾を表示する（台帳外側の「青枠」や「めくれ」等）を オフにすると非表示にできます。 （「めくれ」が非表示の場合でもページをめくることができます。）</p> 

## 7-3 写真の順番を入れ替える

写真の並びを変更します。

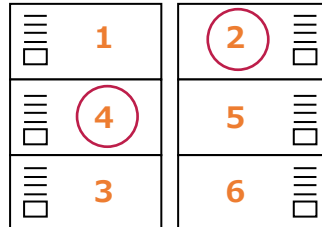
ここでは、入替モードと挿入モードについて説明します。

例) 「4」の写真を「2」にドラッグ&ドロップした場合



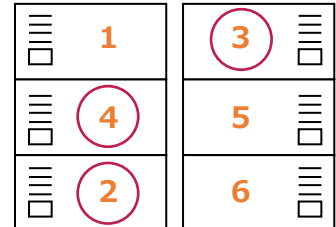
[入替モード]

→「4」と「2」の写真が入  
替わります。



[挿入モード]

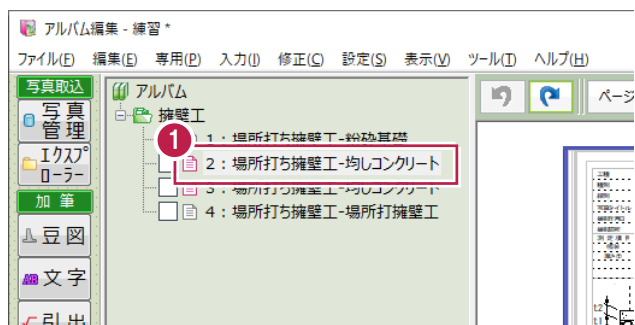
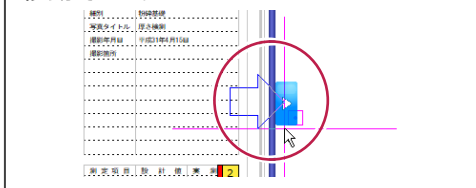
→「4」の写真が「2」の前に  
挿入されます。



### ■ 入替モード

① ページツリーで、2 ページ目をクリックします。

ページ横にある、青い矢印をクリックしても  
移動できます。



② コマンドバーで [入替モード] に設定します。

③ 並べ替える写真をクリックします。



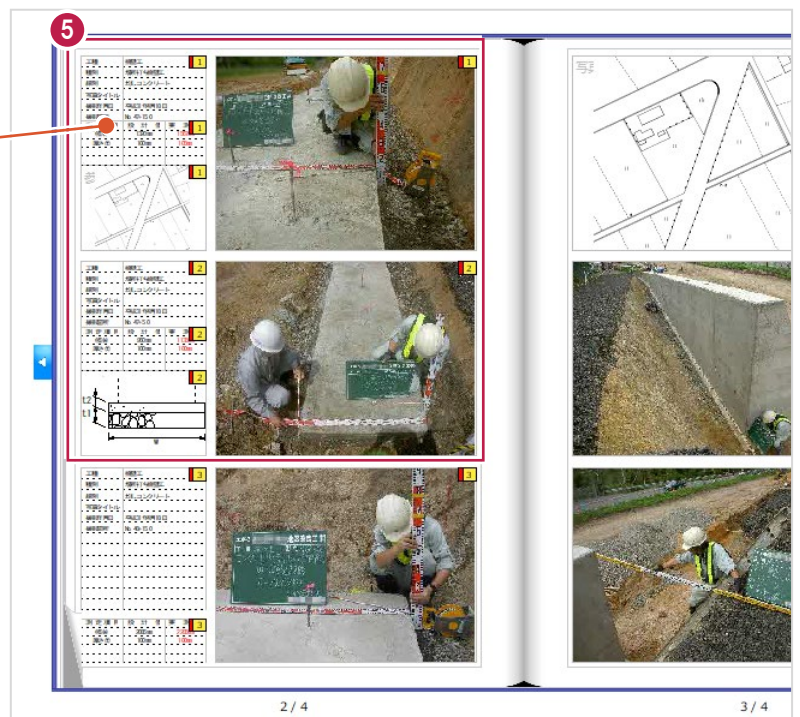
- 4 選択した写真を左ボタンドラッグし、  
入れ替え先の写真の上でマウスを放します。

入れ替え先の写真は、緑色になり、  
「この写真と入替」と表示されます。



- 5 写真が入れ替わったことが確認できます。

写真とともに、情報表も入れ替わります。





## ■ 挿入モード

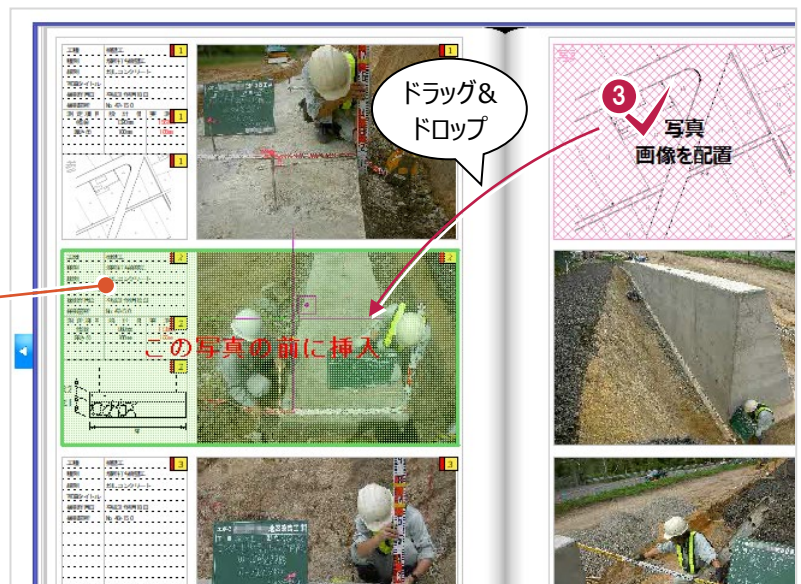
① コマンドバーで [挿入モード] に設定します。

② 並べ替える写真をクリックします。



③ 選択した写真を左ボタンドラッグし、挿入先の写真の上でマウスを放します。

挿入先の写真は、緑色になり、「この写真の前に挿入」と表示されます。



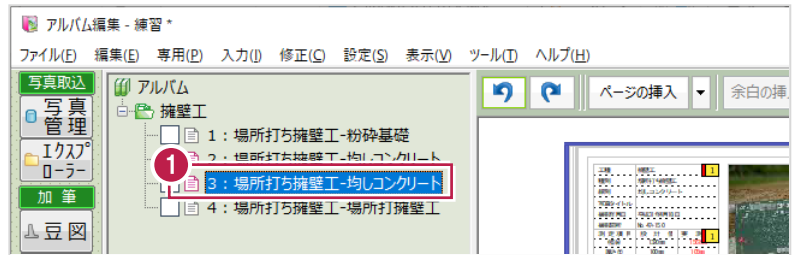
④ 写真が挿入され、それ以降の写真が 1 枠ずつずれたことが確認できます。



## 7-4 不要な写真を削除する

アルバム内で不要な写真を削除します。

- 1 ページツリーで、3 ページ目をクリックします。



- 2 削除する写真をクリックします。

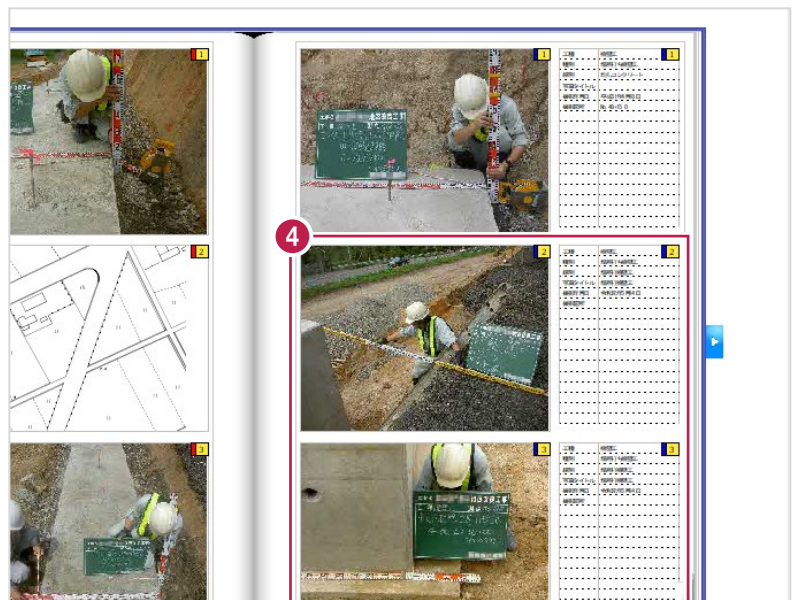
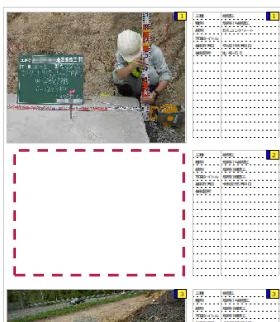
- 3 コマンドバーで [写真の削除] をクリックします。



- 4 写真と情報表が削除され、それ以降の写真が1枚ずつずれます。

### Delete キーを使用した削除について

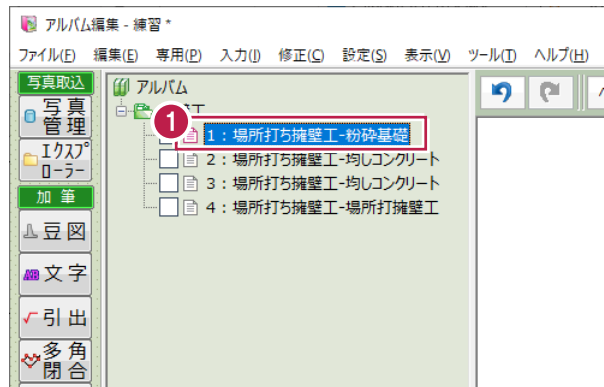
キーボードのdelキーや、右クリックの [削除] を使用した場合は、写真と写真枠が削除されます。※情報表は残ります。



## 7-5 情報表を訂正する

情報表に記載されている内容を訂正します。  
ここでは、写真タイトルを訂正する操作を説明します。

- 1 ページツリーで、1 ページ目をクリックします。



- 2 2枚目の写真の情報表を拡大します。

マウスホイールを奥に転がすか、右下に両ボタンドラッグで拡大ができます。



- 3 訂正するセルをダブルクリックします。  
ここでは、写真タイトルの「厚さ検測」をダブルクリックします。



4 [文字の編集] で「出来形確認」と入力します。

5 [更新して終了] をクリックします。



写真タイトルが訂正されたことが確認  
できます。

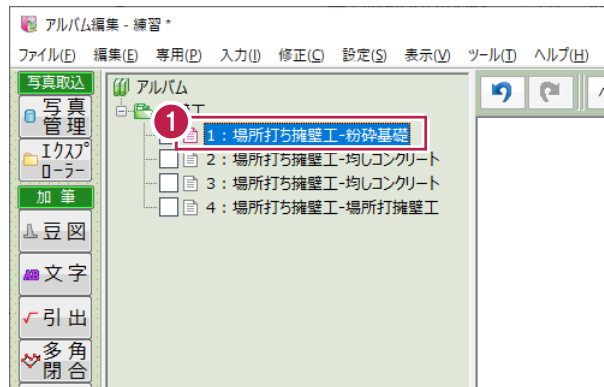
写真の削除	挿入モード	選択	前頁	次頁	ヘルプ・FAQ検索
	2	工種	擁壁工	2	
		種別	場所打ち擁壁工		
		細別	粉碎基礎		
		写真タイトル	出来形確認		
		撮影年月日	平成31年4月15日		
		撮影箇所			

## 7-6 写真に線を入力する

写真に線を入力します。

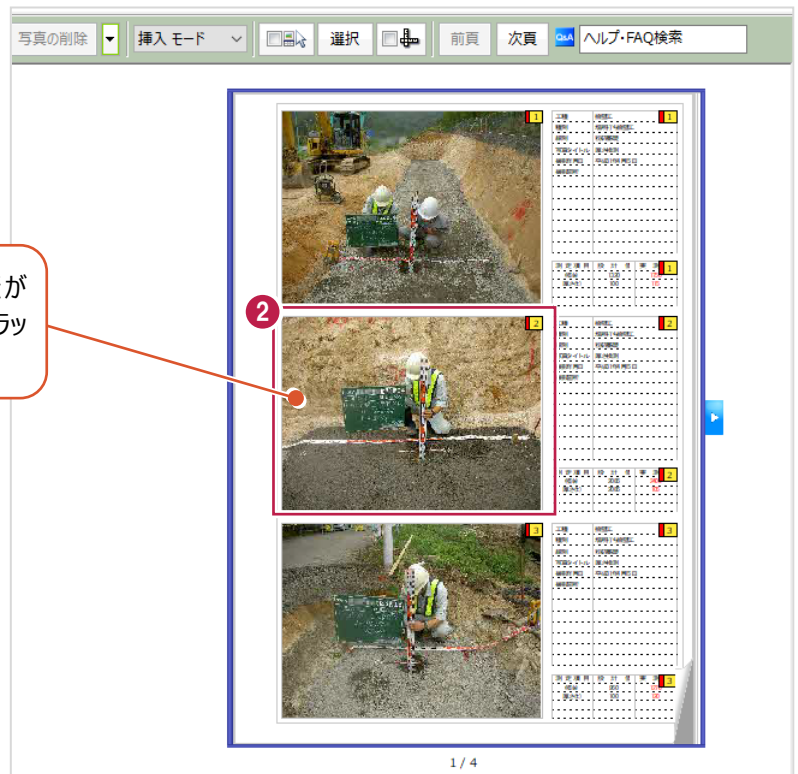
ここでは、測定箇所を分かりやすくするため矢印線を配置する操作を説明します。

- 1 ページツリーで、1 ページ目をクリックします。



- 2 2 枚目の写真を拡大します。

マウスホイールを奥に転がすか、右下に両ボタンドラッグで拡大ができます。

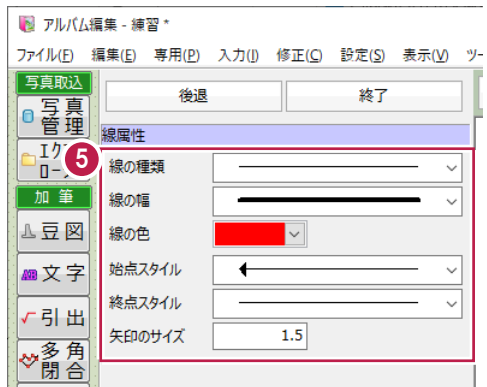


- 3 メニューバーで [入力] をクリックします。

- 4 [線] - [線分] をクリックします。



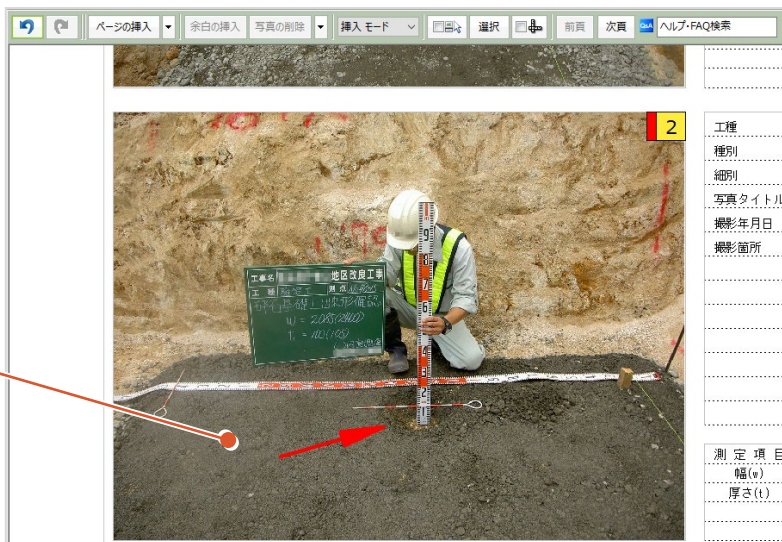
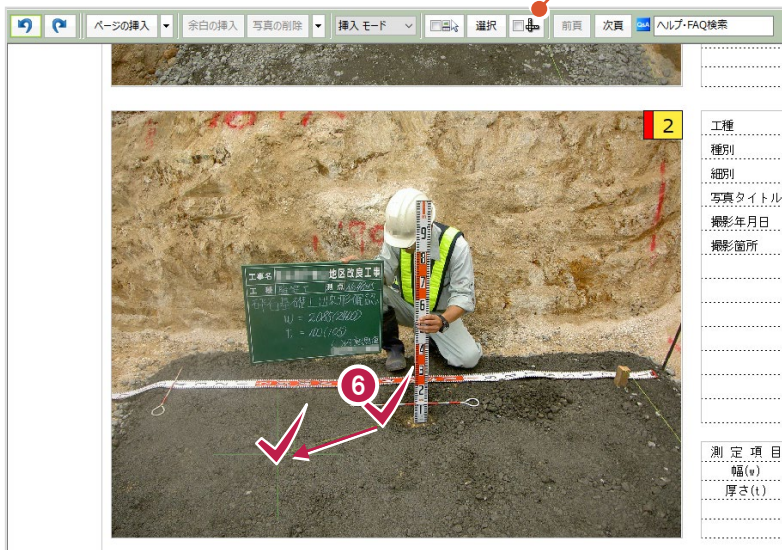
- 5 線属性を以下のように設定します。
- [線の種類] : 実線
  - [線の幅] : 上から4番目
  - [線の色] : 赤色
  - [始点スタイル] : 上から7番目
  - [終点スタイル] : 上から1番目
  - [矢印のサイズ] : 「1.5」



水平・垂直方向に線を入力するには、コマンドバーの「ドラフタ」をオンにします。

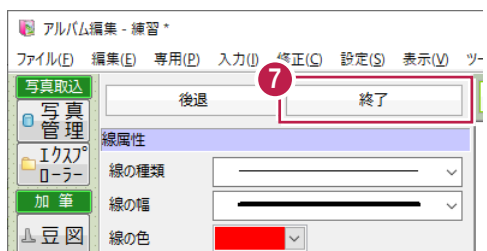


- 6 線を配置する位置を2点指定します。



矢印線が配置されます。

- 7 「終了」をクリックします。

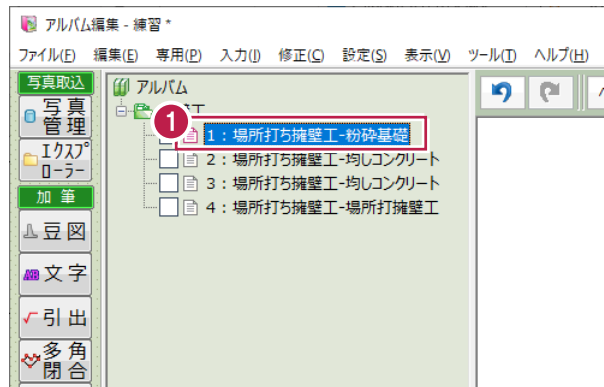


## 7-7 写真に引出文字を配置する

写真に引出文字を追加します。

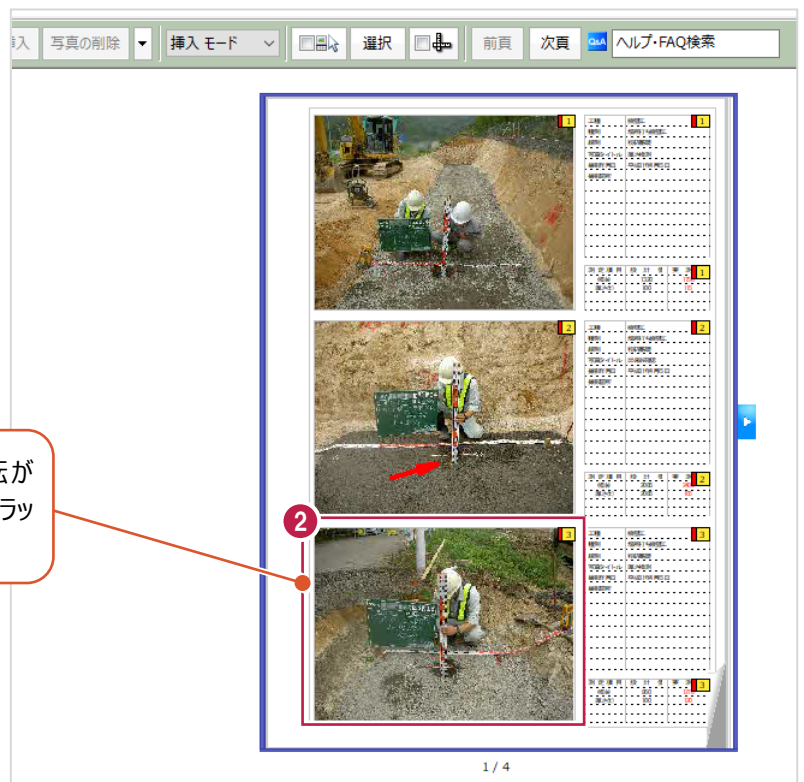
ここでは、測定箇所を分かりやすくするため引出文字を配置する操作を説明します。

- 1 ページツリーで、1 ページ目をクリックします。



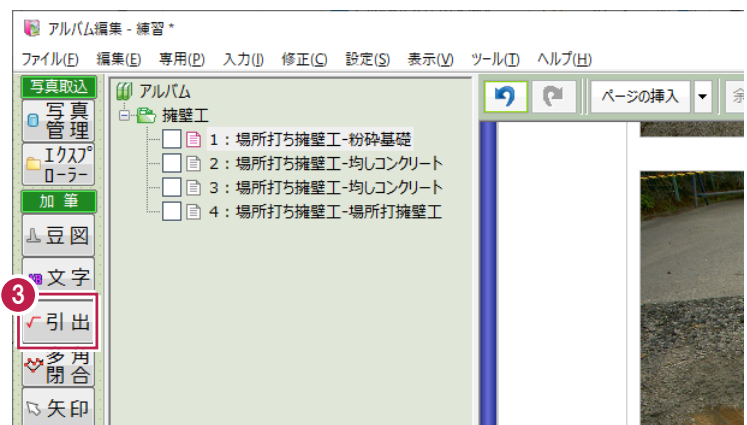
- 2 3 枚目の写真を拡大します。

マウスホイールを奥に転がすか、右下に両ボタンドラッグで拡大ができます。



- 3 ガイドバーで [引出] をクリックします。

※メニューバーの [入力] - [文字] - [引き出し文字] でも選択できます。

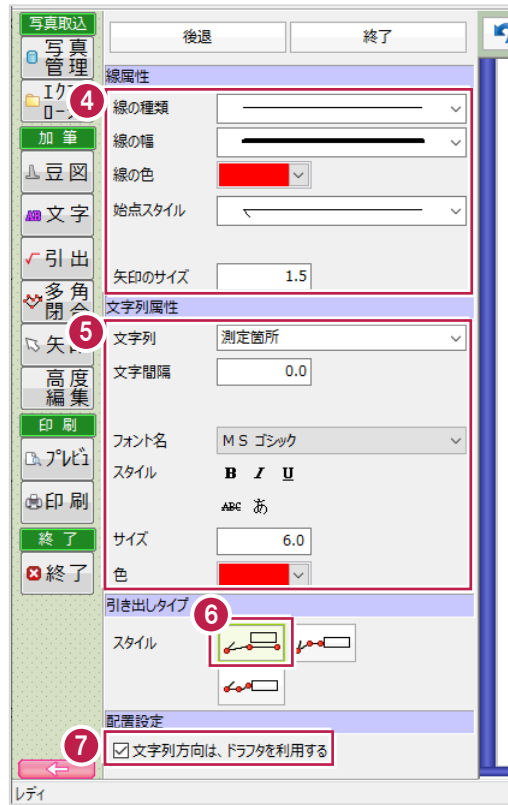


- ④ 線属性を以下のように設定します。  
 [線の種類] : 実線  
 [線の幅] : 上から4番目  
 [線の色] : 赤色  
 [始点スタイル] : 上から4番目  
 [矢印のサイズ] : 「1.5」

- ⑤ 文字列属性を以下のように設定します。  
 [文字列] : 「測定箇所」  
 [文字間隔] : 「0.0」  
 [フォント名] : 「MSゴシック」  
 [サイズ] : 「6.0」  
 [色] : 「赤色」

- ⑥ 引き出しタイプは、1つ目を選択します。

- ⑦ [文字列方向は、ドラフトを利用する] をオンにします。



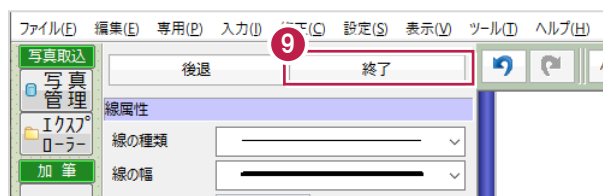
- ⑧ 引き出し線の始点、折れ点、終点の順にクリックします。



引き出し文字が配置されます。



- ⑨ [終了] をクリックします。



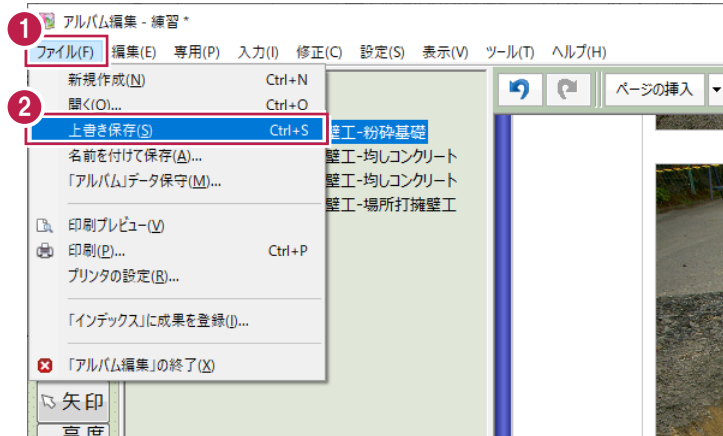


## 7-8 アルバム編集／写真管理を終了する

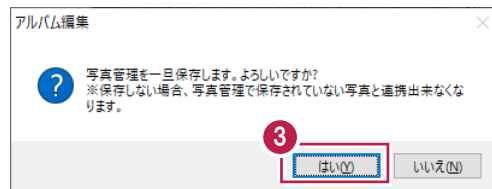
アルバム編集と写真管理を保存して、終了します。

① メニューバーの「ファイル」をクリックします。

② 「上書き保存」をクリックします。



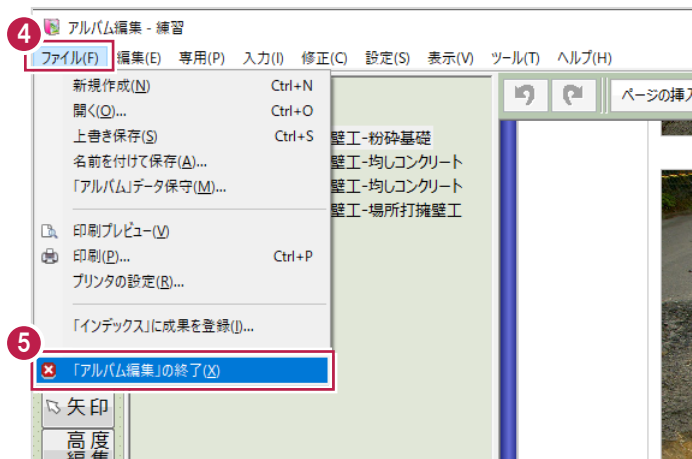
③ 「はい」をクリックします。



④ メニューバーの「ファイル」をクリックします。

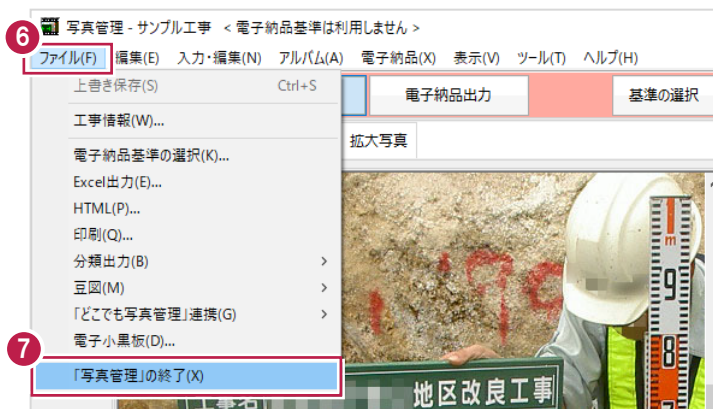
⑤ 「[アルバム編集]の終了」をクリックします。

ガイドバーの「終了」をクリックしても閉じることができます。



⑥ 写真管理画面で、メニューバーの「ファイル」をクリックします。

⑦ 「[写真管理]の終了」をクリックします。



# 8

## アルバムフォームを作成する

オリジナルのアルバムフォームを作成する操作を説明します。

### 8-1 「簡易作成する」からフォームを作成する

新規のアルバムを作成するとき、「一覧から選択する」と「簡易作成する」の2通りの方法があります。

「一覧から選択する」では、既定のフォームや、すでに作成されたフォームを選択してアルバムを作成できます。

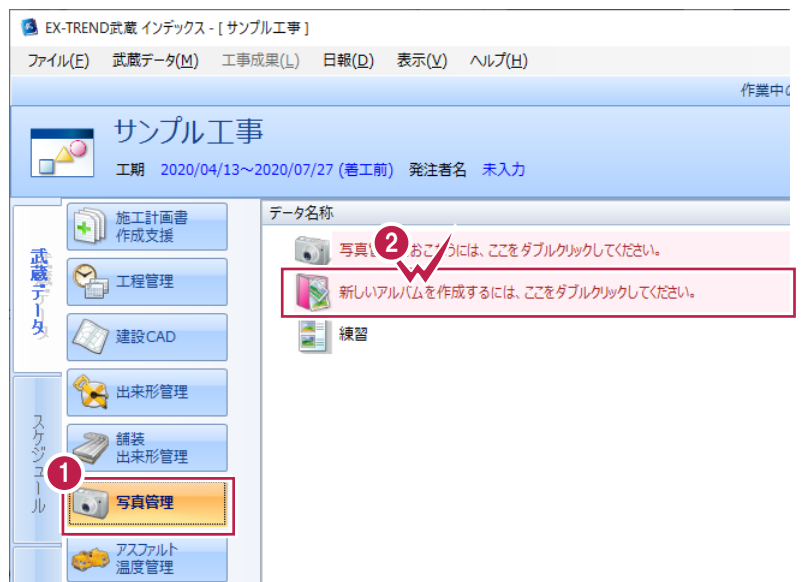
「簡易作成する」では、新たにオリジナルフォームを作って、アルバムを作成できます。

※「簡易作成する」は、既存のフォームに希望のものがない場合や、情報表の項目順を変更したい場合などに便利な方法です。

ここでは、「簡易作成する」でオリジナルフォームを作ってアルバムを作成する操作を説明します。

① [EX-TREND 武蔵 インデックス] で、  
[写真管理] をクリックします。

② [新しいアルバムを作成するには、ここをダブル  
クリックしてください。] をダブルクリックします。



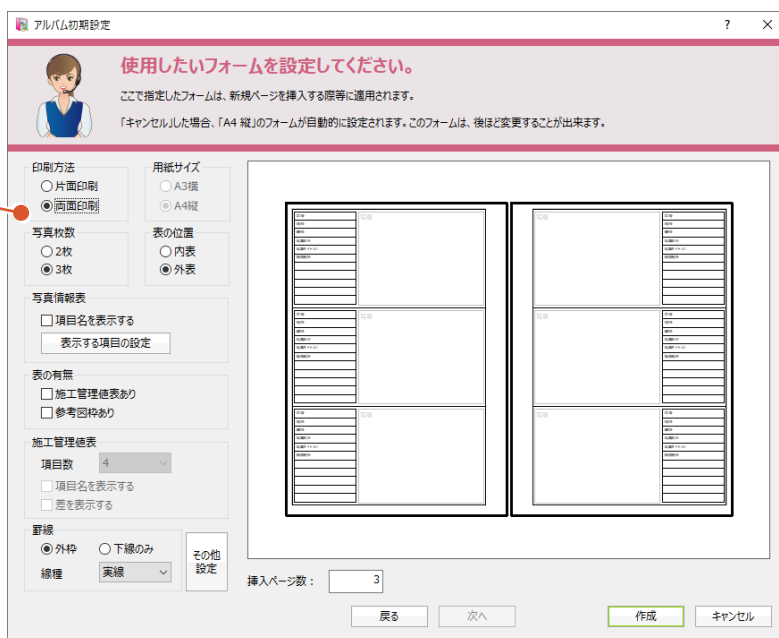
③ [簡易作成する] をクリックします。



- 4 今回は表紙を作成しないため、[スキップ] をクリックします。



フォーム設定のダイアログが表示されます。  
画面左側の各種設定では、印刷方法や1ページに記載する写真枚数、情報表の項目、罫線のタイプなどを設定します。  
画面右側のプレビューでは、設定した内容がリアルタイムで反映されます。  
※画面の拡大や移動の操作については、P.81の4を確認してください。



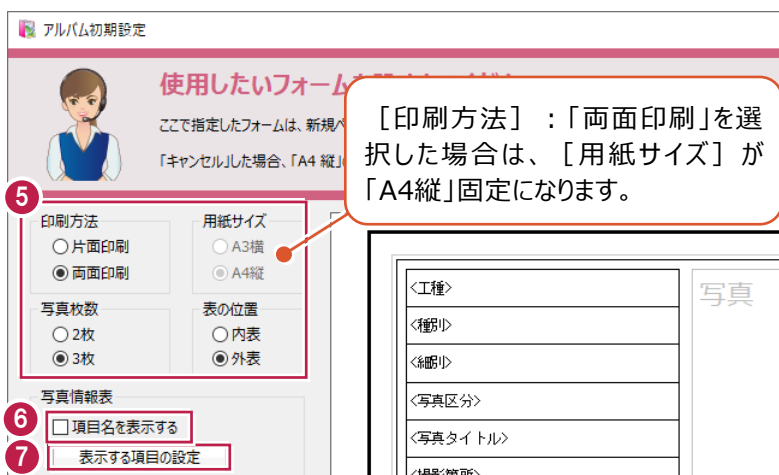
- 5 [印刷方法] : 「両面印刷」、  
[写真枚数] : 「3枚」、  
[表の位置] : 「外表」を選択します。

- 6 [写真情報表] の [項目名を表示する] をオフにします。

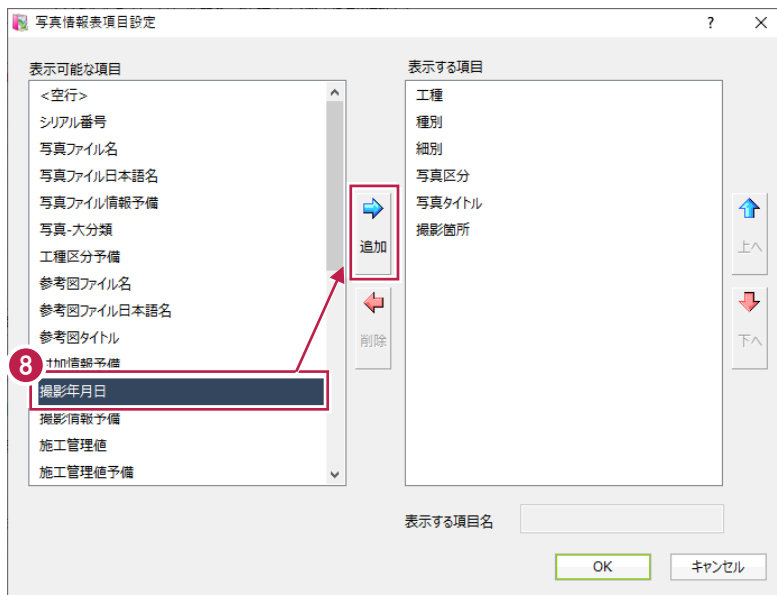
[項目名を表示する] をオンにした場合

工	種	<工種>
種	別	<種別>
細	別	<細別>
写真		

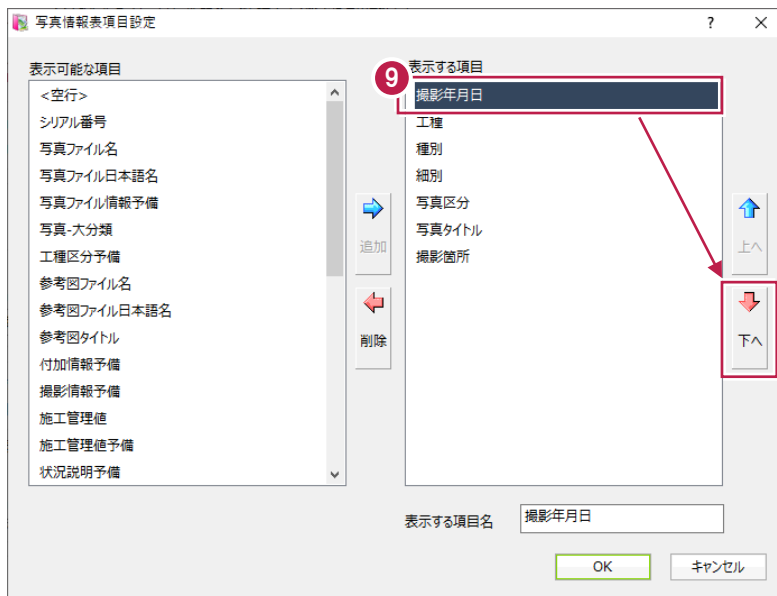
- 7 [表示する項目の設定] をクリックします。



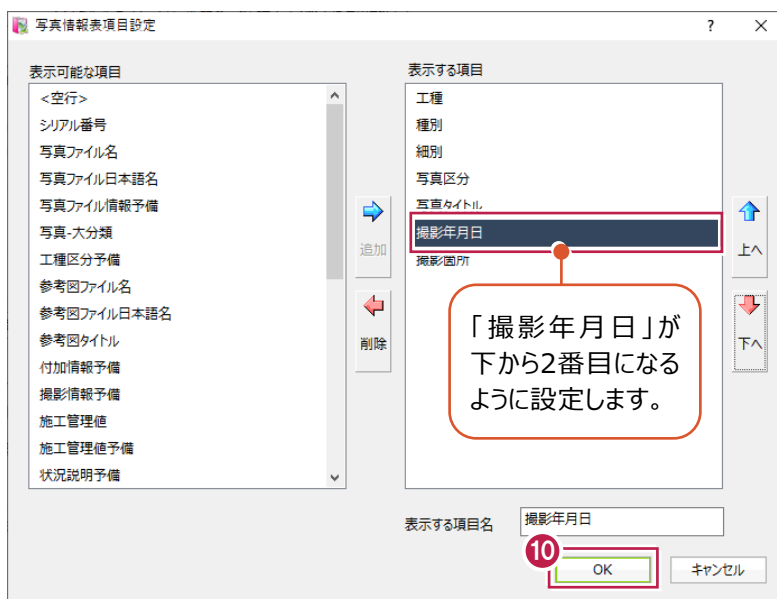
- 8 希望する情報表の内容となるよう設定します。  
ここでは、撮影年月日を追加します。  
[表示可能な項目] で「撮影年月日」をクリックし、[追加] をクリックします。



- 9 項目の並びを変更します。  
[表示する項目] で「撮影年月日」を選択した状態で、[下へ] をクリックします。



- 10 [OK] をクリックします。



11 施工管理値や参考図の有無を設定します。  
ここでは、[施工管理値表あり] をオンにします。

12 [施工管理値表] は以下のように設定します。  
[項目数] :「4」  
[項目名を表示する] : オン  
[差を表示する] : オフ

13 [罫線] は以下のように設定します。  
[外枠] : オン  
[線種] :「実線」

印刷方法  
 片面印刷  
 両面印刷

用紙サイズ  
 A3横  
 A4縦

写真枚数  
 2枚  
 3枚

表の位置  
 内表  
 外表

写真情報表  
 項目名を表示する  
表示する項目の設定

表の有無  
 施工管理値表あり  
 参考図あり

施工管理値表  
項目数 4  
 項目名を表示する  
 差を表示する

罫線  
 外枠  下線のみ  
線種 実線

その他設定 挿入

測定項目	設計値	実測値
<項目名_1>	<設計値_1>	<実測値_1>
<項目名_2>	<設計値_2>	<実測値_2>
<項目名_3>	<設計値_3>	<実測値_3>
<項目名_4>	<設計値_4>	<実測値_4>

[その他の設定] で、フォントや文字サイズなどを設定できます。

戻る 次へ

14 [作成] をクリックします。

<工種> 写真

ページ数: 3

戻る 次へ 14 作成 キャンセル

15 [はい] をクリックします。

アルバム編集

作成したフォームを一覧に登録しますか?  
(登録後「フォーム一覧」から選択して使用できます。)

15 はい いいえ

16 [OK] をクリックします。

登録先の「グループ名」や「フォーム名」が自動で設定されます。

アルバム編集

作成されたフォームは  
ファイル名:「意見作成フォーム.afm」  
グループ名:「A4/縦/3枚/右表」  
フォーム名:「項目名なし・出未形あり・参考図なし」  
に登録されました。

16 OK

アルバム編集画面が開き、作成したフォームで空のアルバムが作成されます。

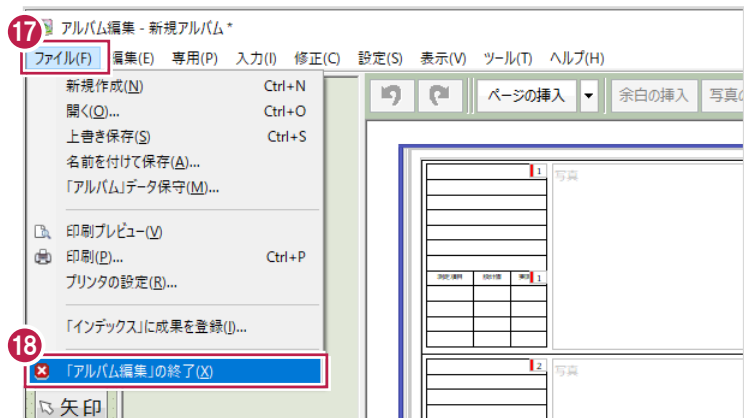
アルバム編集 - 新規アルバム\*

写真管理  
1: 新しいページ  
2: 新しいページ  
3: 新しいページ

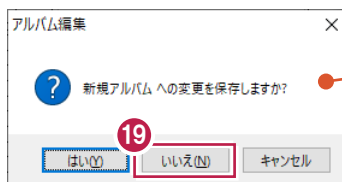
アルバム編集画面が開き、作成したフォームで空のアルバムが作成されます。

17 アルバム編集を終了します。  
メニューバーの「ファイル」をクリックします。

18 「[アルバム編集]の終了」をクリックします。



19 「いいえ」をクリックします。



作成したフォームの保存はすでに完了していますので「いいえ」をクリックして問題ありません。  
※ 「はい」をクリックすると、空のアルバムが保存されます。

EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

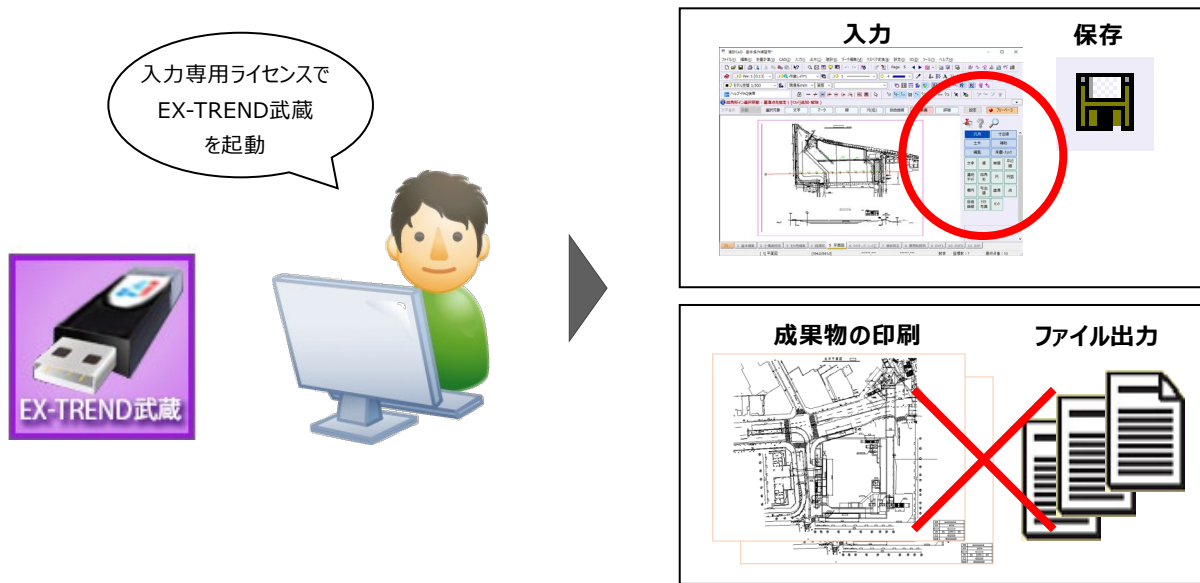
ネット認証ライセンス

USBプロテクト



ほかの方がプロテクトキーを使用中で空がないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。

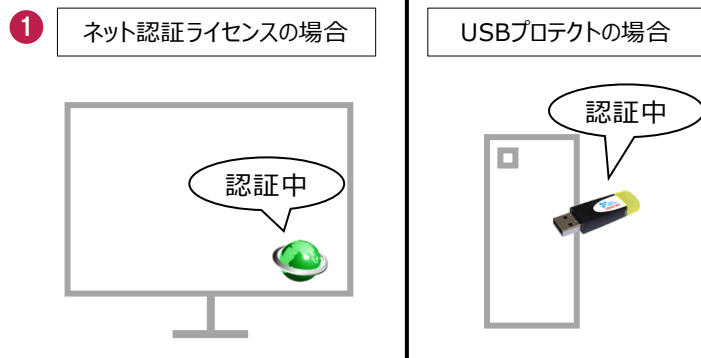


ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法和、起動・終了方法について説明します。

### 1-1 入力専用ライセンスの使用方法

入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

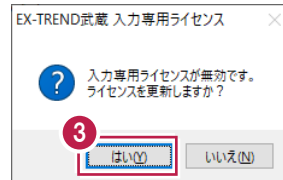
- 1 ネット認証ライセンスの認証、または USB プロテクトの装着をおこないます。



② [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

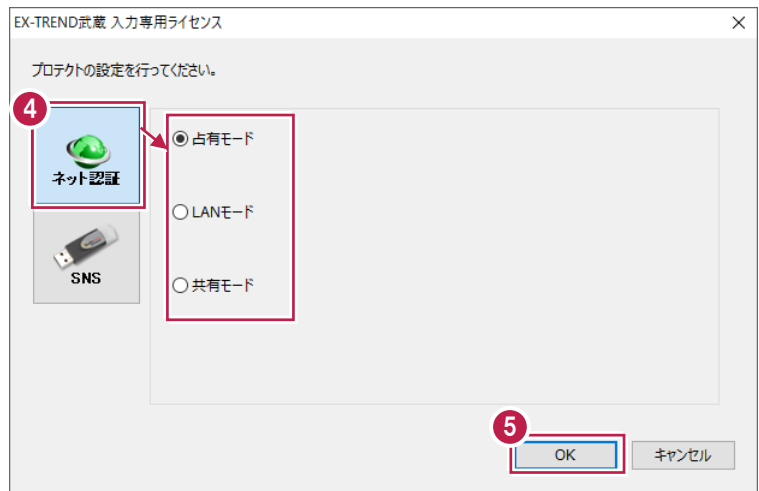


③ [はい] をクリックします。

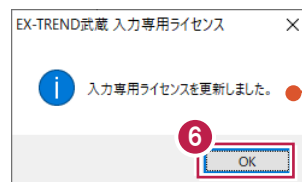


④ 取得するライセンスの種類を選択します。  
(右の例は、ネット認証ライセンスの占有モード  
を利用している場合です。)

⑤ [OK] をクリックします。

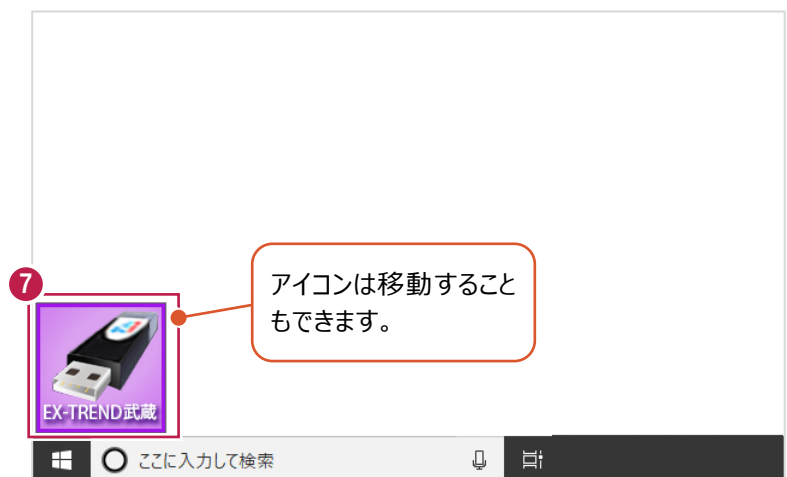


⑥ [OK] をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、  
ネット認証ライセンスの解除や  
USBプロテクトの取り外しをおこ  
なっても構いません。

⑦ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス  
起動中のアイコンが表示されたことを確認しま  
す。





## 1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

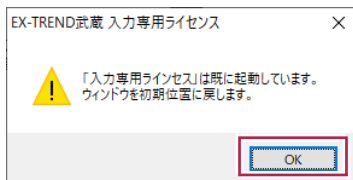
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1 入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

- ① [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

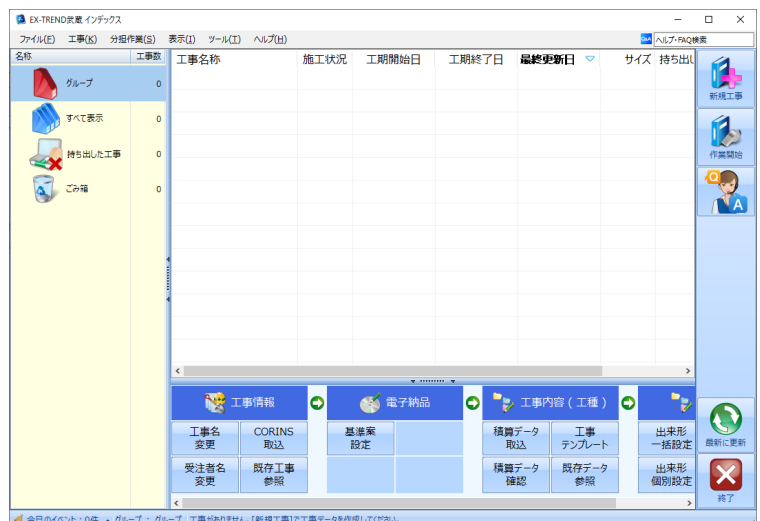


- ② デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



- ③ [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



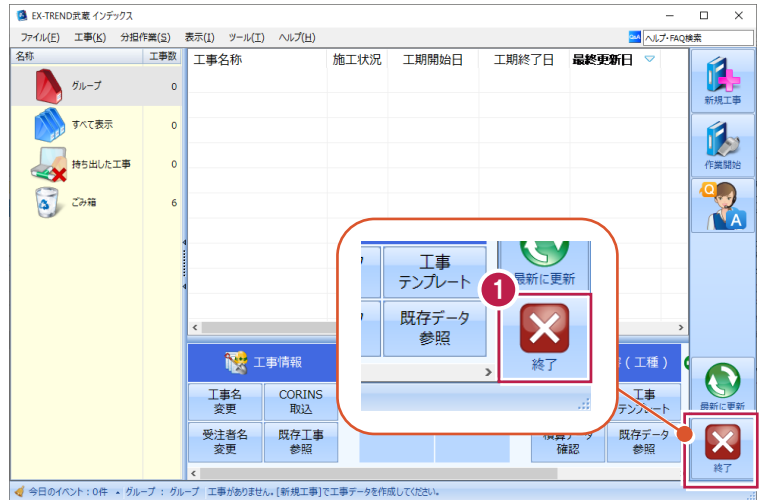
## 1-3 入力専用ライセンスの終了

入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。

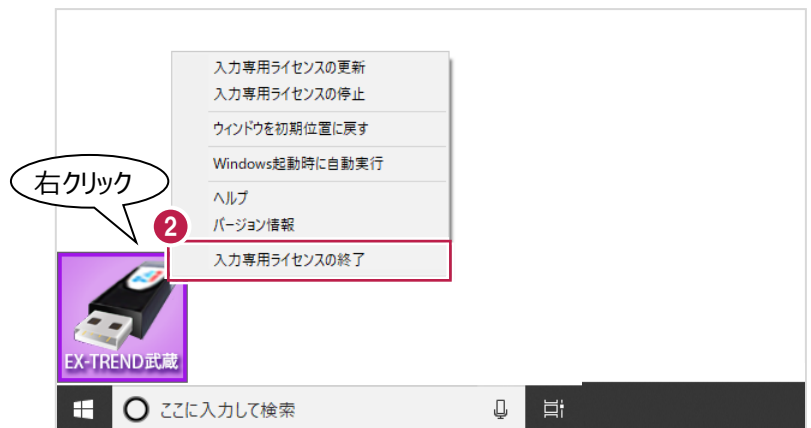
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

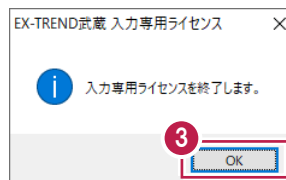
- 1 EX-TREND 武蔵を起動している場合は、  
[終了] をクリックします。



- 2 入力専用ライセンス起動中のアイコンを  
右クリックし、[入力専用ライセンスの終了] を  
クリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなっ  
たことを確認します。

